

公益財団法人 日本サッカー協会 機関誌

JFA news

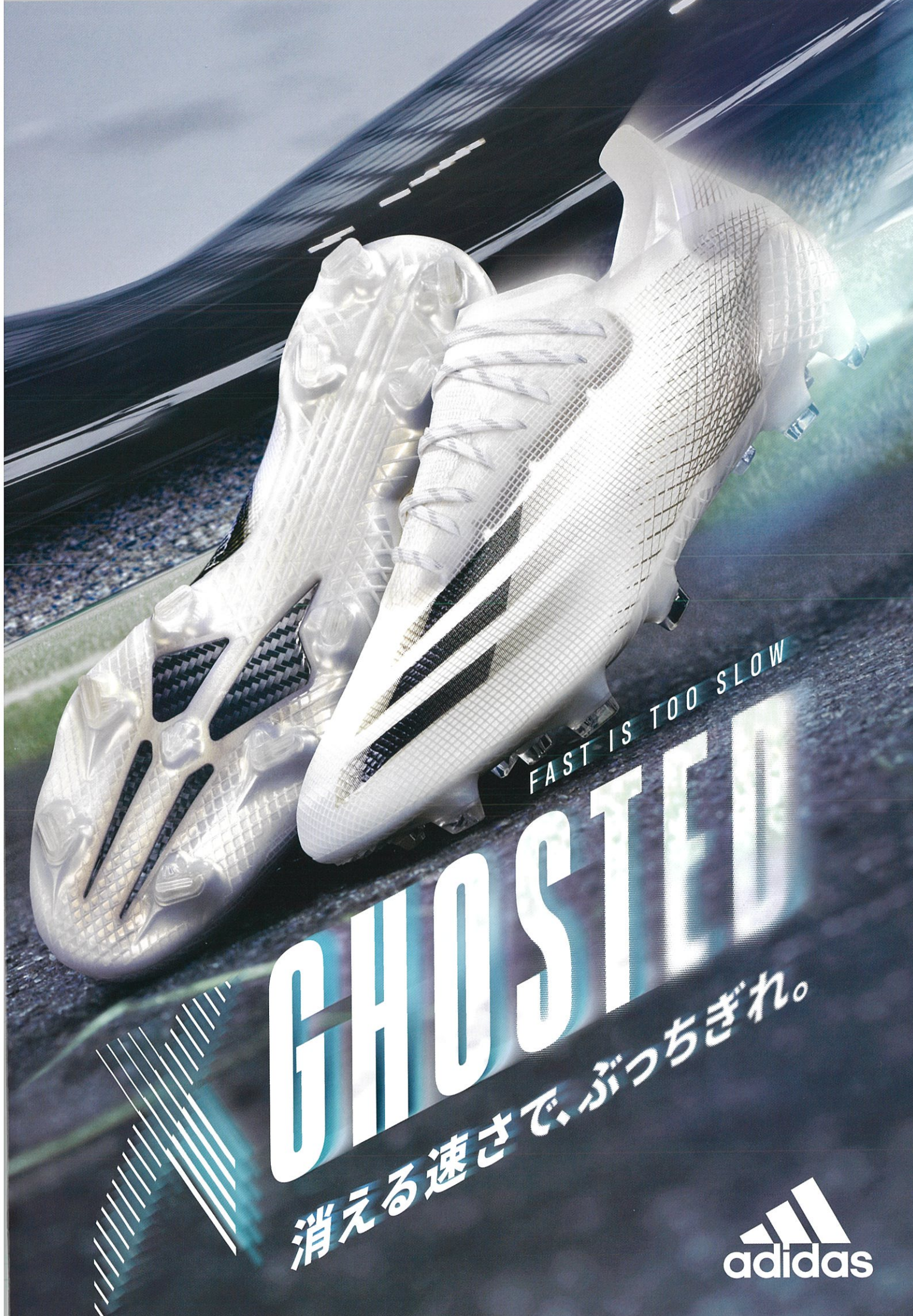
特集

指導者のあるべき姿

対談 鈴木淳 × 中山雅雄

JFA 指導者養成ダイレクター × JFA 技術委員会普及部会長

トレーニングプラン作成の考え方
指導者に聞く
指導者情報局



FAST IS TOO SLOW

GHOSTED

消える速さでぶつちぎれ。





がんばろう
ニッポン!

サッカーファミリーのチカラをひとつに!

JFA news

No.436

2020 8月情報号

CONTENTS

003 【巻頭言】田嶋幸三 会長

特集

指導者のあるべき姿

006 対談
鈴木淳 JFA指導者養成ダイレクター
×
中山雅雄 JFA技術委員会普及部会長

011 トレーニングプラン
作成の考え方

013 指導者に聞く
田邊友恵さん
(ノジマステラ神奈川相模原アカデミーダイレクター兼ドーエ(U-18)監督)
菅原孝徳さん
(JFC LUGAR/桜川ガールズFC(U-12)/SGFC桜川クロレ(O-13))

017 指導者情報局

【連載】

043 隔月連載 フットボールにできること
「視覚障がい者ならどなたでも! おたすけ電話相談窓口」

044 隔月連載 フットサル道場
ブルーノ・ガルシア フットサル日本代表監督
「駆け出しのときに訪れた指導者としての分岐点」

045 隔月連載 サッカー心育論
中山雅雄
「『精力善用』『自他共存』」

047 隔月連載 日本サッカータイムスリップ
「日本女子サッカーリーグの変遷(1)」

048 いつも心にリスペクト
大住良之
「感謝の気持ちの表現」

060 西芳照シェフのSAMURAI KITCHEN
「バランスの取れたラインナップと
飽きさせない工夫を」

※連載「クローズアップFA」および「オリンピックの記憶」は
休載とさせていただきます

※本誌の記事・写真・図表などの無断転載を禁じます。
表紙・目次および本誌内のクレジットの記載のない写真
©JFA、©JFA/PR、©J.LEAGUE、©F.LEAGUE、©Walnix

◎JFAの理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、
人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

◎JFAのビジョン

サッカーの普及に努め、スポーツをより身近にすることで、
人々が幸せになれる環境を作り上げる。
サッカーの強化に努め、日本代表が世界で活躍することで、
人々に勇気と希望と感動を与える。
常にフェアプレーの精神を持ち、国内の、さらには
世界の人々と友好を深め、国際社会に貢献する。

◎JFAのバリュー

エンジョイ◎スポーツの楽しさと喜びを原点とすること
プレーヤーズファースト◎選手にとっての最善を考えること
フェア◎オープンかつ誠実な姿勢で公正を貫くこと
チャレンジ◎成長への高い志と情熱で挑戦を続けること
リスペクト◎関わりのあるすべてを大切に思うこと

【特別企画】

018 グラスルーツ対談(後編)

056 WEリーグ創設へ
～岡島喜久子チェアインタビュー

【REPORT】

国内リーグ再開・開幕

050 2020明治安田生命Jリーグ(J1・J2・J3)

053 第22回日本フットボールリーグ

054 2020プレナスなでしこリーグ1部・2部/
2020プレナスチャレンジリーグ

020 JFAアカデミー2021年度入校生出願受付中

028 新型コロナウイルス感染症対策 JFAサッカーファミリー支援事業

058 すべての女子選手に知ってもらいたい未来～「サッカー×キャリア×未来」発行

021 月刊レポート～JFAリリースインフォメーション&活動報告

029 会議レポート

035 DATA BOX

036 JFA関連発行物のご案内

038 蹴球通信

062 日本サッカーミュージアム

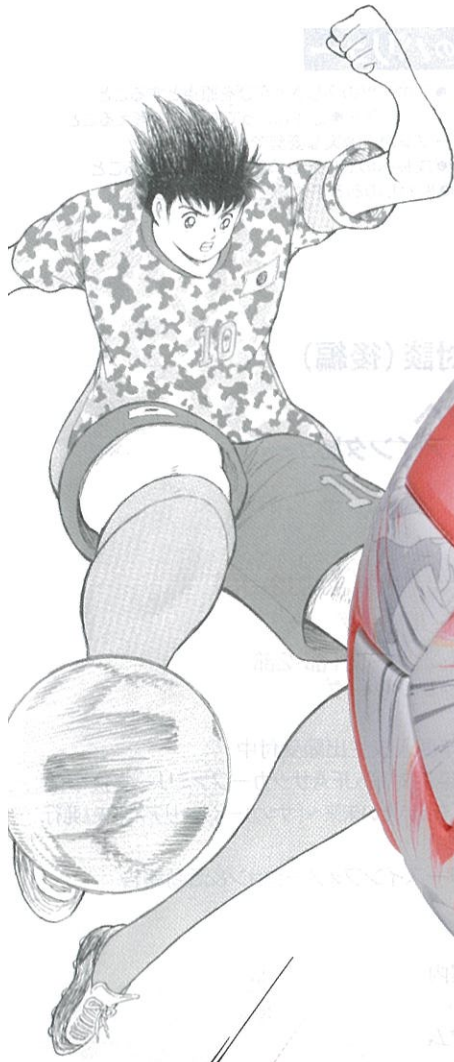
063 サッカーファミリー広場

064 次号予告



TSUBASA OFFICIAL MATCH BALL

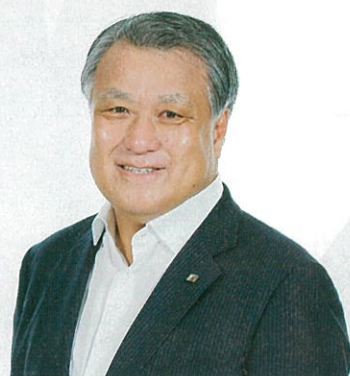
翼



巻頭言

公益財団法人日本サッカー協会

会長 田嶋 幸三



2020年7月初旬ならびに下旬の大雨により、熊本県を中心とした九州・中部地方、山形県など日本各地で甚大な被害が生じました。この豪雨によって亡くなられた方、そのご家族に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

新型コロナウイルス感染の危険もある中での避難生活や復旧活動のご苦勞がいかにばかりかと拝察します。被災した地域にあるサッカー協会、企業・団体、サッカーファミリーの皆さまにおかれましては大変な状況だと思えますが、くれぐれも健康に留意していただきますようお願いいたします。被災地の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

森保一監督の兼務体制を続行

日本サッカー協会（JFA）は7月9日、技術委員会を開催し、サムライブルー（日本代表）とU・23日本代表（東京オリンピック時はU・24）の今後のスタッフ体制について協議しました。そして、サムライブルーの森保一監督が、オリンピックに出場する

代表チームの監督を兼務する現行の体制を続行することを決め、同日の理事会に諮りました。

2020年のナショナルリーグスタジアム体制については、4月に東京オリンピックの延期が決まって以降、反町康治技術委員長を中心に小野剛副委員長、関塚隆ナショナルチームダイレクターら技術委員、時に森保監督と横内昭展コーチも加えて議論を重ねてきました。

6月26日にAFC（アジアサッカー連盟）が、当初9月に設定されていたインターナショナルマッチデー（IMD）を来年の6月に延期し、そこで4試合を行うと発表。10月、11月のIMDはFIFAワールドカップアジア2次予選の残り4試合が組まれていることから、9月のIMDがなくなることから、十分な準備期間がないままこの2次予選を戦わざるを得なくなりました。新型コロナウイルスの影響で開催が延期されたため、東京オリンピックにはU・24日本代表が出場するわけですが、U・24と言えどもはやアンターカテゴリーではなく、サムライブルーの中心を担う年代で

す。また、オーバーエイジ登用の可能性も考慮すると、来年は、一つのチームがワールドカップ最終予選と東京オリンピックという二つのカテゴリーの大会に参加すると捉えることができます。

両大会を1年後に控えた今、体制を変更して混乱を招くようなことがあってはなりませんし、これまでの強化方針を継続させ、蓄積してきたものをさらに発展させていくことが不可欠です。また、「1チーム、2カテゴリー」という新たなコンセプトで両チームの強化を効率的に進めていくことも重要なポイントであると思いました。

以上のことから、サムライブルーとU・24日本代表の活動期間が重なる来年の3月と6月は、サムライブルーは森保監督が、U・24日本代表は横内監督が指揮を執り、オリンピック本大会とその事前準備期間は、森保監督がU・24日本代表の監督としてチームを指揮することとしました。

理事会では反町理事（技術委員長）が資料を用いて説明し、承認を得ました。私としても技術委員会の決定を尊重し、引き続きJFA全体でしっかりとサポートしていきたいと考えています。

第1次サッカーファミリー財政支援事業（融資型）

5月15日から運用を開始した第1次サッカーファミリー財政支援事業（融資型）は6月末をもって終了しました。その間に286件の申請があり、そのうちの261件に対して総額4億9667万円の融資が行われました。

今回の第1次サッカーファミリー財政支

援事業では、法人格やJFAの登録の有無を問わず、要件さえ満たせば融資をしようと幅広く申請を受け付けました。融資を受けながらもクラブやスクールを継続させようと頑張ってくるところが多く、この事業を断行してよかったと思っています。

申請については30〜31ページに記載されている通り、登録数の多い都道府県からの申し込みが多く、登録別申請数では第3種（U・15）と4種（U・12）、特に法人格を持たないクラブ／スクールから多くの申請がありました。不採択になったところは条件が整わなかったところで、申請はしたけれども政府の持続化給付金を受けることになったので他で使ってほしいと辞退されたクラブなどもありました。

今回の融資における審査と決定は審査特別委員会が行ったわけですが、各都道府県サッカー協会（JFA）やトレセン指導者など、JFAが持つネットワークを通じて各地のクラブの活動や規模、指導者や選手数などを把握することができました。また、JFAに登録していないクラブの実態も把握でき、サッカーの裾野が実際はもっと大きく広がっていることが分かりました。

登録費は、指導者や審判員の養成、各地のフットボールセンターの整備など、サッカーファミリーの活動をより有意義にすることに使われており、今回の融資も登録費などを積み立てたお金が原資となっています。そういった登録費の意義をサッカーファミリーの皆さんに理解していただき、多くのクラブや選手が、そのメリットを享受できるように取り組んでいきたいと考えています。



dunhill



特集 指導者のあるべき姿

指導者の存在意義、 そして役割とは

良い選手を育てる、選手に夢を与える、選手にサッカーの楽しさを伝える上で、指導者はキーマンといえる存在だ。指導者の在り方で選手の未来を左右するといっても過言ではない。

そのため、指導者自身がそのスキルや知識をアップデートしながら、指導のレベルアップを図り、また選手に最適な環境を与えることが求められている。

日本サッカー協会（JFA）では、JFA公認指導者ライセンス制度（17ページ参照）を設け、レベルに応じた指導者講習会を開催している。そうして指導者に学びの場を提供しつつ、その活動をサポートしている。

今号では、指導者の存在意義やその役割をあらためて考えるべく、

鈴木淳JFA指導者養成ダイレクターと中山雅雄JFA技術委員会普及部会長による対談、

またトレーニングで活用できるトレーニングプラン作成の考え方、

そしてライセンスを取得してステップアップしている指導者のインタビューなどをお送りする。



特集 指導者のあるべき姿

サッカーの楽しさを 追求しよう！



指導者は、選手たちがサッカーを楽しみ、成長する上で鍵を握る存在だ。指導者の役割は何か。良い指導者とは、どのような人を指すのか。日本サッカー協会（JFA）の鈴木淳指導者養成ダイレクターと、本誌連載企画「サッカー心育論」でおなじみの中山雅雄JFA技術委員会普及部会長に話を聞いた。

○オンライン取材日：2020年7月2日

サッカーには 異なる楽しさがある

——指導者は、選手にとってどのような存在であるべきでしょうか。

中山 私が所属している筑波大学の蹴球部には、大学院生のコーチもいるのですが、彼らにはよく「選手に頼られる存在になってほしい」と言っています。指導者という役割が

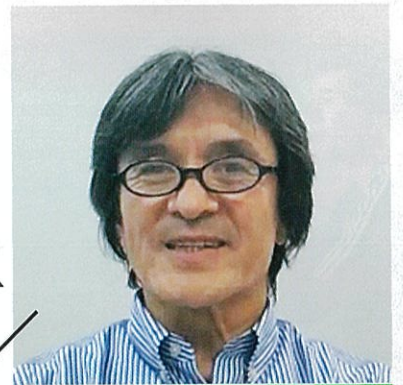
対談



中山雅雄
JFA技術委員会普及部会長

与えられているから、多くの選手は「この人は指導者だ」という認識で話を聞きます。けれど、指導者の肩書がなくても選手たちに慕われ、頼りにされる存在であってほしいと思います。

鈴木 指導者は、選手の成長をサポートするためにいます。主役は選手で、指導者は脇役。その意味では、選手を引き立たせるのが指導者の



鈴木淳
JFA指導者養成ダイレクター

役割です。コーチの語源は、「馬車」を指す意味の「コチ」という言葉から来ると言われています。コーチは馬車に乗っている人（選手）を下から支え、安全・快適に目標達成までの手助けをする存在であるべきです。

中山 JFAは「プレーヤーズファースト（選手第二）」という表現をよく用いていますが、日本スポーツ協会の指導者養成では「プレーヤーズセントラード」、選手が競技の真ん中（Center）においてその周りに選手をサポートする人がいるという考え方を浸透させています。サポートのイメージを持って選手に接していくことが、現在の指導者養成の一つの考え方の基準になっています。

——指導者の役割は何だと思いますか。

鈴木 選手や子どもたちが楽しくプレーするためにサポートすること、その環境をつくることです。トレーニングや試合をして楽しかったと思うてもらうこと、うまくいったと実感してもらうことが指導者の一番の役割です。その中でも、選手にサッカーを楽しんでもらうことが優先順位のトップに

来ると思っています。

中山 選手や子どもたちにサッカーの楽しさを提供することは本当に大事ですね。選手たちがサッカーをしていて楽しかったと思うとき、そこには試合を戦うことができたこと、友人たちと一緒にボールを蹴ったこと、蹴り方を教わり、上手になったことなど、挙げればキリがないくらい多様な楽しさがあります。それらの異なる楽しさを指導者がくみ取り、よりサッカーが好きになるように働き掛けることが不可欠です。

簡単にいかないから サッカーはやめられない

——指導のやりがい、教えることの醍醐味を教えてください。

鈴木 サッカーを教えるのは、純粹に楽しいですよ。失敗することも多いのですが、どうすれば課題を克服できるかを考えることもまた楽しい。選手の成長をいかに手助けすることができるだろうかと思えることも、指導者のやりがいの一つです。プロの世界では結果が出ないと批判されることもあります。相手子どもでもプロ選手でも、指導をすることが楽しいということ

は変わりません。

中山 私はこれまでずっとサッカーの指導に携わってきました。サッカーが好きで、教えることが楽しいから続けているんだと思います。若い頃は、もつと勝たたい、自分が中心となってチームをつくりたい、自分の言う通りにやれば勝てる、というおごりもありました。選手第一と言いながら、試合に勝って自己満足することが指導のモチベーションになっていた時期もあります。

——そうなんですか。

中山 ベテランの指導者の話を聞くと、その多くが最初は自己満足するところからキャリアをスタートさせているように思います。経験を積んでいくうちに「このままでは駄目だ」と気づき、もつと選手を大事にするようになる。これは指導者が成長していく上で非常に重要な過程だと思っています。私も年を重ねるにつれて、選手と一緒に成長できたと感じられたときに指導してきて良かったと思えるようになりまし。もちろん、試合などで負けたときは変わらぬ悔しいものですが、それもサッカーの魅力、指導することの魅力だと思っています。奥深く、簡単に勝てないから

こそ、サッカーはやめられません。

——選手の育成と、勝利を追求するバランスについてはどのようにお考えですか。

鈴木 性別やカテゴリー、レベルを問わず、プレーする限りは、まず勝利を目指すべきだと思います。勝つことから逆算して選手の成長を考え、どのような戦術で戦うかが大事になるわけで。選手も、結果にこだわらない指導者には魅力を感じないと思います。

とはいえ、選手の成長につながらないようなサッカーを志向すると、結果にも育成にもつながりません。

例えば、U-12年代で前線に足の速い選手がいるチームがあったとしましょう。その選手にボールを渡せば得点できるからと、判断なしにロングボールを蹴つてばかりでは、チームも選手も成長しません。俊足の選手の特徴を将来に向けて伸ばすためにも、その選手はもとより、他の選手も含めてU-12年代の選手に必要なテクニクや判断の伴ったプレーを磨いた上で勝利を目指してほしいと思います。

中山 たまたま、チームにある年、有能な選手が数人入ってきて、全国大会に出られそうなチャンスがあったら、指導者はどうするでしょうか。

これまでの選手育成の哲学を少し脇に置いてでも全国大会出場を狙ってみようと思える指導者がいてもおかしくありません。

そこで勝つと、選手たちの自信にもなりますし、後の人生も変わるかもしれません。この価値観を完全に否定はできないかなとも思います。難しいですね。

自分で考えること つくり出すことが大事

——「良い指導者」とはどのような指導者を指しますか。

鈴木 当たり前のことですが、まずはサッカーへの情熱がなければいけません。その熱い気持ちと、理論的に考える習慣を併せ持った人が良い指導者と呼べると思います。例えば選手たちのプレーを見たとき、そのプレーが良かったか、悪かったかを瞬時に見極めること。次に、なぜそのプレーが良かったか、どこを改善すべきかを選手に説明できることです。そういう意味では、選手個々はもちろん、サッカーそのものを見る目、分析力が不可欠です。

中山 私は影響力のある指導者が良い指導者だと思います。選手が「監督に何を言われても俺には関係な



選手たちがサッカーのどこに楽しみを見出しているか。指導者がそれをくみ取り、さらにサッカーを楽しんでもらえるように働きかければ、選手もよりサッカーが好きになる

の指導者になることです。

冒頭の大学院生コーチの話に戻りますが、選手たちは、指導者の役割を持った人だから、彼らの話に耳を傾けます。必ずしも、良い指導者だから話を聞くわけではない。ですから、良い指導をして、良い影響を及ぼすような、影響力のある指導者になってほしいのです。

鈴木 肩書きを問わず、「あの人は何か違う」と選手に思ってもらえるような指導力が必要なのかもしれないですね。

——目の前の選手に応じて指導を変えるなど、引き出しを持っておくことはどのくらい大事だと思いますか。

「い」という態度だったり、選手たちが働き掛けてもそれが響かず、選手が動かなければ、そもそも監督の存在意義はなくなってしまう。影響力を持つために、情熱も分析力も必要ですし、選手へのポジティブな働き掛け、褒めるといったことも大事になってくると思います。

——影響力にもいろいろな意味があると思います。

中山 一番の理想は、常に選手に良い影響を与えられる指導者です。二番目は、選手に悪影響を与える指導者。避けたいのは、影響力ゼロ

重です。なぜならば、誰かのメニユーのコピーでは発展性を望めないから。一方、自分が必死になって考えたメニユーは、そのトレーニングがうまくいってもいかなくても発展させられます。

中山 選手は十人十色です。指導者が何かを予想してアドバイスを与えても、想定外の反応が返ってくる場合があります。そういう経験をどれだけ蓄えていけるかが大事でしょう。その経験をもとに新たなチャレンジや過去の振り返りができ、次はこうやってアレンジしてみようという習慣が生まれます。

最も避けたいのは、今このトレーニングが流行っているからといって、選手たちに取り組ませた後、一切振り返らないこと。自分の指導を見直す姿勢がなければ、いつまで経っても応用力やアレンジする力はないでしょう。

——選手同様、指導者も学び続けなければならぬということですね。

鈴木 その通りです。最新の情報を得ること、自分の考えをしっかりと築き上げること、その両方が必要です。なぜかというところ、サッカーも指導もミスの連続だから。それをどう修正するのか、どう克服するのかを考えていくことが成長につながります。また、その過程ではいろいろな情報を探したり、人の意見を聞いたり、指導者仲間のトレーニングを見ることが必要になるでしょう。それが結果的に、自分の血となり肉となります。

——指導者全体のレベルが上がることは、日本サッカーにとっても重要だと思います。

鈴木 指導者が、小さい子どもから大人まで楽しくサッカーができる環境を用意することができれば、おのずと日本サッカーは発展すると思います。サッカーは楽しいもの、という認識が全国に広まれば広まるほど、日本代表のようなトップ・オブ・トップのレベルも向上すると信じています。

中山 どれだけ有名なプロ選手であっても、地元のサッカー少年団やクラブチームでキャリアをスタートさせます。グラスルーツの充実なくして有能な選手は生まれません。その意味で、指導者全体のレベルが上がることは、サッカーの楽しさが選手

とその周辺に伝わることとなります。

——指導者がサッカーのいろいろな楽しみ方をサポートできると思いますか。

中山 選手たちの競技力を高めて強いチームに育てるのはもちろん素晴らしいことですが、世の中にはそれぞれ違った目的を持ってサッカーをしている人たちがいます。例えば、跳び箱を飛べるようになりたいという感覚で、「リフティングが30回できるようになりたい」とあるいは「インサイドキックでうまく蹴りたい」という目標を持ち、物事を克服することに喜びを覚え



勝ちたいからサッカーをする者がいれば、特定の課題を克服したいから、ただ楽しみたいからという理由でサッカーをする者もいる。これからの指導者は多様性を認めた上で指導にあたることが求められるのかもしれない

■図1 ライセンス別学習目標のイメージ

S級	プロフェッショナルレベル	プロレベルの指導が質高くできる!
A級	アマチュアトップレベル (ジェネラル/U-15/U-12)	各年代に特化した指導が質高くできる!
B級	アマチュアレベル (子どもから大人)	サッカーの指導が質高くできる!
C級	アマチュアレベル (子どもから大人)	サッカー指導者の基礎を理解している!
D級	アマチュアレベル (子どもを中心に)	サッカー指導者の基礎に触れる!

て取り組む子どもがいたり、「あの選手みたいにかっこ良くボールが蹴れるようになりたい」といった人もいたりします。また、仲間とわいわい楽しむためにサッカーをしている人たちもいます。競技としてのサッカーだけでなく、それ以外でもボールを蹴っている人はたくさんいるということです。

指導者には、そういう人たちに對してどのように関わっていくかが問われます。その人たちをどう満足させられるかという視点も持つておかなければ、普及という側面を考えたときに広がりが出ないのか

などと思います。

D級ライセンスを指導の糸口に

——JFAではピラミッド型の指導者ライセンス体系を構築しています。

鈴木 基本的な人に物事を教える場合には、知識とスキルが必要ですが、ある程度の責任も伴ってきます。そのことを学べるのが、指導者養成講習会だと思います。級を分けることで、「このくらいのレベルにある指導者」と承認しています(図1参照)。

——JFAは数年前から、「B級スタンダード計画」を進めています。

鈴木 この計画の目標は、2030年までにB級以上のライセンス保持者を2万5000人養成することです。この目標を達成すると、30人の選手に対してB級以上のライセンスを持った指導者が一人いる環境が生まれることとなります。B級ライセンスを保持することを指導者の標準にしつつ、日本全国に良い指導ができる環境をつくりましょう、ということなのです。

——では、D級ライセンス保持者に要求しているものを教えてください。

鈴木 D級ライセンスは、指導者になるための基礎中の基礎です。カリキュラムでは、サッカーの理解はもちろん、指導者としてあるべき姿、子どもたちとどう関わっていくべきかを全面に押し出しています。D級ライセンスを取得しようと思ってる人にはサッカーという競技、子どもとの向き合い方を学んでもらいたいと思っています。

中山 普及の観点でいうと、一人でも多くの大人が自らサッカーを学ぶ機会を求めてくれればいいなと思っています。D級ライセンスとは別に、キッズ年代ではキッズリーダー養成講習会(10歳以下の子どもたちに関わる保護者や指導者に体を動かす楽しさを伝える講習会)があります。これは10歳以下の子どもたちとどう接して、どのようにサッカーと関わるかを考える場所です。

キッズリーダー講習会はキッズ年代対象ということで、ある程度完結していますが、D級コーチ養成講習会は、指導者になる、ならぬにかかわらず、育成年代のサッカーに携わる人ならば一度は参加

してほしい講習会です。

——講習会は数居が高いと思ってる人にもD級は受講しやすく、さらに学びたい人はC級、B級と続けてほしいと。

中山 サッカーの経験がない人たちにとつてD級ライセンスを取得するための講習会は、指導の取っ掛かりとして理想的な場所だと思います。縁があつてサッカーに関わりを持った人たちが、そこで体を動かし、知識を得ることによって、さらにサッカーを楽しめるようになってほしいですね。

メニューそのものよりなぜそのメニューかが大事

——今年、C級とD級のカリキュラムを改定しました。新たなカリキュラムをつくるにあたって意識したことを教えてください。

鈴木 受講者のための講習会ですから、受講者の皆さんが何を望んでいるか、実際の指導現場での問題点は何か、それをどう改善すればいいかといったさまざまなニーズに応えられるような講習会にしようと考えました。

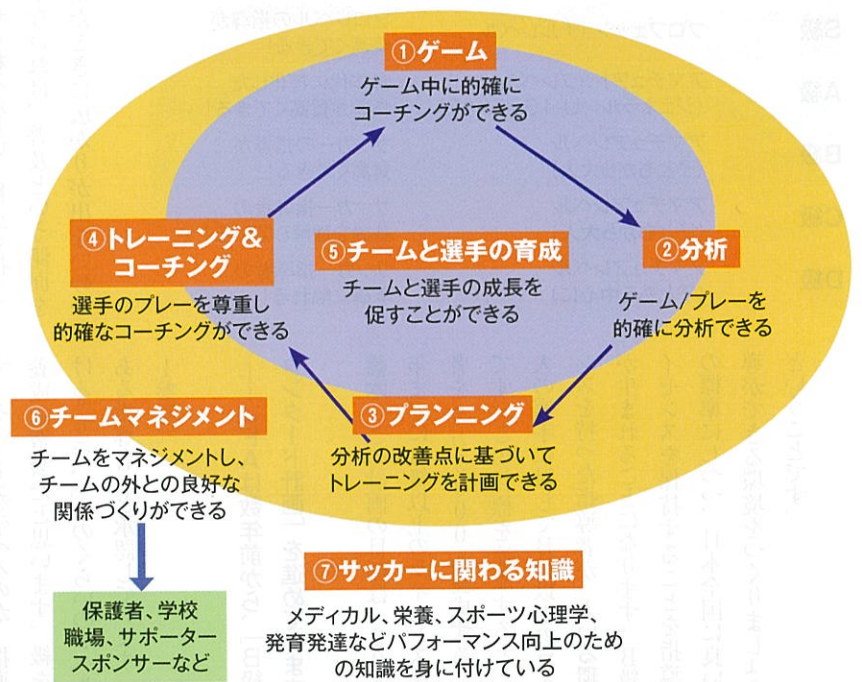
C級コーチ養成講習会の受講者は、その多くがルーティンを持つて

います。それは、選手にトレーニングを課して、試合に臨み、その試合が終わった後に振り返って分析することです。そして、試合で出た収穫や課題をまとめ、次の試合や大会までに改善するためにはどんなスケジュールを積み重ねればいいのか、計画を立てな



指導者養成講習会の様子。講義と実技、受講者間のディスカッションを通して知識を養い、指導者としてレベルアップしてもらうことが目的の一つだ

■図2 コーチングサーキュレーション



ればいけません。
講習会では、各受講者にこうしたルーティンを持ち込んでもらい、普段、どのように選手を指導しているか、チームを強化するための計画はどう立てているか、一連のプロセスの中に問題は潜んでいるか、指導者はチーム強化のどの部分について難しく感じているかなどを話し合い、それを試してみることを一番のメインに取り入れました。われ

われの言葉でいう「コーチングサーキュレーション(コーチングの流れ)」(図2参照)を理解して日々繰り返すことで、指導のスキルアップにつなげていければと思います。
——より現場に即したところから取り組んだんですね。
鈴木 コミュニケーションも重視しました。その場に居合わせた受講者

から学ぶことも多いと思います。デイスカッションやグループワークを多く設け、対話する時間を増やしました。指導者が抱えている問題や悩みを解決することやコミュニケーションを深めることに重きを置いたわけですが、講習会を受けたからといって飛躍的に指導力が伸びると思わないでもらいたいですね(笑)。裏を返せば、ワンランク上は目指せるといふこと。インストラクター(講師)やさまざまな人の意見を聞き、それまで意識していなかったことを意識し始めることで視野が広がりますし、指導者間のつながりを持つことによつて、新たな発見もあるはず。こうした発見に少しでも多く遭遇できるように講習会を実施していきたいと思っています。

——講習会のカリキュラム改訂に伴い、新しい指導教本の販売も開始しました。その指導教本にトレーニングメニューを掲載しなかった理由を教えてください。
鈴木 考え方の問題です。重要なのはトレーニングメニューではなく、なぜそのトレーニングをするかです。選手のこの部分を高めたい、強化したいというテーマがあり、そのためどのようなトレーニングをするべきかを考える、このプロセスにこ

そ、最も価値があります。もちろん押さえておかなければいけない要素はありますが(11〜12ページ参照)、最低限の知識を持ちながらも、自ら考えてチャレンジしてみるものが大事です。
繰り返すようですが、著名な指導者が編み出したメニューより、自分で考えたメニューに意味があるのです。
もう一つ、重要な側面もあります。トレーニングは対象となる選手の年齢やレベルに応じて変化させなければならぬ、ということ。指導する対象の年齢やレベルが分らないのに、メニューを掲載してもあまり意味がないのです。講習会では、そうした基本的な考え方やメニューのつくり方などはしっかりとお伝えします。

中山 トレーニングメニューをつくるにあたって、試行錯誤している指導者が多いのは事実だと思います。難しいからこそ、講習会で仲間と一緒に学びながら、自分なりのメニューをつくらせてほしい。メニューをつくるきっかけやコツをつかんでもほしい。大それたものでなくてもシンプルなものでもいいということ、何より理解してほしい。それがわれわれの伝えたいことです。

——最後に、読者へのメッセージをお願いします。

鈴木 選手や子どもたちにサッカーを楽しんでもらうことはもちろん、指導者も楽しんで教えてもらいたい。もっと楽しみたいという心が学びを促しますし、ライセンスを取得するきっかけにもなると思います。

中山 どんな指導者も、自分自身の指導を振り返り、自分の指導を人に見てもらう機会が必要です。指導者講習会では、受講者それぞれの経験を大事にしなが、みんなで成長する場を目指しています。ぜひ、講習会を日々の活動を立ち止まって振り返る機会と考えることで活用してください。



「自分で考えたメニューに意味がある」と鈴木ダイレクター。練習内容を自分なりに考えること、その習慣をつけることが良い指導者への第一歩となる

トレーニングプラン 作成の考え方

指導現場では、指導者がトレーニングプランを考え、それを実行する。その際、どんな目的を持って、どのようにプランニングをすればよいのか。また、トレーニング時に気を付けなければならないことは何か。ここでは、そのプロセスや考え方についての基礎をまとめる。

※本内容は「JFAサッカー指導教本2020」より抜粋・要約したものです。詳しく学びたい方はC級コーチ養成講習会を受講ください。

選手が楽しんでいるかが重要

指導者の一番の役割は、「選手が楽しくプレーできるようにサポートすること」。楽しくプレーできていれば、選手は上達し、また困難にぶつかっても乗り越えることができる。全ての選手が笑顔でプレーできる環境をつくることが重要になる。

サッカーでは、「ゲームが最良の先生」と言われるように、まずは試合を行うこと、そして楽しむことが大切だ。決められたルールの下で相手チームと対戦することで、勝利するための知恵や力を最大限発揮することができる。

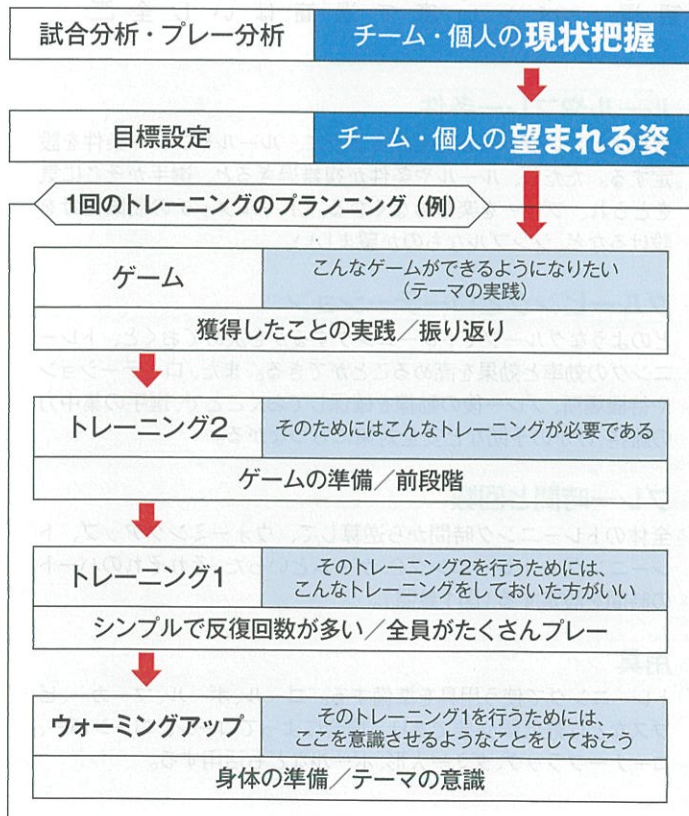
結果やプレーの出来が予測できない試合は、選手にとって難しくもあり、面白くもある。

日頃のトレーニングは、試合で最大限に力を発揮するためにあることを忘れてはならない。

トレーニングプランの作成に向けて

トレーニングは、チームや選手の現状を把握した上で、理想とするプレーに近づくために、また課題を克服するために行うものである。漠然と

■図1 ゲームからの逆算



トレーニングをしているだけでは、なかなか上達しない。また、指導者が自分のやりたいことを先行し、選手のレベルやチームの現状に合っていないトレーニングをしてしまうことも避けなければならない。

トレーニングプランの作成にあたっては、まず目標とテーマの設定から始める。目標は「トレーニング後にこうなっていきたい」というプレーをイメージしながら、できれば短期・中期・長期と目標達成期間を分けて考えると良いだろう。その上で、実際に「何を改善するか」といったテーマを設けて

いく。

1回のトレーニングでは、ウォーミングアップから積み上げていくことが大事だ。例えば、練習の最後に行うゲームの目標を明確にし、その準備としてトレーニング2、さらにその準備としてトレーニング1、それに導くためのウォーミングアップを考える(図1参照)。このように逆算してプランを立てることができれば、コーチングにも一貫性が生まれる。

プレー機会を確保すること

待ち時間が長く、プレー時間が短いトレーニングでは上達に時間



自ら考案したトレーニングプランを実践することが重要だ

がかかる。例えばシュートのトレーニングでは、プレー時間やプレー回数が増えるように、また効率的に順番が回るように、さまざまな工夫が必要だ。トレーニングの現場では、指導者が最もボールに触っている、というケースがよく見受けられる。できるだけ選手のプレー機会を確保すべきである。

また、トレーニングがその選手

にとって難しいものか、簡単なものかを考えることも大事な要素となる。選手が自ら工夫して課題を克服するようなトレーニングが最も良いと言われる。ある程度の成功体験を積み重ね、簡単なものから難しいものへと徐々に変化させていくのが効果的だ。一方、難しいトレーニングの場合、簡単なものに変える。選手をよく観察しながらトレーニングの難易度を調整していくことが大切である。

オーガナイズの考え方

トレーニングを行う際の「場の設定」は、「トレーニングオーガナイズ」（以下、オーガナイズ）と呼ばれる。良いオーガナイズであれば、そのトレーニングの中で改善したいプレーが頻発し、そのプレーを向上させることにつながっていく。

他の指導者が作成したオーガナイズを参考にすることは大事だが、料理のレシピと異なり、作り方をまねただけではうまくいかない。そのオーガナイズに「どのような意味があるのか」を理解した上で取り組むことが大事である。

図2は、オーガナイズを構築する上でのポイントをまとめたものである。

有効なコーチングとは

コーチングの第一歩は「観察」すること。まずはトレーニング全体を見て、選手がサッカーを楽しんでいるか、プレーに集中しているかを確認する。課題の難易度は選手のやる気に影響するため、簡単過ぎては飽きてしまい、難しく過ぎては達成感を持ちにくくなってしまふ。常に試合に近い運動強度（インテンシティー）が保たれているか、休息とプレー時間のバランスは取れているかなど、配慮すべきことは多岐にわたる。

トレーニング全体を見ながら選手個々のプレーにも目を向けて観察し、具体的なコーチングで刺激を与える。指導者から与えられたものや言われたことを選手が実践するだけのトレーニングではなく、選手自身がトレーニングの意図を理解し、能動的に取り組むことが重要になる。指導者は単にオーガナイズを提示するだけでなく、選手に対して積極的にコーチングして気づきを促したい。

これらを踏まえて、自ら考えてトレーニングをオーガナイズし、実際にコーチングをしてみよう。C級コーチ養成講習会ではその内容を体系的に学ぶことができる。ぜひ講習会にもチャレンジしてほしい。

■図2 トレーニングオーガナイズを構築する上でのポイント

安全への配慮

事故やけがに結びつかないよう、安全に配慮する。

場所や方向

ゴール前、ハーフウェーライン付近、ピッチの中央、サイドなど、ピッチ上のどこで行うか、また攻撃や守備の方向などを設定する。

ゴールの設定

習得してもらいたいプレーによって、ゴールの数や種類を決める。正規のゴール、ミニゴール、ラインゴール、複数のゴール（中央・サイドなど）などが考えられる。ゴールの数を複数にすれば、どちらのゴールに向かった方が有効かを判断する機会が増える。

ピッチ・グリッドの形や広さ

ピッチ・グリッド（囲み）を横長にするか、縦長にするかでトレーニングの目的は変化する。またその広さや人数のバランスは、習得させたいテーマや選手のレベル、年齢、体力、天候など、さまざまな条件によって変える。

ルールやプレー条件

習得させたいプレーが多く出るように、ルールやプレー条件を設定する。ただし、ルールや条件が複雑過ぎると、選手がそこに気をとられ、プレーを楽しめなくなる。ボールタッチの制限だけを設けるなど、シンプルなもの望ましい。

グルーピングとローテーション

どのようなグループでトレーニングするかを決めておくと、トレーニングの効率と効果を高めることができる。また、ローテーションや待機場所、プレー後の動線を確認しておくことで、選手の集中力の維持、けがの予防など安全対策にもつながる。

プレー時間と回数

全体のトレーニング時間から逆算して、ウォーミングアップ、トレーニング1、トレーニング2、ゲームといった、それぞれのパートの時間を設定する（図1参照）。

用具

トレーニングで使用する用具を準備する。ゴール、ボール、マーカー、ピンスなどは最低限必要であり、場合によってコーン、コーンバー、コーナーフラッグ、ダミー人形、ボールなども活用する。

選手たちの“本気”に刺激を受け
指導者としてのレベルアップを続ける

現役を終えた翌年から指導者としての道を歩み始めた田邊友恵さん。「将来のことは漠然としか考えていなかった」と振り返る田邊さんがA級コーチライセンスを取得するまでの経緯やこれからの目標について聞いた。

○オンライン取材日：2020年7月17日

自信なく足を踏み入れた
指導の道

——アルビレックス新潟レディースで2007年に現役を引退された後、指導者に転身した経緯を教えてください。

田邊 当時、私は系列の専門学校・JAP ANサッカーカレッジ（JSC）で講師をしながらアルビレックス新潟でプレーしていました。引退後のことは漠然としか考えていなかったのですが、JSCから「女子チームを立ち上げることになったので、指導者をやってくれないか」という話をいただき、指導者になるために07年限りで現役を引退しました。

——指導者ライセンスはどのタイミングで取得されたのでしょうか。

田邊 C級ライセンスは現役時代に取得しました。JSCでは、授業の一環で指導



田邊友恵

ノジマステラ神奈川相模原アカデミーダイレクター兼ドゥーエ（U-18）監督

——講習会で苦労したことはありませんか。

田邊 最初は指導実践への苦手意識がありました。現役時代に確固としたサッカー観を持っていなかったこともあって自分のやり方に自信がなく、それに対して批判されたり、ダメ出しされたりするのではないかと不安がありました。指導者講習会に積極的に参加しようと思えるようになったのは最近のことです。

——当初は自信がなかったということですが、どのように改善させていったのでしょうか。

田邊 日ノ本学園の監督になって選手たちを指導していくうちに、選手たちが上を目指しているの自分が指導者として上を目指さないのは失礼だなと思い、本気で勉強するようになったんです。

——受講者はほとんど男性だと思いが、女性が少ないことに対するハードルの高さは感じましたか。

田邊 C級、B級するとき、女性は私だけで、男性の方は講習を終えて部屋に戻ってからもいろいろ議論されていたのですが、その輪の中に入りにくかったというのがありました。A級の時は女性ももう1人いたので、すごく心強かったです。それから、男子チームでの指導実践も、普段、指導している女子チームとはスピード感や強度が違って難しさを感じました。だからこそ得るものも大きかったですけどね。

実践も行っていたので、ライセンスを取ったほうがいいと考えました。B級は指導者に転身してから1、2年後だったと思います。引退と同時にJFAナショナルトレセン（女子）のコーチも務めることになり、指導についてより深く勉強するために取得しました。A級は日ノ本学園高校の監督

になってからです。学校で教員として授業を受け持ち、担任もしていたのでなかなか時間が取れなかったのですが、兵庫県の関係者の方から「日ノ本を指導するならばもっと勉強した方がいい」と言っていたので、日程を調整して取得しました。

上級を取得して
気持ちにも変化

——上級ライセンスを取得してよかったです。と思う部分を教えてください。

田邊 上級になればなるほど、サッカーに取り組み姿勢や時間のかけ方が変わり、レベルアップできます。一緒に受講する方のレベルも高いですし、言い訳のできない環境に身を置くことで、世界が広がりますね。

——A級を取得する前と後で、ご自身の指導に変化はありましたか。

田邊 伝え方が変わりました。心理学の講義で学び、多くの反省や気付きを得て選手への意思伝達もうまくできるようになりました。また、指導者にとって、どれだけサッカーを見て自分の指導のスタイルをつくり上げるか、それをどう説得力を持って伝えられるかが重要です。その力を養えたのがA級取得のときでしたし、そこから指導者として本当のスタートを切れた気がします。

——指導者としてのキャリアの中で、忘れられない瞬間は？

田邊 日ノ本学園の監督時代、大会前にテレビの取材が入ったのですが、その時の映像を見るといまだに恥ずかしくなります。選手たちが練習に気乗りしていなかったのですが、それを選手のせいにはしている自分が映っていて……。みんなサッカーが楽

しくてやっているはずなのに、怒られながら、強制的にやらされている感じが取れました。今は自分が悪いと分かるのですが、とにかくテレビに映っている当時の姿が恥ずかしいです。

——自分のことを客観視できるいい機会になったのではないのでしょうか。

田邊 そう思います。私の場合、たまたま自分で自分の指導を見ることができましたが、指導者講習会に行つて他の指導者の方に見てもらつたこと、あるいは他の方の指導を見て学ぶことが、指導者として成長する上で不可欠なことだと思います。

目標は高く、
選手のことを第一に

——指導者として大切にしていることは何ですか。

田邊 選手に求めている以上に、自分自身が努力することですね。選手に指摘するからには自分も指摘されなければなりません。選手に受け止めてほしいなら、自分も受け止められる人間にならないといけないですよ。

今年度S級を受講予定ですが、「学びの場としてはS級が最後。取得したら学びの場がなくなるから、自分から学ぶ機会をつくらないといけない」という話をしていたきました。今はノジマステラ神奈川相模原のアカデミーを見ていますが、今までにインプットしてきたものを異なる環境でアウトプットして何が起るのか、日々学

んでいますし今後、S級講習会もあるので楽しく過ごしています。

——ライセンス取得のメリットはどこにあると考えますか。

田邊 伝える言葉に説得力が出ますし、ライセンスがないとできないこともありま。受講料や時間、仕事との兼ね合いなど、壁はいろいろあると思いますが、講習会に行く価値は大きいので、条件が合う方はぜひ受講してほしいですね。

——2021年秋にはWリーグが開幕するなど、日本女子サッカーが変革の時を迎えています。今後、女性指導者が増えることで、女子サッカー界はどのように変わっていくと思いますか。

田邊 指導者にはいろいろな道が開けると思いますし、選手に「指導者って楽しそう」「この監督みたいになりたい」と思ってもらえたら、セカンドキャリアに指導者という選択肢が入ってくるのではないのでしょうか。サッカーの指導者は男性の占める割合が大きいのが現状ですが、女性指導者の数が増えれば、それだけ優秀な指導者が生まれる可能性も広がると思います。

——同性同士のほうがメリットは多そうですか？

田邊 同性だからこそ気付けること、話し合えることがたくさんあるので、細やかな気遣いができると思います。一方で、女性

同士だと厳しくなり過ぎる部分もあるので、コーチングスタッフの中に男女両方がいて、相談しやすいスタッフと話し合える形が理想的だと思います。将来的には男子チームにも女性指導者が関わられるようになれば面白いですね。

——今後の目標を教えてください。

田邊 なでしこジャパン（日本女子代表）の監督候補として名前が挙がるくらいの指導者になりたいです。候補になること自体が目標ではなく、そこに名前が挙がるということは、いい指導者として評価してもらえた一つの結果だと思います。いろいろな知識や経験を身につけて、人間性も含めて自分が成長していった名前が挙がるようになれば、指導している選手たちが成長していることにもなると思います。「この人に教わつたら楽しいし、うまくなれるような指導者になりたいです。」



2012年から8年間指導した日ノ本学園を離れ、今シーズンからノジマステラ神奈川相模原のアカデミー・ダイレクター兼ドゥエ(U-18)監督に就任した

ライセンスを取得して 立ち返る指針ができた

茨城県で第4種、第3種を中心に指導を続ける菅原孝徳さん。指導者としての向上心を焚きつけるものは何なのか。指導者を志したきっかけや上級位のライセンス取得に至った経緯について話を聞いた。

○オンライン取材日：2020年7月15日

10年のブランクを経て サッカーの指導を開始

——現在の指導者としての活動内容を教えてください。

菅原 少年団と女子のチームでコーチを務めています。女子チームは小学生からほぼすべての年代をカバーしていて、一昨年にはお母さんたちのチームを立ち上げました。ほかに茨城県の県南トレセンのコーチも担当していますが、今は新型コロナウイルスの影響で活動を休止しています。

——仕事をしながらコーチを務めているのでしょうか。

菅原 月曜から金曜まで仕事をしています。土日、祝日が休みなので、その時に指導をしています。平日も19時半から体育館で女子チームのトレーニングを指導しています。大変ではありますが、楽しくやらせていただいています。



菅原孝徳

JFC LUGAR / 桜川ガールズFC (U-12) / SGFC 桜川クロレ (O-13)

菅原 最初は2010年にD級ライセンスを取得しました。キッズリーダーと両方を取ることができる講習会があり、それを受講したのですが、すごく楽しかったのがその場ですぐにC級の申し込みをし、翌年に取得しました。B級を取得したのは19年です。トレセンのコーチはB級取得者がスタンダードになるという声があったので、感触を確かめてみようと思って試しに受けたところ、運よく取得することができました。

——どのあたりに楽しさを感じられたのでしょうか。

菅原 現役生活はたった6年間で、その時は感性だけでサッカーをしていたのですが、講習会で頭を使って考えながらサッカーをし、それを教えるという経験がすごく楽しかったです。そこから自分でもサッカーを勉強するようになりました。

サッカーを学ぶことが とにかく楽しかった

——D級からスタートしてC級、B級とステップアップしていき、特によかったと思うのはどの部分でしょうか。

菅原 サッカーをより深く知ることができたことですね。指導者同士のつながりもで

——ご自身のサッカー歴を教えてください。

菅原 本格的に始めたのは中学の部活からで、高校3年生まで部活でプレーしました。現役生活はその6年間。その後は遊びでフットサルをする程度で、サッカーとの関わりはほとんどありませんでした。

——コーチを務めるようになったきっかけは？

——その後、指導者ライセンスを取得されたのですか。

菅原 私は宮城県出身で、高校卒業後就職のために19歳で茨城県に来ました。その後、転職した会社の上司が少年団のコーチをしていて、そのつながりでコーチを引き受けたのがきっかけです。高校を卒業したのが1995年、コーチを始めたのが2006年なので、引退から指導するまで10年以上のブランクがありました。



平日の夕方は仕事後に女子チームを中心に指導している

きました。講習会の同期の人たちは、指導する年代が異なるので練習試合をする機会はそれほど多くないのですが、試合会場であつて話をすることはあります。

——指導者として留意していることはありますか。

菅原 言葉の使い方です。選手の年代や性別に合わせて柔軟に使い分けないとダメだし、選手に話を聞いてもらえないと指導する意味がないので、自分の言葉を相手がどう捉えてくれるのかをしっかり念頭に置いて指導しています。

——では、指導する楽しさとはどんなところにありますか。

菅原 自分が求めるプレーを実践しても

らうために何をすればいいのか考えるとそこから始めるのですが、それを考えることも楽しいですし、どんなオーガナイズをすればいいのか、どんな声掛けをすればいいのか。トレーニングをした時にちゃんと形になるのか、最終的にプレーする側に笑顔が出てくるかどうか、というところまで、すべてが楽しいですね。

——指導をされる中で印象に残っている出来事はありますか。

菅原 小学生の大会で、カバリングの動きが悪かったことがあつて試合の合間に修正をしたのですが、戦術ボードで説明するのではなく、実際にウォーキングサッカーのようにゆっくり動きながら選手に確認させるようにしました。そうしたら、次の試合ではみんなしっかりと理解してくれて、狙いどおりのカバリングができました。

——上級ライセンスになると講習会の受講期間も長くなります。仕事をしながらだとスケジュール調整も大変なのでは？

菅原 B級は前期、後期とも5日間ずつだったので、確かに調整は難しかったです。パソコンを持参して講習の合間に1、2時間ずつ仕事をするなど、両立できる状況をつくりながら進めました。

——それだけ大変な思いをしても上級のライセンス取得をしようというモチベーションはどこにあったのでしょうか。

菅原 C級を目指した時と同じで、サッカーの勉強が楽しかった。ただそれだけですね。ライセンスを取得して何かをしようとより、その過程がすごく楽しい。座学も指導実践も、とにかく楽しいです。体は動かなかったですけど(笑)。

経験だけでは限界がある 日々の勉強が重要

——指導者が学び続けることの意義をどのように感じていますか。

菅原 サッカーのトレンドは毎年、変わりますし、流行しているサッカーを実践するためにはどんなプレーが必要なのか、そのプレーを浸透させるためにはどんなトレーニングが必要なのかを常に掘り下げていかなければなりません。ほんの数年前のトレーニングや理論でも古くなります。そう考えると、年々というより日々、いろいろな情報を取り入れてアップデートしていかないと取り残されてしまうので、勉強は絶対に必要だと思えます。

——ライセンスを取得せずに指導されている方もいらっしゃいます。あらためてライセンス取得のメリットを教えてください。

菅原 私自身も最初の数年間はライセンスを持たずに指導していましたが、自分の経験をただ教えるだけでした。小学生の頃はサッカーをしていなかったので、その年代の子どもたちにどう教えられるかわからなかったんです。親しいコーチに聞いた

り、本を読んだりもしたのですが、言うことや書いてあることはまちまちで、どこに目を向けて、何にフォーカスし、修正するには何をすればいいのか全くつかめませんでした。ライセンスを取得してからは、練習や試合でつまづくことがあつても、講習会で学んだこと、そこで話合ったことが立ち返る指針になります。それがライセンス取得の最大のメリットだと思います。

——A級ライセンスはジェネラル、U・15、U・12と枝分かれします。今後、A級を取得したいという思いはありますか。

菅原 年齢的に難しい部分もありますが、きっかけがあればU・15やU・12は受けたと思います。

——指導者としての今後の夢や目標をお聞かせください。

菅原 非常にわがままなのですが、監督としてチームのあらゆる部分をマネジメントするより、コーチとして選手個々のプレーを見続けていきたいという思いがあります。周囲に監督気質の人が多くいて、コーチとしてそのような方々のサポートをしていきたいですね。

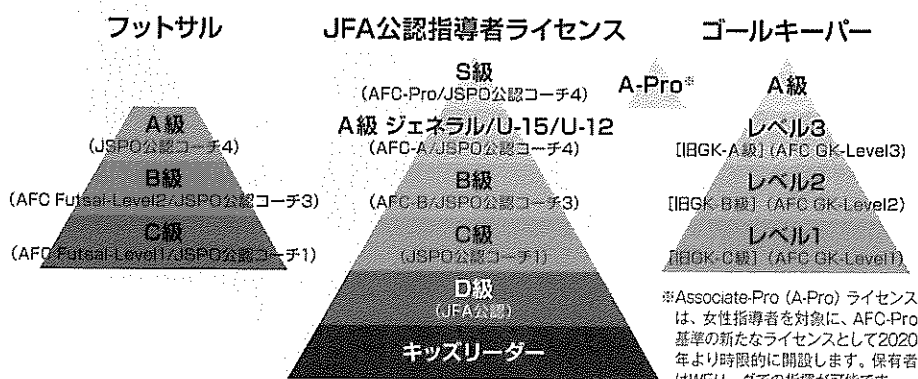
女子サッカーに携わっている身として、FIFA女子ワールドカップで優勝した時(2011年)のような勢いをつけられるよう、女子サッカーの人口をもっともっと増やしていきたいという目標も持っています。

公認指導者ライセンスについて

日本サッカー協会（JFA）では、指導者のライセンス制度を設け、レベルに応じた指導者講習会を開催しています。

サッカーのD級、C級といった指導者の入り口となるコースのほか、上位ライセンス、GKやフットサルといった専門性に特化したコースを用意しています（下図参照）。

各講習会に合格した方は、JFAに登録することで、公認指導者ライセンス保有者となります。ライセンス保有者向けのサービス『JFAテクニカルニュース』『JFAスクエア』のウェブサイトの閲覧、リフレッシュ研修会（公認指導者研修会）の受講が可能となります。



どなたでも受講できます！
 (C、D級 18歳以上、キッズリーダー 15歳以上)
 C級、D級、キッズリーダー養成講習会受講希望の方は、JFA-IDを取得の上 KICKOFFより講習会を検索いただくか、都道府県サッカー協会のホームページをご確認ください。都道府県サッカー協会（一部、例外あり）によって開催日程・場所・費用などが決定されます。
 ※既にJFAに登録している方（JFA ID取得済みの方）は、KICKOFFの「マイページ」内の左下部「指導者」から申し込みます。

<指導者講習会の詳細や受講方法>

JFA公式ウェブサイト（指導者養成講習会）：<https://www.jfa.jp/coach/official/training.html>



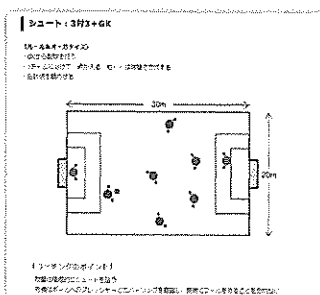
●テクニカルニュース

指導者ライセンスを取得されると『JFAテクニカルニュース』のウェブサイト（登録指導者向け情報サイト）を閲覧いただけます。

JFAテクニカルニュースでは、指導者ライセンス取得後も常に最新の情報に触れられ、日常の指導を充実させるためのヒントとしていただけるよう、各カテゴリで日本代表の活動報告や、各種大会の分析レポート、JFAの各種取り組みの報告、試合の分析映像やトレーニング映像など、さまざまなコンテンツを定期的に発信しています。



テクニカルニュース ウェブサイト画面



テクニカルニュース コンテンツの一部

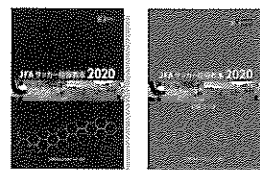
●リフレッシュ研修会

JFAでは、指導者の皆さんが新しい知識や情報を共有するリフレッシュ研修会を開催しています。ライセンス保持者（D級コーチ、キッズリーダーを除く）は、リフレッシュ研修会の受講やチームの指導などを通して所定の期間内にリフレッシュポイントを獲得することがライセンスの更新に必要になります。必要ポイント数や獲得期限などはJFA公式ウェブサイトを参照ください。

●「JFAサッカー指導教本2020」 「JFAサッカー指導教本2020 D級コーチ」販売開始

JFAは2020年度のC級、D級コーチ養成講習会のカリキュラム改訂に伴い、新たな指導教本の販売を開始しました。

指導教本はC級、D級養成講習会の教材として使用されるほか、JFA公認指導者ライセンス保有者も購入することができます。



ご覧いただくには「JFA 公認指導者ライセンス」が必要です。

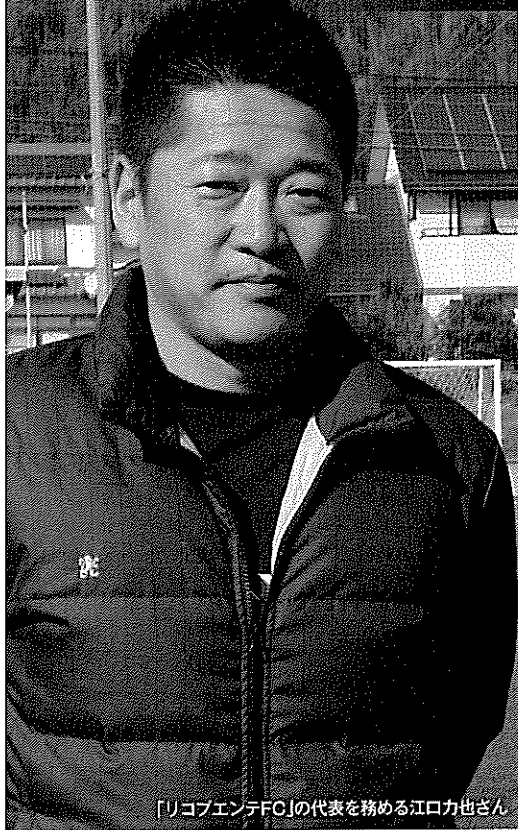
※JFA公認指導者ライセンスをお持ちの方のみが閲覧することができます。その際、「JFA ID」のログインIDとパスワードが必要になります。新規ライセンスの講習会を受講中の方は、ライセンスの認定を受けて登録が有効になると閲覧することができます。

「サッカーが好きだから〜I just love football〜」全国サッカーファミリープロフィール

JFA公式ウェブサイトのクラスルーツページでは、サッカーをこよなく愛する全国サッカーファミリーの方々をご紹介します。指導者ライセンスを初めて取得された方やもう一度学び直した方のインタビュー動画も掲載しています。

URL https://www.jfa.jp/grass_roots/lovefootball/





「リコブエンテFC」の代表を務める江口力也さん



日本サッカー協会の松田薫ニグラスルーツ推進グループ長

スポーツの力を活用して差別意識を無くしたい

日本サッカー協会(JFA)の松田薫ニグラスルーツ推進グループ長が、JFAグラスルーツ推進賛同パートナーに話を聞く「グラスルーツ対談」。「引退なし」「補欠ゼロ」「障がい者サッカー」「女子サッカー」「施設の確保」「社会問題への取り組み」の全てにエントリーしている「リコブエンテFC」(愛知県豊橋市)の江口力也さんに話を聞いた。

○対談日:2020年2月17日

共生社会をつくるために

松田 そもそも、なぜグラウンドをつくろうと思ったのですか？

江口 障がいのある子どもたちが地域の公園でスポーツや遊びをしていると、周囲の人から苦情がきたり、行政から心ない扱いを受けたりすることが多々ありました。それで、自前のグラウンドをつくれれば誰にも文句を言われずに、好きなように運動できるだろうと思ったことがきっかけです。

松田 それは胸が痛い話ですね。健全者と障がい者が共に生きる「共生社会」という言葉がありますが、その認識を改めなければ、とてもじゃありませんが、共生なんてできませんね。

江口 そう思います。だから私は、共生社会をつくるために、スポーツでつながりを持たせたいという思いがあります。スポーツをして生き生きしている様子を見れば、周囲の人

たちも危ない行動をする子たちとは思わず、スポーツをしている子として見てくれます。その子たちに、障がいがあるだけなんです。どうしても差別意識があるので、それを無くすためにも、スポーツの力を活用できればと思っています。

松田 障がい者施設に通う子どもたちの様子はいかがですか？

江口 スポーツが存分にできる環境は少ないので、やめる子はいます。保護者の方も、ずっとここに預けたいと言ってくれるので継続性があります。そうすると、職員も辞めないんですね。放課後等デイサービスは高校3年生までなので、卒業する子が出るタイミングで、生活介護の部門をつくりました。卒業生はそこに通ってくれています。同じ場所に継続的に通えるので、生活環境も変わることがなく、保護者からも喜ばれます。

松田 障がい者福祉の経験がない中で、この活動を始めた頃は、どんな苦労がありましたか？

江口 慣れるまでは、思春期の子どもの面影を見るのは大変でした。自分の気持ちをうまく表現できない子や、いろいろな面で難しさを抱えている子、自傷してしまう子もいて、格闘の日々でした。嘔まれたり、つねられたり、毎日体のどこかにあざをつくっていました。子どもたちの姿を見ていると心苦しいというか、胸が痛むんです。なるべく穏やかに過ごせる環境をつくってあげたい。子どもたちそれぞれ特徴は違うので、職員みんなで情報を共有して乗り越えてきました。

松田 その中で、サッカーはどのような役割を果たしたのですか？

江口 サッカーや遊びを通じて、身体を動かしてエネルギーを発散することは、心身に良い影響をもたらします。それに、施設の中と外をつなげるキーワードがサッカーだったように思います。

松田 施設をつくって、2017年にスクールを立ち上げていますね。カテゴリーは？

江口 スクールは小学生と中学生です。アカデミーもあります。最終的にはユースを立ち上げようと思っています。部員は全カテゴリーで50人ぐらいです。人数は、今の倍にはしたいですね。



松田 アカデミーは田原市にもありますよね。

江口 はい。豊橋市の隣にある田原市につくりました。廃校になった中学校を使って、サッカーやバレーボール、バスケットボールなどのクラブも合わせて、総合型スポーツクラブにする構想もあります。ほかに、ふるさと納税を活用して、体験型のサッカークリニックをすることも考えています。

松田 素晴らしいですね。

江口 いろいろな形をつくって、スポーツをする環境が整っていく一つのモデルになればと思っています。うちの福祉施設にきてくれてる人たちは、長ければ65歳まで残り続けるんですね。これからどんどん入居者も増えていくと思うので、どう施設を増やすかは常に考えています。

サッカーを通じて理解を深めたい

松田 リコプエンテのサッカークラブと、障がいのある人たちの関わりはどうしているのでしょうか？

江口 リコプエンテでサッカーをしている子どもたちが社会に出ていくまでの間に、障がいのある子どもたちと、何か接点を持たせたいと思っています。

それは保護者にも伝えていて、ウェルカムだと言ってもらっています。接点があれば理解度が深まりますし、サッカーという共通のスポーツがあれば、交流は可能だと思っています。

松田 政府も障がい者雇用を促進しているので、社会に出れば接する機会も増えます。そのときに、子どもの頃にサッカーやスポーツを通じて、互いに接した経験があることはプラスに働きますよね。

江口 小さいうちから接点があれば心強いと思います。でも、今の日本にはなかなかありません。障がいのある人たちが当たり前のように社会に参加していく仕組みが必要で、それを私たちが手探りでやっているとこです。

松田 「スポーツの価値を高める」という言葉がありますが、そもそもサッカーは地域に価値を提供できているのか？という疑問があります。好きなことをやっていると「応援してください」と言っても、共感を得られませんよね。江口さんのように、世の中の役に立ちながら、スポーツの重要さや世代を超えた交流する場をつくっているのはすごいことです。それがスポーツの価値を高めることにつながっていると思います。

江口 われわれは障がい者福祉が

あつてのサッカーチームです。その気持ちには常に持っています。働いている職員も、ここで学んだことを地元を持ち帰って、そのノウハウをもとに起業することもできます。

松田 福祉とサッカーで新しいビジネスの形が生まれ、さらに多くのことを学ぶことができるんですね。

地域貢献のモデルを目指して

江口 最近、うちで勉強したいという大学生がきてくれました。ノウハウを学び、環境をつくらうと思えば、日本各地で私たちがやっていることと同じことができると思います。

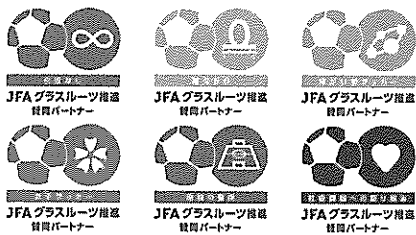
松田 地域貢献なので、周りも協力しやすいですね。

江口 企業やメディアの方も協力してくれています。この形をつくって、みんなに見てもらって、同じことを志してくれる人が増えることが、結果として地域のため、サッカー界のためにもなると思っています。

松田 素晴らしいです。今後の活躍も期待しています。

江口 この取り組みが世の中に広まり、良いつながりができればと思っています。良いモデルになれるように頑張ります。ありがとうございました。

JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度



日本サッカー協会（JFA）は、「JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度」を設けています。これは、「JFAグラスルーツ宣言」に賛同し、賛同パートナーになっていただくことで、グラスルーツサッカーを拡大していくことを目的とした制度です。

同制度は、「引退なし」「補欠ゼロ」「障がい者サッカー」「女子サッカー」「施設の確保」「社会課題への取り組み」という6つのカテゴリーがあり、それぞれのテーマに沿って活動している団体やチームを賛同パートナーとして認定。同賛同パートナーとなった団体やチームの活動を好事例として日本全国に広く紹介することで、グラスルーツサッカーへの理解が深まり、その輪が広がることを期待しています。

日本サッカー協会はこの制度によって、年齢や性差、障がいの有無、国籍などにかかわらず、誰もがレベルや目的に合わせて気軽にサッカーを楽しめる環境を広げていきたいと考えています。

JFA.jp

https://www.jfa.jp/grass_roots/partner/

JFAアカデミー2021年度入校生 出願受付中

日本サッカー協会（JFA）は、JFAアカデミーの2021年度入校生の選考試験を実施する。

JFAは2006年、「世界トップ10を目指した個の育成」「世界基準を日常に」をキーワードにJFAアカデミー福島（男女）を開校した。その後、09年に熊本宇城（男子）、12年に堺（女子）、15年に今治（女子）にも開校。常に「どんなときでも、日本でも海外でも」ポジティブな態度で何事にも臨み、自信に満ち溢れた立ち居振る舞いのできる人間を育成する。「フットボール（目的）の下、ロジック形式」に於いて能力の高い選手に良い指導、良い環境を与え、サッカーのみならず人間的な面の教育も重視し、国際社会をリードする、真の世界基準の人材育成に取り組んでいる。

JFAアカデミー福島は東日本大震災の影響により、11年から一時的に静岡県に移転していたが、男子は21年4月から福島県に戻って活動を再開することが決まっており、女子も24年4月から全学年が福島に帰還する。男子においては、国内のユース年代を取り巻く基盤整備が大幅に進んだことから、これまでの中学・高校の6年制を中学3年制へ移行する。それに伴い、JFAは、個の育成を徹底して「17歳でプロを目指す」という新たなコンセプトで福島男子の新加入選手を募集。21年度の選考試験では「プレー動画セレクション」を新設し、トレン選出実績のない選手にも門戸を広げた（プレー動画セレクションは受付終了）。

7月下旬には、入校選考試験の出願フォームを公開。各校で受付を募集している。

JFAアカデミー福島： 福島県内での再開方法

■男子：2021年4月より、中学1年生から1学年ずつ福島で活動を再開し、2024年4月の入校生をもって3学年がそろそろ。2019年・2020年の入校生（14期生・15期生）は3年間のみのプログラムを実施することとし、中学校卒業をもってアカデミーを卒業する。

■女子：2024年4月に静岡で活動する5学年の福島帰還に加え、中学1年生の入校をもって6学年がそろそろ。女子はこれまで通り、6年制で活動予定。

2021年度入校選考試験 実施概要

<男子>

■JFAアカデミー福島

●募集学年・人数：18名程度【2021年4月に中学1年生となる男子（現在小学6年生の男子）】
※2021年度より1学年ずつ募集し、2023年度に3学年がそろ

●出願資格：

- ・都道府県トレセン選出実績のある選手（2019年1月/小学4年生3学期～2020年7月/小学6年生1学期）
- ・都道府県下のブロック（市町村郡）/地区のトレセンに選出実績のある選手（対象期間：2019年1月～2020年7月）
- ・プレー動画投稿による選考で試験への参加を認められた選手

●選考試験日程

- ・1次選考試験 9月21日（月祝） 札幌サッカーアミューズメントパーク
9月26日（土） Jヴィレッジ
10月3日（土） J-GREEN堺【大阪府堺市】
10月10日（土） 高円宮記念JFA夢フィールド
10月11日（日） 御殿場高原時之栖Aグラウンド【静岡県御殿場市】
- ・最終選考試験 10月24日（土）～25日（日） Jヴィレッジ（1泊2日）

●選考試験免除：アカデミースタッフによるスカウティング

●プレー動画セレクション：

都道府県トレセンへの選出実績（予定）がない選手でも、可能性を秘めた選手の発掘を目的に、プレー動画の投稿による選考を行う。投稿動画での選考を希望する場合は、投稿用フォームに必要事項を記入の上、TwitterもしくはYouTubeへアップした動画のURLを提出する。【投稿期間：6月29日（月）～8月3日（月）】

●出願締切：8月24日（月）15:00

■JFAアカデミー熊本宇城

●募集学年・人数：18名程度【2021年4月に中学1年生となる男子（現在小学6年生の男子）】

●選考試験日程：12月12日（土）～13日（日） ※2日間通して実施（宿泊なし）
宇城市立ふれあいスポーツセンター【熊本県宇城市】

●出願締切：10月29日（木）15:00

<女子>

■JFAアカデミー福島

●募集学年・人数：6名程度【2021年4月に中学1年生となる女子（現在小学6年生の女子）】

●選考試験日程：

- ・1次選考試験 9月20日（日） 帝人アカデミー富士【静岡県裾野市】
9月22日（火祝） 帝人アカデミー富士【静岡県裾野市】
予備日9月26日（土） 帝人アカデミー富士【静岡県裾野市】
- ・最終選考試験 10月10日（土）～11日（日） ※2日間通して実施（宿泊なし）
帝人アカデミー富士【静岡県裾野市】

●出願締切：9月3日（木）15:00

■JFAアカデミー堺

●募集学年・人数：12名程度【2021年4月に中学1年生となる女子（現在小学6年生の女子）】

●選考試験日程：

- ・1次選考試験 10月3日（土） J-GREEN堺【大阪府堺市】
10月4日（日） J-GREEN堺【大阪府堺市】
予備日10月11日（日） J-GREEN堺【大阪府堺市】
- ・最終選考試験 10月31日（土）～11月1日（日） ※2日間通して実施（宿泊なし）
J-GREEN堺【大阪府堺市】

●出願締切：9月17日（木）15:00

■JFAアカデミー今治

●募集学年・人数：12名程度【2021年4月に中学1年生となる女子（現在小学6年生の女子）】

●選考試験日程：

- ・1次選考試験 10月10日（土） 桜井海浜ふれあい広場サッカー場【愛媛県今治市】
予備日10月11日（日） 桜井海浜ふれあい広場サッカー場【愛媛県今治市】
- ・最終選考試験 11月28日（土）～29日（日） ※2日間通して実施（宿泊なし）
桜井海浜ふれあい広場サッカー場【愛媛県今治市】

●出願締切：9月24日（木）15:00

<出願方法>

保護者がパソコン、スマートフォン等でJFA公式ウェブサイト内「2021年度JFAアカデミー入校選考試験出願案内ページ」から個人情報を入力し、出願する。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、試験は延期や中止となる場合あり。

入校生選考試験および出願案内ページの詳細はこちら▶▶▶https://www.jfa.jp/youth_development/jfa_academy/application.html



（2021年度入校の場合）

JFAアカデミー福島	JFAアカデミー熊本宇城・堺・今治
ロジック（完全寄宿制） 長期休暇（春・夏・冬）は帰宅する。	ロジック（寄宿制）+週末帰省 平日は寮に寄宿しながら、中学校、アカデミーでの活動を行い、週末や長期休暇は帰省し地元チームでの活動を行う「週末帰省型」を採用。（例外として、アカデミー活動や学校行事等で帰省しないこともあります。）そのため毎週末無理なく帰省できる選手が対象。
男子：中学校の3年間（福島県での活動） 女子：中学校・高校の6年間（中学の3年間は静岡県、高校の3年間は福島県での活動）	中学校の3年間（熊本宇城：男子のみ、堺・今治：女子のみ）
チーム登録をして活動	アカデミーとしてチーム登録は行わず、各自が自宅近くのチームに所属（登録）し、帰省時にはその所属チームで活動

日本サッカー協会（JFA）および各リーグ・連盟等のリリース情報、活動内容を報告します。

JFAリリースインフォメーション&活動報告 月刊レポート

日本サッカー協会

「JFA 夢フィールド 幕張温泉 湯楽の里」が7月にオープン

7月15日、高円宮記念JFA夢フィールドが立地する千葉県千葉市の幕張海浜公園内に「JFA 夢フィールド 幕張温泉 湯楽の里」がオープンした。

同施設は、JFAと株式会社スパサンフジが共同で運営するもので、「スポーツリラクゼーション」をコンセプトとした温浴施設となる。ランニングステーション（※）として利用できるほか、スポーツストレッチやヨガ教室などが楽しめる予定の多目的ルームも備わっている。露天風呂には地下2,000mからくみ上げた天然温泉を使用し、ドイツの医療分野でも利用されている炭酸泉を高濃度で再現した高濃度炭酸泉を導入。露天風呂からは東京湾を一望できる。

共同運営者となる（株）スパサンフジは、関東一円で温浴施設を運営する会社で、同社の実績とノウハウを生かし、スポーツを楽しむ人々や地域の人々、公園を訪れる人々に癒やしの場や健康増進につながるフィットネスプログラムを提供したいと考えている。

※着替えるスペースとロッカーがあり、荷物を預け、必要なものだけを持って身軽なスタイルでランニングやトレーニングができる拠点

【施設概要】

名称 : 「JFA 夢フィールド 幕張温泉 湯楽の里」
住所 : 〒261-0022 千葉県千葉市美浜区美浜26
(千葉県立幕張海浜公園内)

開業 : 2020年7月15日(水)

共同運営者 : 株式会社スパサンフジ(代表取締役社長:末吉 稔)

首都圏(一都六県)で「湯楽の里」「喜楽里」の21店舗(幕張温泉含め22店舗)を運営

株式会社スパサンフジ企業サイト

<http://www.spasanfuji.co.jp/>

湯楽の里・喜楽里総合案内サイト

<https://www.yurakirari.com/>

施設内容 : 延べ床面積 3,079.90平方メートル

●露天風呂/展望露天風呂(地下2,000mからくみ上げた温泉源泉を加温して補給)

●内湯/高濃度炭酸泉、炭酸寝湯、ジェットバス、電気風呂、白湯、水風呂

●サウナ/オートロウリュウサウナ

●複合型岩盤浴/岩盤浴、クールルーム、リラクゼーションルーム、海辺テラス

●リラクゼーション/ボディケア・あかすり・エステ

●上記の他、リクライニングスペース、食事処、カフェコーナー多目的ルーム・キッズルーム など

千葉大学医学部附属病院と高円宮記念JFA夢フィールド事業に関する協定を締結

JFAは7月21日、千葉大学医学部附属病院と、高円宮記念JFA夢フィールドにおける医療環境の確保を目的とした協定を締結した。

同協定により、JFA夢フィールドでけがや発病等により検査・診療の必要が発生した場合、JFAは千葉大学病院の医療支援を受けられることになる。

【協定内容】

日本サッカー協会の事業において、夢フィールドで検査・診療の必要が発生した際の千葉大学病院の協力、および県内の医療機関との連携

■横手幸太郎 千葉大学医学部附属病院長

この度、高円宮記念JFA夢フィールドにおける日本サッカー協会の活動を医療面で支援させていただくことになりました。当院の経験豊富な医療スタッフや県内医療機関とのネットワークを高く評価いただいたものとして、大変名誉なことと感じております。

今回、中心となって対応するスポーツメディクスセンターは2019年1月に設置し、スポーツに関わりの深い外科・内科の医師、救急科、放射線科、看護部、事務部などが連携して運営しています。これまでラグビーワールドカップ千葉県内キャンプ地の後方支援や県内スポーツイベントの支援、新型コロナウイルス感染症で停止した学校の部活動・クラブ活動を再開する際のガイドライン策定などを行ってきました。SAMURAI BLUE(日本代表)、なでしこジャパン(日本女子代表)をはじめとする日本代表チームの輝かしい活躍には、国民の関心も非常に高く、その支援を担うことは大きな責任ですが、皆さまの期待に応えられるよう、病院を挙げて取り組んでまいります。

■田嶋幸三JFA会長

日本サッカー協会は、高円宮記念JFA夢フィールドを拠点として、「選手育成・代表強化・指導者養成の三位一体+普及」を推し進めていくこととなります。

JFA夢フィールドがナショナルトレーニングセンターとしての機能を十分果たすには、メディカルの充実も不可欠です。トレーニングキャンプや各種講習会・研修会などでけがや疾病などが生じた場合、千葉大学医学部附属病院のご協力によって速やかに検査や治療を受けられることで、重症化を最小限に食い止めることができるでしょう。選手や指導者、審判員などが安心して、また、全力でサッカーに打ち込める環境があることは、世界のトップを目指す日本サッカー界にとって大きな力になると確信しています。

今回の協定により、この夢フィールドが日本サッカーの発展だけでなく、地域の人々にとってもスポーツを楽しみ、健康を維持するための場所となることを強く願っています。



7月21日、JFA夢フィールド事業に関する協定を締結した千葉大学医学部附属病院の横手院長(右)と田嶋JFA会長

2020年JFA・Jリーグ特別指定選手

選手 : 安田 祐生 (やすだ ゆうき)
 ポジション : GK
 生年月日 : 1998年6月25日
 身長/体重 : 180cm / 75kg
 所属元 : 東京学芸大学
 所属歴 : 八橋フットボールクラブスポーツ少年団⇒秋田ロク・フットボールクラブ⇒秋田市立泉中学校⇒ブラウブリッツ秋田U-18
 受入先 : ブラウブリッツ秋田
 認定日 : 2020年6月24日

選手 : 三國スティビアエブス (みくに すていびあえぶす)
 ポジション : DF
 生年月日 : 1998年5月31日
 身長/体重 : 181cm / 73kg
 所属元 : 順天堂大学
 所属歴 : 野火止サッカー同好会⇒東京NOBIDOMEFC⇒青森山田中学校⇒青森山田高校
 受入先 : 水戸ホーリーホック
 認定日 : 2020年7月7日

選手 : 上原 牧人 (うえはら まきと)
 ポジション : DF

生年月日 : 1998年11月20日
 身長/体重 : 182cm / 78kg
 所属元 : 城西国際大学
 所属歴 : 高良フットボールクラブ⇒小祿中学校⇒那覇西高校
 受入先 : FC琉球
 認定日 : 2020年7月21日

選手 : 小柏 剛 (おがしわ つよし)
 ポジション : FW
 生年月日 : 1998年7月9日
 身長/体重 : 167cm / 67kg
 所属元 : 明治大学
 所属歴 : 中居キッカーズ⇒高崎ドリームズ中川⇒ファナティコス⇒大宮アルディージャジュニアユース⇒大宮アルディージャユース
 受入先 : 北海道コンサドーレ札幌
 認定日 : 2020年7月21日

※JFA・Jリーグ特別指定選手：サッカー選手として最も成長する年代に、種別や連盟の垣根を越え、「個人の能力に応じた環境」を提供することを目的とした制度。全日本大学サッカー連盟、全国高等学校体育連盟サッカー部、またはJクラブ以外の大学運営（学校法人）のチームに所属する学生選手、もしくは日本クラブユースサッカー連盟の加盟チームの所属選手を対象にJFAが認定した選手に限り所属チーム登録のまま、Jリーグ等の試合に出場可能となる。

2020年JFA・なでしこリーグ特別指定選手

選手 : 石田 菜々海 (いしだ ななみ)
 ポジション : DF
 所属元 : 帝京平成大学
 所属歴 : 高洲南サッカースポーツ少年団⇒常葉学園橋中学校⇒常葉学園橋高校⇒帝京平成大学
 受入先 : オルカ鴨川FC
 認定日 : 2020年6月26日

選手 : 小野 奈葉 (おの なな)
 ポジション : DF

所属元 : 神奈川大学
 所属歴 : SCHフットボールクラブ⇒日テレ・メニーナ⇒神奈川大学
 受入先 : 大和シルフィード
 認定日 : 2020年6月26日

※JFA・なでしこリーグ特別指定選手：サッカー選手として最も成長するユース年代に組織や連盟等の垣根を越え、「個人の能力に応じた環境」を提供することを目的とした制度。2020プレナスなでしこリーグ（1部/2部）に加盟していないチームに所属する各年代の日本女子代表選手、またはそれに準ずるレベルの選手の中からJFA女子委員会の認定を受けた選手が、所属チーム登録のまま2020プレナスなでしこリーグ加盟チームで活動し、さらにその試合に出場することが可能となる。

指導者養成

Associate-Pro (A-pro) コーチ養成講習会を開設

JFAは日本サッカー全体の発展に向け、女性の競技人口の増加と次世代のリーダーの育成のプロジェクトを推進している。特に、2021年の女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」の立ち上げをその起爆剤とし、JFAとWEリーグが両輪となって日本女子サッカーの継続的な発展を目指している。その施策の一つとして、2020年9月に女性指導者を対象とする「Associate-Pro (A-pro) ライセンス養成講習会」を開設することを決定した。同コースは、WEリーグの監督となり得る人材養成を目指すとともに、世界のサッカー界における女性指導者のリーダーとなる人材を育成することを目的としている（8月3日発表）。

※詳細はJFA公式ウェブサイト参照

■反町康治JFA技術委員長

現在、日本サッカー協会へ登録して下さっている選手は88万人います。しかし、その中で女性の割合はわずか約6%に過ぎません。少子高齢化、人口減少が進んでいる中、女性の競技人口が増え、登録者全体に占める割合が増えていくことは、日本サッカーの継続的成長につながっていくものと考えています。

今回設立された日本女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」によって湧き上がる女子サッカーへの関心、注目の高まりは日本サッカー界としても大きな好機だと考えています。

技術委員会、女子委員会が一丸となって、女性競技者、指導者の増加や女性リーダーの養成に取り組むことで女子サッカーの普及拡大、競技力向上に貢献していきたいと思えます。

日本女子プロサッカーリーグ

WEリーグ初代チェアに岡島喜久子氏が就任

一般社団法人日本女子プロサッカーリーグ(WEリーグ)は7月3日、社員総会で岡島喜久子氏の代表理事(呼称:チェア)就任を決議し、同日のJFA理事会に報告した(31ページ参照)。

■岡島喜久子WEリーグチェア

日本女子サッカーの発展は、なでしこジャパン(日本女子代表)の強化抜きに語ることはできない。1989年の日本女子サッカーリーグ開幕以降、諸先輩方が30年以上にわたって紡いできた日本の女子サッカーは、2011年のFIFA女子ワールドカップ優勝という形で大きく花開いた。あの感動を再び味わい、さらなる高みに到達するためには、子どもたちの夢の受け皿となる場と人材が必要だ。

Jリーグが開業した1993年以降の日本サッカーを見れば明らかな通り、リーグと代表は、その国のサッカーの発展を支える車の両輪である。

女子サッカーの先駆者であり、そして長く海外で仕事をされてきた岡島さんには、その経験と知識に基づいた多角的な視点でWEリーグを率いていただき、日本女子サッカーの普及と育成・強化、そして、WEリーグが目指す女性活躍社会をリードしていただきたいと期待している。

■岡島喜久子WEリーグチェア

私は1972年から中学校の男子サッカー部で練習を始め、同じ年にFCジナンンという日本初の女子サッカークラブでプレーし、幸いなことに日本女子代表にも選ばれた。その後、日本女子サッカー連盟の理事、事務局局長として関わったわけだが、日本の女子サッカーの幕開けを経験した私が、初めてのプロ化という日本の女子サッカーの新たな一歩を共に踏み出せることをうれしく思う。

WEリーグのチェアとして、実現したいことが二つある。まず、プロのWEリーガーの姿を、サッカーをしている女の子たちの憧れの存在にすること。アメリカでは、女子サッカーの試合にはユニフォームを着た少女プレーヤーがチームメイトやコーチと観戦に来たり、娘がサッカー選手だとひと目で分かるファミリーがたくさんいる。サッカーをしている少女たちをはじめ、さまざまな人々にプレーを見に来てもらうことを大切にしていきたい。

そして、このリーグのもう一つの役割は、リーグ名「WEリーグ」にも込められている「Women Empowerment」。日本の女子プロスポーツが発展することは、少女たちの夢の限界をなくす一つの象徴になると考えている。あらゆる業界で頑張っている女性たちが集う「場」としてコミュニティをつくりながら、サッカーを通じて日本中の女性が元気になるようなメッセージを発信していきたい。

7月31日に締め切り、17団体が入会申請

WEリーグは、2021年秋の開幕を予定しているリーグの入会申請を7月31日に締め切り、17団体の入会申請を受理した。

各団体がWEリーグに参入するにあたり、WEリーグはその理念である「女子サッカー・スポーツを通じて、夢や生き方の多様性にあふれ、一人ひとりが輝く社会の実現・発展に貢献すること」を実現するため、チームの運営やクラブ人員体制などいくつかの独自基準を定めている。今後、これらの基準をもとに申請のあった団体の審査を進め、10月上旬に初年度の参加クラブ(6~10クラブ予定)を決定する予定。

■岡島喜久子WEリーグチェア

WEリーグは新型コロナウイルス感染症との戦いの最中に誕生しました。暮らし方や働き方、人との関わり方にさまざまな変化があり、さらにはこうした厳しい時期だからこそ、日本社会の希望になることを目指して船出を決めました。日本が世界一の女子サッカー、世界一のリーグ価値を目指す中で、次のステージに共に進もうとする全国の17もの仲間から申請をいただいたことを非常にうれしく思います。

この17という数は、日本女子サッカーのポテンシャルが高い証であり、輝かしい未来の象徴だと強い喜びを持って受け止めています。ここから6~10クラブに絞らなければなりません。リーグの責任者として、お受けした申請に対して最大限の責任と使命感を持って向き合い、審査を進めていきます。

JFA 全日本O-60サッカー大会 / JFA 全日本O-70サッカー大会

今年度の中止が決定

JFAは、9月19日(土)~21日(月祝)に秋田県にかほ市で開催を予定していた「JFA 第20回全日本O-60サッカー大会」および「JFA 第14回全日本O-70サッカー大会」について、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、開催自治体および主管の一般社団法人秋田県サッカー協会と協議の結果、中止を決定した(7月31日発表)。

【大会概要】

名称: JFA 第20回全日本O-60サッカー大会 / JFA 第14回全日本O-70サッカー大会

主催: 公益財団法人日本サッカー協会

主管: 一般社団法人秋田県サッカー協会

協賛: JFA Youth & Development Official Partner

アイリスオーヤマ株式会社、トヨタ自動車株式会社、

ニチバン株式会社、株式会社モルテン

日程: 2020年9月19日(土)~21日(月祝)

会場: 秋田県にかほ市 仁賀保グリーンフィールド [天然芝1面]

TDK 秋田総合スポーツセンター [天然芝2面]

象潟サッカー場 [天然芝1面]

出場チーム:

●O-60: 60歳以上の選手たちで構成されたチーム。各地域の予選を勝ち抜いた16チームが大会に出場。

●O-70: 70歳以上の選手たちで構成されたチーム。各地域の予選を勝ち抜いた12チームが大会に出場。

大会形式:

●O-60: 4チームずつグループに分かれて1回戦総当りのリーグ戦を行う。各グループの首位4チームによるノックアウト方式で優勝チームを決定する。

●O-70: 4チーム毎のグループに分かれて1回戦総当りのリーグ戦を行う。各グループの首位3チームと2位のうち成績上位1チームの4チームによるノックアウト方式で優勝チームを決定する。

JFA全日本ビーチサッカー大会

今年度の第15回大会を中止

JFAは、9月11日（金）から13日（日）の日程で、兵庫県明石市で開催を予定していた「JFA 第15回全日本ビーチサッカー大会」の中止を決定した。新型コロナウイルスの全国的な感染増加傾向に伴い、参加チームの選手・役員、審判員、大会運営スタッフ、来場者など大会に関わる全ての方の安全と健康を第一に考えた上での決断となった（8月4日発表）。

【大会概要】

名称：JFA 第15回全日本ビーチサッカー大会
主催：公益財団法人 日本サッカー協会

主管：一般社団法人 兵庫県サッカー協会
協賛：JFA Youth & Development Official Partner
アイリスオーヤマ株式会社、トヨタ自動車株式会社、
ニチバン株式会社、株式会社モルテン
開催日：2020年9月11日（金）～13日（日）
会場：兵庫県明石市大蔵海岸
出場チーム：各地域より選出された16チーム
大会形式：ノックアウト方式で優勝チームを決定

全国社会人サッカー連盟

2020年度第56回全国社会人サッカー選手権大会の中止決定

全国社会人サッカー連盟は、10月17日（土）から21日（水）まで、三重県鈴鹿市などで開催予定だった第56回全国社会人サッカー選手権大会を中止することを決めた。

新型コロナウイルス感染が広がっていることから、主催する鈴鹿市、四日市市、伊勢市、伊賀市と協議し、中止することとしたもの（7月20日発表）。

この決定により、全国地域サッカーチャンピオンズリーグ2020の参加チームは下記の通り変更となる。

【大会概要】

名称：第56回全国社会人サッカー選手権大会
（三重とこわか国体第76回国民体育大会サッカー競技リハーサル大会）
主催：公益財団法人日本サッカー協会、一般財団法人全国社会人サッカー連盟
鈴鹿市、四日市市、伊勢市、伊賀市、鈴鹿市教育委員会、四日市市教育委員会、伊勢市教育委員会、伊賀市教育委員会、三重とこわか国体・三重とこわか大会鈴鹿市実行委員会、三重とこわか国体・三重とこわか大会四日市市実行委員会、三重とこわか国体・三重とこわか大会伊勢市実行委員会、三重とこわか国体伊賀市実行委員会
主管：一般社団法人三重県サッカー協会、三重県社会人サッカー連盟
後援：三重県、三重県教育委員会、公益財団法人三重県スポーツ協会、NPO法人鈴鹿市スポーツ協会、NPO法人四日市市スポーツ協会、伊勢市スポーツ協会、伊賀市スポーツ協会

日程：2020年10月17日（土）～21日（水）
大会形式：32チームによるノックアウト方式で優勝以下第4位までを決定（3/4位決定戦を行う）。

その他：

(1) 次の通り、12チームで行う。

- ① 9地域サッカーリーグより各1チーム（9チーム）。ただし、出場できない場合には、次順位チーム（2位チーム）の参加を認める。
- ② 上記で12チームに満たない場合には、Jリーグ百年構想クラブが所属する地域サッカーリーグ（最上位リーグ）の当該チームが2位であれば、優先的に出場を認める。ただし、複数のJリーグ百年構想クラブが該当する場合には、Jリーグ百年構想クラブに認められた順番とする。優先的な出場は1回を限度とする。
- ③ 上記の①・②で12チームに満たない場合は、9地域サッカーリーグ（最上位リーグ）2位チームの中で、JFLへ入会を希望する下記3地域の優先順位で出場チームを決定する。関東・関西・九州・東海・北海道・中国・北信越・東北・四国で巡回し輪番とし、2020年は関東・関西・九州の順で決定する。
ただし、①・②で複数参加となった地域で、輪番枠でも出場可能となった場合には3位チームの出場を認める。
- ④ 地域より出場チームが無い場合は、一般財団法人全国社会人サッカー連盟で裁定し配分する。

全日本大学サッカー連盟

2020年度のみの特例となる全国大会を実施

全日本大学サッカー連盟は7月13日、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、2021年1月、今年度の特例となる全国大会を開催することを発表した。

同大会は、全国9地域から選出された32チームが参加し、大学の日本一を目指すノックアウト方式の大会。例年、年末に開催していた「全日本大学サッカー選手権大会」（インカレ）と同様、当該地域のリーグ戦の上位校に

出場権が与えられる。さらに、当該地域のすべての加盟大学が参加できる大会・レギュレーションによって決められた代表チームも出場が可能。これは今年9月に開催予定だった「総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント」が新型コロナウイルス感染症の影響によって中止になったことを考慮して付与される出場資格となる。

「総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント」と「全日本大学サッカー選手権大会」(インカレ)の両大会の出場資格を合わせた特例大会であり、2020年度に実施される唯一の全国大会となる予定。インカレとは別の大会となるため「全日本大学サッカー選手権大会」の大会名は使わず、インカレの大会としてもカウントされない。

【各地域の出場枠】

- ①北海道2チーム、②東北2チーム、③北信越2チーム、④関東9チーム、⑤東海4チーム、⑥関西5チーム、⑦中国2チーム、⑧四国2チーム、⑨九州4チーム

日本クラブユースサッカー連盟

「第44回日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会」と「XF CUP 2020 第2回日本クラブユース女子サッカー大会(U-18)」の開催日程を決定

日本クラブユースサッカー連盟は、新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、今夏の開催を延期していた「第44回日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会」(延期前の日程:7月19日~30日)、「XF CUP 2020 第2回日本クラブユース女子サッカー大会(U-18)」(延期前の日程:7月27日~8月3日)の開催日程を決定した(7月22日発表)。感染拡大の状況等によってはさらに変更・中止となる場合がある。

【開催概要】

●第44回日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会

主催:公益財団法人日本サッカー協会、一般財団法人日本クラブユースサッカー連盟

主管:関東クラブユースサッカー連盟、公益社団法人群馬県サッカー協会、前橋市サッカー協会

後援:スポーツ庁、群馬県、群馬県教育委員会、前橋市、前橋市教育委員会、前橋市スポーツコミッション、公益財団法人前橋市まちづくり公社、伊勢崎市、伊勢崎市教育委員会、公益社団法人日本プロサッカーリーグ、毎日新聞社(以上予定)

協賛:JFA Youth & Development Official Partner
アイリスオーヤマ株式会社、トヨタ自動車株式会社、ニチバン株式会社、株式会社モルテン

会場:群馬県前橋市、伊勢崎市内グラウンド

日程:2020年12月25日(金)~30日(水) ※12月28日(月)休息日

方法:トーナメント方式

出場チーム:全国9地域代表32チーム(北海道(1)東北(3)関東(11)北信越(3)東海(3)関西(4)中国(2)、四国(1)九州(4))
※地域の代表チームの決定方法は各地域の実情に合わせて各地域に委ねる。

●XF CUP 2020 第2回日本クラブユース女子サッカー大会(U-18)

主催:公益財団法人日本サッカー協会、一般財団法人日本クラブユースサッカー連盟

主管:関東クラブユースサッカー連盟、公益社団法人群馬県サッカー協会、前橋市サッカー協会

後援:群馬県、群馬県教育委員会、前橋市、前橋市教育委員会、公益財団法人前橋市まちづくり公社、前橋市スポーツコミッション(以上予定)

特別協賛:株式会社アイズ・カンパニー

協賛:株式会社モルテン(予定)

協力:株式会社共同写真企画(予定)

会場:群馬県前橋市内グラウンド

日程:2021年1月9日(土)~11日(月祝):グループステージ

2021年1月16日(土):準決勝

2021年1月17日(日):3位決定戦/決勝

出場チーム:全国9地域代表16チーム(北海道(1)、東北(1)、関東(6)、北信越(1)、東海(2)、関西(1)、中国(2)、四国(1)、九州(1))
※出場枠数に満たない場合は関東に出場枠を与える。

AFCチャンピオンズリーグ2020

グループステージMD2以降のマッチスケジュールが決定

AFCチャンピオンズリーグ2020グループステージ・マッチデー(MD)2以降のスケジュールが下記の通り変更となった。グループステージの残り全試合およびノックアウトステージの準決勝まで、ホーム&アウェイ方式ではなくセントラル方式で行われる(7月9日発表)。

●マッチスケジュール(日本クラブのみ) ※2020年7月9日時点

【グループF】蔚山現代(韓国)、上海申花(中国)、パース・グローリー(オーストラリア)、FC東京(日本)

試合日	キックオフ	ホーム	アウェイ	試合会場
10月22日(木)	未定	FC東京	対 上海申花	セントラル会場(未定)
10月25日(日)	未定	上海申花	対 FC東京	
10月28日(水)	未定	FC東京	対 蔚山現代	
10月31日(土)	未定	パース・グローリー	対 FC東京	

【グループG】ヴィッセル神戸(日本)、水原三星ブルーウィングス(韓国)、広州恒大(中国)、ジョホール・ダルル・タクジム(マレーシア)

試合日	キックオフ	ホーム	アウェイ	試合会場
10月23日(金)	未定	広州恒大	対 ヴィッセル神戸	セントラル会場(未定)
10月26日(月)	未定	ヴィッセル神戸	対 広州恒大	
10月29日(木)	未定	ジョホール・ダルル・タクジム	対 ヴィッセル神戸	
11月1日(日)	未定	ヴィッセル神戸	対 水原三星ブルーウィングス	

【グループH】シドニーFC(オーストラリア)、横浜F・マリノス(日本)、全北現代モータース(韓国)、上海上港(中国)

試合日	キックオフ	ホーム	アウェイ	試合会場
10月23日(金)	未定	上海上港	対 横浜F・マリノス	セントラル会場(未定)
10月26日(月)	未定	横浜F・マリノス	対 上海上港	
10月29日(木)	未定	横浜F・マリノス	対 全北現代モータース	
11月1日(日)	未定	シドニーFC	対 横浜F・マリノス	

JFAリリースインフォメーション&活動報告 月刊レポート

【ラウンド16】(東地区のみ)

試合日	キックオフ	ホーム	対	アウェイ	試合会場
11月3日(火祝)	未定	グループE1位	対	グループF2位	セントラル会場(未定)
	未定	グループF1位	対	グループE2位	
11月4日(水)	未定	グループG1位	対	グループH2位	
	未定	グループH1位	対	グループG2位	

【準々決勝】(東地区のみ)

試合日	キックオフ	ホーム	対	アウェイ	試合会場
11月25日(水)	未定	R16勝者1	対	R16勝者2	セントラル会場(未定)
	未定	R16勝者3	対	R16勝者4	

【準決勝】(東地区のみ)

試合日	キックオフ	ホーム	対	アウェイ	試合会場
11月28日(土)	未定	準々決勝勝者1	対	準々決勝勝者2	セントラル会場(未定)

【決勝】

試合日	キックオフ	ホーム	対	アウェイ	試合会場
12月5日(土)	未定	西地区勝者	対	東地区勝者	西地区



Jリーグ競技パフォーマンスデータの呼称およびロゴデザイン

Jリーグは、試合に関わる競技記録や試合中のパフォーマンスに関するデータなどを総称して「J STATS」という新しい名称にすることを決定した(7月1日発表)。

これは、ファン・サポーターやサッカーに関係する多くの人にデータをより身近に、親しみやすいものになるよう、またデータによる新しいサッカーの楽しみ方の提供や日本サッカーの強化・育成・普及への貢献を目指したもの。

【概要】

名称：J STATS (ジェイスタッツ)

概要：「J STATS」はJリーグが認める、試合に関わるさまざまな競技データの総称。メンバー表や得点者、警告/退場といった試合記録に関わるものから、選手ごとのパスやドリブル、ボール支配率といったプレーに関するデータ、試合中の走行距離や選手のポジショニングなどの位置情報(ト

ラッキングデータ)など、競技記録系データからパフォーマンス系データまでを含む。また、AIやARといった新しいテクノロジーとの取組みについては、それぞれ「J STATS AI」「J STATS AR」と組み合わせで表現する。

ロゴデザイン：



コンセプト：「STATS」は「Statistics」の略語で「統計」を意味する英語。その統計は「STATS」のサービスであることを表すために、3本の棒グラフを用いて「J」をデザインし、シンボルとして定めた。赤はサッカーへの情熱、緑はフィールドをイメージした配色。

2020明治安田生命Jリーグ 海外での放映追加

Jリーグは7月1日、海外における2020明治安田生命Jリーグの放映に関して、放送局・プラットフォームの追加合意・決定があったことを発表した。

タイでは、これまでデジタルプラットフォームでの放映をしていたSIAMSPORTに加え、無料地上波テレビ局であるMCOTでの放映も決定。Jリーグにはタイ出身選手が複数所属していることもあり、現地からさらに注目を集めている。

ドイツ、スイス、オーストリアではSportdigitalと新たに合意し、セルビア、モンテネグロ、スロベニア、クロアチア、ボスニア・ヘルツェゴヴィナ、北マケドニアにおいては、SportKlubでのJリーグの放映が決定した。

国・地域	放送局・プラットフォーム	対象大会
中国	K-BALL (China Sports Media)	明治安田生命J1リーグ 明治安田生命J2リーグ
香港	i-Cable	明治安田生命J1リーグ
台湾	ELTA	明治安田生命J1リーグ

国・地域	放送局・プラットフォーム	対象大会
マカオ	TDM	明治安田生命J1リーグ
マレーシア・ブルネイ	Astro	明治安田生命J1リーグ
オーストラリア	OPTUS	明治安田生命J1リーグ
イギリス・アイルランド	Premier Sports	明治安田生命J1リーグ
イスラエル	The Sports Channel	明治安田生命J1リーグ
タイ	SIAMSPORT	明治安田生命J1リーグ
	MCOT	明治安田生命J1リーグ
ドイツ・スイス・オーストリア	Sportdigital	明治安田生命J1リーグ
セルビア、モンテネグロ、スロベニア、クロアチア、ボスニア・ヘルツェゴヴィナ、北マケドニア	SportKlub	明治安田生命J1リーグ
日本除く全世界 (ニュース権)	SNTV	明治安田生命J1リーグ *ニュース配信のみ

第7回Jリーグ理事会を開催

Jリーグは7月16日に第7回理事会を開催し、下記について決定した。

●J3入会要件に関する特例措置

2020年度のJ3入会審査における入会要件について、一部特例措置の制定を決定した。新型コロナウイルスの影響により、今シーズンの日本フットボールリーグ（JFL）の大会方式が変更されたこと（1回戦総当たりリーグ方式、無観客での試合開催「リモートマッチ」等）を踏まえたもの。

■主な入会要件と特例措置の内容

入会要件（現行） （Jリーグ規約 第17条第3項）	特例措置の内容
⑤入会直前年度のJFLのリーグ戦におけるホームゲームの1試合平均入場者数が2,000人を超えており、かつ、3,000人に到達することを目指して努力していると認められること（以下略）	【以下を追記】 ただし、本号に定める要件については、2020年度の入会審査においては適用しない
⑥入会直前年度における年間事業収入が1.5億円以上になると、合理的に見込まれること	特例措置なし【規約通りに適用】
⑦入会直前年度の期末決算において、債務超過ではないことが合理的に見込まれること	特例措置なし【規約通りに適用】
⑧入会直前年度のJFLのリーグ戦における最終順位が4位以内であり、かつ、JFLに属する百年構想クラブのうち、上位2クラブに入っていること	【以下を追記】 ただし、JFLのリーグ戦がJFLの定めるリーグ戦成立要件を満たすことを条件とする

※Jリーグ規約 第17条第3項の①～④および⑧の要件については、新型コロナウイルスの影響を受けない、あるいは既に手当済み

●選手登録届出期限の例外的追加

Jリーグ選手登録の届出期限を下記の通り追加することを決定した。

【Jリーグ選手登録の届出期限追加】

・各登録期間（ウインドー）における最初の火曜日の11:00までの変更届出を可能とする

第2登録期間（ウインドー）：8月4日（火）

第3登録期間（ウインドー）：10月6日（火）

<追加の理由>

今シーズンは水曜日に開催される試合が多く、各登録期間（ウインドー）の最初の火曜日にも選手登録を行うことにより、登録が承認された選手の出場機会をより多く確保し、試合を1試合でも多く実施することで大会を成立させるため。

【参考：2020明治安田生命J1・J2・J3リーグ戦試合実施要項】

第8条（届出義務）

(3)Jリーグは毎週金曜日（ただし、その日がJリーグの営業日でないときは、その直前の営業日）の11:00までに届出のあった追加、抹消などの変更に対して、同日中にその承認の是非を決定する。ただし、金曜日開催の試合の場合、木曜日（ただし、その日がJリーグの営業日でないときは、その直前の営業日）の11:00までに届出のあった追加、抹消などの変更に対して、翌金曜日に協会への選手登録が完了することを条件として、同日中にその承認の是非を決定する。

●Jリーグの寄附金募集開始

下記の通り寄附の募集を開始した。Jリーグの理念実現のため、法人および個人から広く寄附を募るもの。

※詳細はJリーグ公式サイト特設ページ参照

【Jリーグの寄付金募集要項】

種類	一般寄付金
趣旨	Jリーグの理念実現に向けて、広く一般に寄附を募る
使途	・プロサッカーの試合の主催、運営・プロサッカー選手、監督、審判などの育成 ・プロサッカーの試合等を通じた広報普及 ・国際的な交流、事業の実施 ・サッカーをはじめとするスポーツの振興、援助 等
寄附者	法人・個人
金額	2,000円以上 ※所得控除の適用額以上
期間	常時募集
寄附方法	銀行振込 ※振込手数料は寄附者負担
告知	Jリーグ公式サイトに寄付金専用ページを掲載
返礼	希望者に対してJリーグオリジナルデザインの領収書を発行
寄附者への税優遇措置	公益法人への寄附は税制上の優遇措置あり



サッカーファミリー復興支援金

日本サッカー協会（JFA）は、東日本大震災で被災した地域のサッカーファミリーが、これまで通り、サッカーを楽しむことができるよう、サッカー環境の復興を目的に「サッカーファミリー復興支援金」口座を開設しています。集まった復興支援金は、運用細則に基づいて運用されます。

銀行口座 三井UFJ銀行（0005） 渋谷支店（135）
普通預金 口座番号0290451 公益財団法人日本サッカー協会
サッカーファミリー復興支援金口座
※ご利用金融機関が設定する振込手数料はご負担願います。

「暴力等根絶相談窓口」を設置しています

日本サッカー協会（JFA）は、サッカーの活動現場で生じた暴力行為に関する通報を受け付ける窓口として「暴力等根絶相談窓口」を設置しています。

利用方法
【電話】03-5276-6838
【FAX】無し
【フォーム】https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd0Tvriv0-Leh64Nomkz4YOC0AVouVhnmWIVs3EGjIW_ZdrU5w/viewform?usp=sf_link
利用時間：平日12:00～18:00（土日祝、年末年始等除く）



新型コロナウイルス感染症対策 JFAサッカーファミリー支援事業 GOALS beyond COVID-19 ~この危機を、ともに乗り越える~

本支援事業の詳細は、特設ウェブサイト「JFAサッカーファミリー支援窓口」でご確認いただけます。

JFAサッカーファミリー支援窓口ウェブサイト：
<http://www.jfa.jp/ffsupport/>

■お困りごと入力フォーム

新型コロナウイルス感染症に関連するご意見やお困りごとなどは、JFAサッカーファミリー支援窓口ウェブサイト内「お困りごと入力フォーム」よりお寄せください。今後の対策の参考とさせていただきます。

■登録料免除

新型コロナウイルスで経済的な影響を受けた登録者（あるいは登録予定者）に対し、特別措置として、2020年度のJFA選手登録料（分担金）の免除対応を実施します。

- 対象：●サッカー選手個人
●フットサル選手個人（ビーチサッカーを含む）
※2020年度初回登録時のみを対象

■免除額は各登録料のうちJFA選手登録料(分担金)にあたる金額(詳細は下表の通り)

種別	サッカー選手	フットサル選手
第1種	2,000円	1,000円
第2種	1,000円	700円
第3種	700円	500円
第4種		
女子	Lリーグ/一般/大学	18歳以上 2,000円
	高校/クラブ高校	18歳未満 1,000円
	中学/クラブ中学	15歳未満 700円
シニア	1,500円	

申請：各チームで所属選手の免除希望を取りまとめ、登録責任者等のチーム代表者からチーム単位でJFA宛に申請してください。申請フォームはKICKOFFを通じて、チーム宛に別途ご案内します。

※申請手続きの詳細はJFAサッカーファミリー支援窓口ウェブサイトをご参照

【地域・都道府県サッカー協会等の登録料(分担金)について】

今回、JFA選手登録料(分担金)については、支援希望のあった登録者に対して免除の措置を行います。地域・都道府県サッカー協会や各種連盟分の登録料については、各団体の自主判断に委ねておりますので、登録料(分担金)の主旨を理解いただき、各団体の判断に準じて対応してください。

■新型コロナウイルス感染症対策 JFAサッカーファミリー支援金口座開設

使途：①JFAが行う「新型コロナウイルス感染症対策JFAサッカーファミリー支援事業」

※クラブ等への財政支援事業(融資型)の返済額の免除への活用も含む
具体例)選手がサッカーを楽しむ機会を存続させるため、クラブ(チーム)の支援に活用されます。

②その他、JFAが行う新型コロナウイルス関連の9地域/47都道府県サッカー協会、リーグ、連盟等への支援
具体例)中止や延期による影響を受ける各種団体の大会や普及・育成事業、指導者養成事業や審判養成事業などの活動支援に活用されます。

募集期間：2020年5月14日(木)～

支援金口座：みずほ銀行(0001) 渋谷支店(210)
普通預金 口座番号3079244
公益財団法人日本サッカー協会
新型コロナウイルス感染症対策支援金口
※振込手数料をご負担ください。

※クレジットカード決済による寄付も準備しています(準備でき次第公開)。

税制上の優遇措置：

日本サッカー協会への寄付金は、特定公益増進法人に対する寄付金となり、税制上の優遇措置が適用されます。

※詳しくは国税庁のウェブサイトでご確認ください。

※領収証の発行をご希望の方は下記フォームにご記入ください。

<https://forms.gle/GVnxj6q6kj9QfzMT8>

支援者からのメッセージ：

ご支援いただいた方からメッセージを募集します。

<https://forms.gle/6V1PXCRStF5q4M467>

※メッセージはJFA公式ウェブサイト内で公開する場合があります

JFAサッカーファミリー支援窓口ウェブサイトでは、その他にも下記内容を含めて関連情報を随時更新していきます。

- クラブチーム向け支援制度のご紹介(政府関連)
- クラブ支援活用事例
- 登録指導者リフレッシュポイント獲得期間の延長
- 第1次サッカーファミリー財政支援事業(融資型)の融資決定先一覧 など



公益財団法人日本サッカー協会 2020年度第9回理事会

公式URL <https://www.jfa.jp/>

日本サッカー協会（JFA）は2020年7月9日、2020年度第9回理事会をオンラインで開催した。決議、報告された事項は、下記の通り。

決議事項

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|
| 1 臨時評議員会開催…………… P29 | 3 日本サッカー殿堂 内規変更…………… P29 |
| 2 2020ナショナルコーチングスタッフ体制[サッカー男子] | 4 登録ウインドーの変更(第3ウインドーの設定)…………… P29 |

臨時評議員会開催

下記の通り、臨時評議員会を開催する。

- (1)開催日時：2020年8月22日（土）13:00～
 (2)開催場所：ウェブ会議システム

- (3)議 題：決議事項
 ① 評議員16名 選任の件
 ② 理事2名 選任の件

日本サッカー殿堂 内規変更

- (1)日本サッカー殿堂内規の改定
 「日本サッカー殿堂」内規におけるルールの明確化、変更を行うとともに、内規がら運営規則へ変更する。
 詳細はJFA公式ウェブサイトに掲載。

主な変更点	「日本サッカー殿堂」内規	「日本サッカー殿堂」運営規則(案)
掲額者の選考方法	記載なし	投票選考と特別選考があることを明記
投票選考		
年齢の基準日	記載なし (過去掲額者が理事会で承認される6月末で運用)	9月10日
候補者選考の投票回数	記載なし	投票者が複数の該当役職にあっても、投票は1回に限る
各投票者の投票可能数	候補者5名以内の場合は1名以内、6名以上の場合は2名以内を投票可	候補者5名以内の場合は2名以内、6名以上の場合は3名以内を投票可
有効最低投票率	記載なし	投票率が50%未満の場合、投票自体を無効とする
特別選考		
年齢の基準日	記載なし (過去掲額者が理事会で承認される6月末で運用)	9月10日
チームを選出する場合の時期	20年以上を経過した後	削除(記載なし)

登録ウインドーの変更(第3ウインドーの設定)

FIFAより、6月11日付で「新型コロナウイルスの影響による登録ウインドーの変更」に関する追加の指針が出された。それを受けて個別にFIFAと調整した結果、日本については、既に終了した第1ウインドー期間のうち、新型コロナウイルスによって直接的に影響を受けた期間（Jリーグが中断を決定した2月25日から第1ウインドーの最終日3月27日までの計31日間）を再設定する形で例外的に第3の登録ウインドーを設定することが許容された。これに従い、下記の通り、第3登録ウインドーを設定する。

第3ウインドー：2020年10月2日（金）～10月30日（金）

<参考>

2020年シーズンのウインドー

第1ウインドー：2020年1月3日（金）～3月27日（金）

第2ウインドー：2020年7月31日（金）～8月28日（金）

※当初設定の7月17日（金）～8月14日（金）を6月理事会の決議にて変更

FIFA規則に基づき、各国協会は年2回の登録ウインドーを定め、FIFAに報告しなければならない。同規則により、第1登録ウインドーは前シーズン終了後に始まる12週間以内の期間、第2登録ウインドーはシーズン中の4週間以内の期間と定められている。

FIFAおよび本協会の諸規則に基づき、Jリーグ、JFLのクラブへの選手の登録（移籍）は、一部の例外を除き、原則として「登録ウインドー」の期間中においてのみ可能となる。

報告事項

- 1 第12回FIFAカウンシル(6月25日開催) P30
- 2 新型コロナウイルス感染症対策
「第1次サッカーファミリー財政支援事業(融資型)」実施状況 P30
- 3 WEリーグ運営法人設立 P31
- 4 2020ナショナルコーチングスタッフ体制[サッカー女子] P31
- 5 ビーチサッカー日本代表コーチ 選任 P31
- 6 フットサル競技規則 暫定的改正 P32
- 7 FIFA女子ワールドカップ2023招致 P32
- 8 皇后杯 JFA 第42回全日本女子サッカー選手権大会
スケジュール変更および会場 P33
- 9 JFAロングバイル人工芝ピッチ公認(更新) P33
- 10 指導者ライセンス認定 P34
- 11 JFA・Jリーグ特別指定選手制度 前号P25~26
- 12 2020年度 功労賞 P34
- 13 裁定委員会に関する懲罰 P34

第12回FIFAカウンシル(6月25日開催)

6月25日にFIFAカウンシルがオンライン上で行われた。主な決定・報告事項は下記の通り。

- FIFA女子ワールドカップ2023™について
オーストラリア・ニュージーランドで共催することを決定
- FIFA COVID-19 Relief Plan (救済基金)について
合計三つのステージで総額15億USドルを提供することを決定した。
ステージ1: 各MAへのFIFAフォワードプログラムの運用コストの即時リリース
ステージ2: FIFAフォワードプログラムのディベロップメントコストの割当をCOVID-19救済基金として活用可能とする(資金の50%を女子サッカーに割り当てるものとする)
ステージ3: 下記助成金と救済ローンを提供
- 助成金
各MAにつき100万USドル、更に女子サッカーの割当に各MAにつき50万USドルを提供
各大陸連盟につき200万USドルを提供
- 救済ローン(無利息)
各MAにつき収入の35%まで(50万USドル~500万USドルまで)
各大陸連盟につき400万USドルまで
(助成金および救済ローンは、クラブ、選手、リーグ等、幅広いサッカーのニーズに割り当てることが可能)
<ガバナンス構造について>
・資金運用、監査、返済については厳格に管理
・FIFAの運営委員会として設立される、FIFA COVID-19 Relief Plan steering committeeがプロセスの監督を担当
・次のステップとして、救済基金の規則をFIFAカウンシルに諮る予定

- 2021年度予算および2019-2022サイクルの予算の見直しを承認
- インターナショナルマッチデー(IMD)の変更について
・FIFA ワールドカップ2022™大陸プレーオフを2022年3月から2022年6月に変更
・AFC、CAF、CONCACAF、OFCの2020年9月のウィンドーを延期
・CONMEBOLおよびUEFAは2020年9月のウィンドー変更なし
・UEFAは2020年10月と11月のウィンドーに1日追加し、2試合から3試合に変更
・AFC、CAF、CONCACAF、OFCは2021年6月のウィンドーに7日追加し、2試合から4試合に変更
- インターナショナルマッチデー(IMD)の2021年開催について
アフリカとアジアのアラブ国が出場する大会をIMD期間外で開催(2021年12月1日~18日)を決定。
- 東京オリンピックサッカー競技会における大会規則の改正について
日程: 2021年7月21日~8月7日
VAR(ビデオアシスタントレフェリー)を導入。出場資格は変更なし(1997年1月1日以降、オーバーエイジは3名まで)
- 規則フレームワークについて
フットボールステークホルダー委員会により、代表チームでプレーする資格に関する規則、FIFA規約適用規則の改定案が提示された。FIFA総会に諮ることを決定。
- FIFAアンチ・ドーピング規則のアップデートについて
2021年1月から施行となるWADAアンチ・ドーピング規則に則ることを決定。

今回のFIFAカウンシルは2020年9月、第70回FIFA総会は2020年9月18日、いずれもオンライン上で行われる。

新型コロナウイルス感染症対策「第1次サッカーファミリー財政支援事業(融資型)」実施状況

5月の理事会で承認された「第1次サッカーファミリー財政支援事業(融資型)」の実施状況について、下記の通り報告する。

申請数 286件 / 638,515,097円 (6月末最終)
採択数 261件 / 496,670,000円 (7月7日最終)

●申請・審査状況

区分	件数	金額	備考
申請総数	286 (件)	638,515,097 (円)	6月末最終
採択 (採択内訳)	261 (件)	496,670,000 (円)	7/7 (火)最終
第1回審査特別委員会	71 (件)	127,880,000 (円)	5/15 (金)開催
第2回審査特別委員会	46 (件)	83,900,000 (円)	5/21 (木)開催
第3回審査特別委員会	29 (件)	53,980,000 (円)	5/27 (水)開催
第4回審査特別委員会	29 (件)	61,150,000 (円)	6/4 (木)開催
第5回審査特別委員会	24 (件)	43,750,000 (円)	6/11 (木)開催

区分	件数	金額	備考
第6回審査特別委員会	21 (件)	43,140,000 (円)	6/18 (木)開催
第7回審査特別委員会	14 (件)	28,900,000 (円)	6/25 (木)開催
第8回審査特別委員会	20 (件)	36,880,000 (円)	7/2 (木)開催
第9回審査特別委員会	7 (件)	17,090,000 (円)	7/7 (火)開催
不採択	18 (件)	19,920,280 (円)	
申請辞退	7 (件)	13,003,000 (円)	

●都道府県別申請数

北海道	12	長野県	4	鳥取県	0	鹿児島県	0
青森県	1	新潟県	1	島根県	1	沖縄県	7
岩手県	0	富山県	8	岡山県	1		
宮城県	1	石川県	2	広島県	3		
秋田県	0	福井県	1	山口県	0		
山形県	0	静岡県	10	香川県	3		
福島県	3	愛知県	11	徳島県	0		
茨城県	10	三重県	4	愛媛県	0		
栃木県	6	岐阜県	0	高知県	0		

左ページ左上へ続く

群馬県	2	滋賀県	2	福岡県	7		
埼玉県	29	京都府	6	佐賀県	0		
千葉県	25	大阪府	29	長崎県	0		
東京都	45	兵庫県	15	熊本県	6		
神奈川県	18	奈良県	4	大分県	3	都道府県数	34
山梨県	2	和歌山県	0	宮崎県	4	申請総数	286

●登録種別別申請数

第1種(社会人)	51	第1種(大学)	1	第1種(高専)	0
第2種(高体連)	1	第2種(クラブ)	13		
第3種(中体連)	1	第3種(クラブ)	159		
第4種	187				
シニア	6				
女子	26				
フットサル	18	ビーチサッカー	3		
未登録(スクールのみ)	16				

※複数種別に登録するクラブがあるため合計値は申請総数と異なる。

WEリーグ運営法人設立

2021年秋に開幕するWomen Empowerment League (WEリーグ)について、下記の通りリーグを運営する新法人の設立およびリーグの代表理事(チェア)を決定した。

1. 新法人概要

法人形態 一般社団法人 ※2021年からの公益認定を目指す
 法人名称 一般社団法人日本女子プロサッカーリーグ
 (英語表記) Japan Women's Empowerment Professional Football League
 略称 WEリーグ
 (英語表記) WE League
 設立日 2020年7月1日
 事業年度 7月1日～6月30日
 所在地 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス
 役員(設立時) 理事(社員兼務): 岩上和道(代表理事)、佐々木則夫、今井純子、手塚貴子
 監事: 須永功(永和総合事務所)

2. 代表理事(チェア)

名前: 岡島 喜久子(おかじま きくこ)
 ※7月3日に開催された新法人の社員総会・理事会にて、岡島氏の理事選任および代表理事選定を決議した。

<プロフィール>

岡島喜久子
 生年月日: 1958年5月5日
 出身地: 東京都(1991年から現在までアメリカ・メリーランド州に在住)
 最終学歴: 1983年早稲田大学商学部 卒業
 ※大学2年時、ウェスリアン大学(アメリカ)に1年留学
 スポーツ医学、コーチング学を専攻

職歴: 1983年 ケミカルバンク(現JPモルガン・チェース銀行)東京支店
 1988年 国際証券(三菱UFJモルガン・スタンレー証券)
 1990年 子会社のコクサイシンガポールマーチャントバンク(シンガポール)
 1991年 First National Bank of Maryland(アメリカ)
 1999年 Riggs Bank(アメリカ)
 2004～2019年 メリルリンチ(アメリカ)
 前 The Women's Board of Johns Hopkins Hospital- Board Member
 前 Calvert School - Board Member
 前 メリーランド神奈川姉妹州委員会 委員長
 前 神奈川県国際政策アドバイザー
 サッカー歴: 1972年 中学2年時に中学校の男子サッカー部に入部。その後FCジナンンに入会
 1974年 高校1年時、東京都サッカー協会主催のリーダーズスクール(現公認D級コーチ養成講習会)を女性として初めて受講
 1978年 海外で開催された国際大会「第2回AFC女子選手権」にFCジナンンが単独チームで参加
 1979年 日本女子サッカー連盟設立時に初代理事メンバーに就任
 1983年 日本女子代表チームのメンバー(選手)として広州女子国際大会に登録
 1984年 日本女子サッカー連盟の事務局長に就任
 日本女子代表チームのメンバー(主務)として西安招待国際女子大会に登録
 1989年 海外転勤を機に引退
 1996年 アトランタオリンピックでサッカー日本女子代表チームのスカウティング業務をサポート

2020ナショナルコーチングスタッフ体制 [サッカー女子]

2020ナショナルコーチングスタッフ体制 [サッカー女子] を下記の通りとする。

<2020 女子ナショナルコーチングスタッフ体制>

★: 新任

代表強化					
各代表チームスタッフ					
チーム	役職	監督	コーチ	GKコーチ	フィジカルコーチ
なでしこジャパン		高倉 麻子	大部 由美 ★今泉 守正	大橋 昭好	広瀬 統一
U-20日本女子代表		池田 太	富本 ともみ	西入 俊浩	
U-17日本女子代表		狩野 倫久	那須 麻衣子	小林 忍	

ビーチサッカー日本代表コーチ 選任

FIFAビーチサッカーワールドカップ2021を目指すビーチサッカー日本代表コーチを下記の通り選任する。

コーチ: 田畑 輝樹(たばた てるき)

監督の茂伶羅氏(6月理事会にて決議)は選手としての活動も継続する予定のため、監督兼選手の形となる。兼務登録が認められない公式大会においては登録上は茂伶羅氏を「選手」とし、田畑氏を代行の「監督」として登録する予定。

次ページ左上へ続く

<プロフィール>

田畑 輝樹

生年月日：1979年4月16日

出身地：鹿児島県

最終学歴：1997年 鹿児島実業高等学校卒業

サッカー・ビーチサッカー歴：

(サッカー) 鹿児島実業高等学校
アルビレックス新潟
沖縄かりゆしFC
FC琉球
静岡FC

(ビーチサッカー) レキオスFC

東京レキオスBS

CRヴァスコ・ダ・ガマ(ブラジル)

ヴィアティン三重BS

指導歴：2011年 東京レキオスBS(監督兼選手)

2017年～ ヴィアティン三重BS(監督兼選手)

資格：2017年 日本サッカー協会公認C級ライセンス

2017年 日本サッカー協会公認フットサルC級ライセンス

2020年 AFCビーチサッカーコーチングコースLevel1

フットサル競技規則 暫定的改正

フットサル競技規則について、国際サッカー連盟(FIFA)より新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした暫定的改正に関する文書が6月16日に届いた。

下記の通り、日本サッカー協会として通達を発信する。

国際サッカー連盟(以下、FIFA)のコロナ審判委員会委員長から、2020年6月16日付文書をもって、フットサル競技規則「第3条—競技者」の暫定的改正について通達があった。通達自体の日本語訳は下記の通りだが、フットサル競技会で用いられているピブス使用による新型コロナウイルス感染拡大のリスクを回避し、競技者、審判員、チーム役員等が安全に安心してフットサルを競技できることを意図したものとなっている。

この暫定的改正は、既に開始されている開始されていないにかかわらず、2020年12月31日までに終了予定の競技会において、2020年6月16日をもって効力を発している。

本通達について、各協会、連盟等において、加盟クラブ、チーム、審判員等関係者に周知徹底を図られるようお願いしたい。

フットサル競技規則「第3条—競技者」の暫定的改正について

COVID-19のパンデミックが世界やスポーツに与えた大きなインパクトに関して、FIFAはフットサル競技規則「第3条—競技者」に規定される交代の進め方に関する暫定的改正を導入することにした。

現在、フットサル競技規則2020/21の文章は、交代の進め方について次のように規定している。

「交代は、交代要員が交代して退く競技者にピブスを手渡しした後に、完全に自分のチームの交代ゾーンからピッチに入ることにより完了する。ただし、この競技者がフットサル競技規則に基づき、交代ゾーン以外の場所からピッチを出な

ければならなかった場合を除く。この場合、交代してピッチに入る交代要員は、第3審判にピブスを手渡す。」

現在の状況において、交代で退く競技者や第3審判にピブスを手渡し行為は、感染拡大のリスクとなりがねないことから、上記の文章を暫定的に改正し、次のようにシンプルなものとした。

「交代は、交代要員が完全に自分のチームの交代ゾーンからピッチに入ることにより完了する。」

この暫定的改正は、既に開始されている開始されていないにかかわらず、2020年12月31日までに終了予定の競技会において、即座に有効となる。なお、FIFAは(例えば、2021年に完了することになる競技会について)、この改正を延長して適用する必要があるかどうか、今後決定することとしている。

この情報について、貴協会におけるフットサル競技会の主催者に共有していただきたく願います。

<JFAの解説>

この暫定改正は、新型コロナウイルス感染拡大リスク回避のためにピブスの交換なく交代を進めるといったもの(第3条—競技者)。これにより、交代要員のピブス着用義務を免除したのではなく(第4条—競技者の用具)、依然交代要員は、競技者との区別のため、テクニカルエリアまたはウォーミングアップエリアにいるときには、ピブス着用が義務付けられている。

なお、この通達的主旨に鑑み、感染拡大リスク回避のため、手渡しのみならず、競技者・交代要員間のピブス共有は避けられるべきものである。

FIFA女子ワールドカップ2023招致

下記の通り報告する。

- (1) 6月19日に招致委員会を開催し、本件の協議および決定を行った。
- (2) 6月22日に臨時理事会を開催し、招致委員会の決定を承認する決議を行い、FIFAへJFAの招致撤退を通知した。
- (3) 2019年5月度理事会にて承認され設立した招致委員会を、本報告をもって解散する。

本件決定の経緯等、詳細については田嶋幸三JFA会長／FIFA女子ワールドカップ2023日本招致委員会委員長の文書として6月22日に下記の通り発表した(本誌前号の巻頭言にも記載)。

[FIFA女子ワールドカップ2023 日本招致活動から撤退]

公益財団法人 日本サッカー協会(JFA)は6月22日(月)、臨時理事会を

開催し、開催国として立候補している2023年のFIFA女子ワールドカップの招致から撤退することを決定しました。

まずは、これまでの招致活動に多大なるご支援をいただいた政府、自治体、サッカーファミリー、ファン・サポーターの皆さまに心から感謝申し上げます。

6月25日(木)のFIFAカウンスルでの同大会開催地決定に向け、JFAではさまざまな招致活動を行ってきました。2011年のFIFA女子ワールドカップドイツ優勝をはじめ、なでしこジャパン(日本女子代表)は、世界の公式国際大会で3大会連続の決勝進出を果たしています。それだけに今回、招致活動を行う中で、日本が女子サッカーの強豪国として世界から認められ、リーダーとして期待されていることをひしひしと感じました。また、この20年間で、2002年のFIFAワールドカップやFIFAクラブワールドカップをはじめ、数多くのFIFA大会を運営してきたことから、日本の運営能力などを評価する声を多く聞くことができました。開催提案書に含まれた内容

左ページ上へ続く

に加え、日本各地に建設された最新のサッカー専用スタジアムもまた、日本が招致活動を行っていく上で大きな推進力になったと考えています。

一方で、世界のサッカーファミリーがどのような視点で開催地決定の要素を考えるのか、その時々で変わっていく状況を冷静に見極めていく必要があります。

世界的な女子サッカーの普及や発展ということは当然ですが、より多くの国で大規模大会の開催が可能となる共同開催が近年の世界のトレンドになりつつあります。また、6月8日にブラジルが立候補を取り下げたことが、南米サッカー連盟の票の一本化につながったのは自明の理であり、既にASEANサッカー連盟がオーストラリア/ニュージーランドへの支持を表明するなど、他の大陸連盟にも大きな影響を与えていることになっています。

こういった状況もあり、数多くのFIFA大会を開催してきた日本で女子ワールドカップを開催することは、世界的な普及や発展という観点から賛同を得にくいのではないかと根強い意見がありました。男子とは異なり、年齢制限のないチームで女子の世界一を決める大会は、FIFA女子ワールドカップとオリンピックの2つがあります。新型コロナウイルスの影響によってその女子サッカー最高峰を決める2つの大会が、短期間に同じ国で開催されることに対する抵抗感が強まったことも感じました。

6月10日に国際サッカー連盟(FIFA)より公表された評価報告書(Evaluation Report)では、日本の提案やサッカーを取り巻く環境を高く評価していただいていると考えています。一方で、オーストラリア/ニュージーランドが日本を上回る評価を得たことも冷静に判断する必要があります。

投票で同票だった場合には評価報告書のポイントで決定されるなど、客観的な評価も大きな要素になります。コロンビアやオーストラリア/ニュージーランドは、女子も含めた年齢制限のないFIFA大会の開催を経験していません。もし、南米や南半球初のFIFA女子ワールドカップとなれば、普及という観点でも非常に大きなアドバンテージとなります。

このようなことを総合して考え、投票直前というタイミングであらゆることを分析すると、今回の招致レースにおける日本の状況は決して楽観視できるものではなく、さらに厳しい状況になっていると言わざるを得ませ

ん。今回予想される結果を冷静に見極めながら、今後、長期的な視点で日本のプレゼンスをいかに高めていくか、世界の女子サッカーをリードし、日本としてどのように世界に貢献をしていくのかを含め、戦略的に考え、実行していかなければなりません。

JFAは長年にわたり、指導者派遣なども含めてアジア全域での女子サッカーの普及に取り組むとともに、アジアの女子サッカーを世界レベルに押し上げようという力を注いできました。今回、日本が招致から撤退することによってアジアの連帯を強固にし、アジア/オセアニア地域への招致の確率を高めることもアジアサッカーへの貢献であると考えます。最終的にオーストラリア/ニュージーランドが開催地に決まった場合、時差や環境面においても日本にとってなんら負担や支障になることはなく、同大会で優勝を目指すまでにごジャパンへの大きなサポートにもつながるはずです。

2013年12月のJFA理事会において、2023年のFIFA女子ワールドカップの開催国として立候補することを決議して以来、東京オリンピックや女子プロリーグ設立とともに、この大会を起爆剤に女子の普及と発展を推し進めるべく取り組んできました。招致活動からの撤退は、JFAの招致委員会や理事会などで慎重に熟慮を重ねた上での決断です。

JFAの理念にある通り、私たちは、サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献していく責務があります。

現在、世界中で猛威を振っている新型コロナウイルスによって日本のサッカー界も大きな影響を受けています。これからも困窮しているサッカークラブなどへの財政的な支援などを継続し、サッカーファミリーが安全に楽しくサッカーができる日常を取り戻していく必要があります。こうした活動やサッカー基盤の整備、SAMURAI BLUE(日本代表)へのサポートとともに、女子サッカー発展のためにWEリーグ支援や普及活動にもより一層力を注ぎ、東京オリンピックでのメダル獲得、FIFA女子ワールドカップ2023優勝に向けてなでしこジャパンを全力でサポートしていく所存です。

サッカーファミリーやファン・サポーターの皆さまにはこの決定をご理解いただき、今後とも変わらぬご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

公益財団法人 日本サッカー協会会長
FIFA女子ワールドカップ2023日本招致委員会委員長 田嶋幸三

皇后杯 JFA 第42回全日本女子サッカー選手権大会 スケジュール変更および会場

新型コロナウイルスの感染拡大に伴うなでしこリーグのスケジュール変更を受けて、皇后杯 JFA 第42回全日本女子サッカー選手権大会の大会スケジュール変更と準決勝および決勝の会場を下記の通りとする。

(1)大会スケジュール

<変更前>

- 1回戦 10月24日(土)、25日(日)
※地域代表28チーム、なでしこリーグ2部4チーム出場
- 2回戦 10月31日(土)、11月1日(日)
※なでしこリーグ1部10チーム、2部6チーム出場
- 3回戦 11月21日(土)
準々決勝 12月6日(日)
準決勝 12月20日(日)開催地未定
決勝 12月27日(日)開催地未定
※準々決勝までは主管募集

<変更後>

- 1回戦 11月28日(土)、29日(日)
※地域代表28チーム、なでしこリーグ2部4チーム出場

- 2回戦 12月5日(土)、6日(日)※なでしこリーグ1部10チーム、2部6チーム出場
- 3回戦 12月12日(土)、13日(日)
準々決勝 12月19日(土)、20日(日)
準決勝 12月24日(木)サンガスタジアム by KYOCERA
決勝 12月29日(火)サンガスタジアム by KYOCERA
※準々決勝までの会場は後日決定する

(2)大会方式

- 競技会方式は下記の通り、変更はないものとする
- ・48チーム参加 (内訳:地域代表28チーム、なでしこリーグ1部、2部20チーム)
 - ・6回戦方式、ノックアウト方式(全47試合)

※参考

- なでしこリーグ開催日程(変更後)
- 1部 7月18日~11月21日
2部 7月18日~11月22日
チャレンジリーグ 8月22日~11月22日

JFAロングハイル人工芝ピッチ公認(更新)

申請者(施設所有者): 堺市
施設名: J-GREEN堺 S10 (大阪府堺市堺区築港八幡町145番地)

使用製品: 住友ゴム工業株式会社 ハイブリッドターフ XPM-55T
公認期間: 2020年7月9日~2023年7月8日

次ページ左上へ続く

公認番号：第094号

申請者（施設所有者）：宇和島市

施設名：丸山公園多目的グラウンド（愛媛県宇和島市和霊町555番地1）

使用製品：株式会社アストロ アストロピッチSL α-N-60EP

公認期間：2020年6月16日～2023年6月15日

公認番号：第193号

申請者（施設所有者）：出雲市

施設名：出雲健康公園多目的運動場（島根県出雲市矢野町999番地）

使用製品：コウフ・フィールド株式会社 Desso iDNA X 60-16

公認期間：2020年6月12日～2023年6月11日

公認番号：第196号

<特記事項>

- ・使用製品は、JFAロングパイル人工芝公認規程に基づく製品検査（ラボテスト）を完了している。
- ・当該施設は、JFAロングパイル人工芝公認規程に基づく現地検査（フィールドテスト）を実施し、基準を満たしている。

指導者ライセンス認定

指導者に関する規則第4条「ライセンスの認定」に基づき、2019年度S級コーチ養成講習会を修了し、本協会技術委員会が適格と認めた下記1名について、S級コーチライセンスを認定した。

名前：佐藤 尽（さとう じん）

指導チーム：京都サンガF.C.

生年月日：1974年9月27日

資格：2014年 A級コーチジェネラルライセンス取得
 指導歴：2008～2014年 コンサドーレ旭川U-15 監督
 2015年 コンサドーレ札幌U-15 監督
 2016～2018年 京都サンガF.C. トップチームコーチ

※2019年度 S級コーチ認定者数：6名/15名中（上記1名含む）

※現S級コーチライセンス保持者数：502名（上記1名含む） 2020年6月22日現在

2020年度 功労賞

地域サッカー協会および都道府県サッカー協会から申請があった下記の方に功労賞を授与する。

なお、受賞者には、表彰楯を贈呈する。

【対象者】

- (1) 地域FAおよび都道府県FAの三役（会長、副会長、専務理事および理事長）を退任された方
- (2) 地域FA役員を退任された方（役員歴20年以上）：各地域FAで年度毎2名以内

No.	FA	名前	前(元)役職	No.	FA	名前	前(元)役職	No.	FA	名前	前(元)役職
1	北海道	鈴木重男	会長	13	静岡県	岡野光喜	会長	25	佐賀県	浪瀬隆一	会長
2	北海道	高島利実	副会長	14	大阪府	赤須陽太郎	会長	26	佐賀県	木村正博	副会長
3	北海道	吉田雅昭	副会長	15	大阪府	高橋正	副会長	27	佐賀県	佐久間博	副会長
4	北海道	溝口昇	専務理事	16	大阪府	田中賢二	副会長	28	佐賀県	大宅輝行	副会長
5	四国	福川元多賀	副会長	17	兵庫県	中桐俊男	会長	29	長崎県	小川勇二	副会長
6	山形県	山本益生	会長	18	島根県	長野昭三	副会長	30	大分県	池田進一	専務理事
7	福島県	小池征	会長	19	広島県	片山晴之	副会長	31	宮崎県	橋田和実	会長
8	福島県	三浦誠次	副会長	20	広島県	藤口光紀	副会長	32	宮崎県	新玉信夫	副会長
9	福島県	倉田泰明	専務理事	21	広島県	猫島栄治	副会長	33	宮崎県	櫻田公一	副会長
10	群馬県	鈴木芳文	副会長	22	高知県	橋田起治	副会長	34	宮崎県	戸田光義	専務理事
11	山梨県	壇原喜久男	副会長	23	高知県	野地照樹	副会長	35	鹿児島県	昇達男	副会長
12	山梨県	内田直人	副会長	24	高知県	門田伸廣	副会長	36	鹿児島県	中村良三	副会長

裁定委員会に関する懲罰

【事案1】

1. 当事者

第2種チームの監督

2. 懲罰の種類

1年間のサッカー関連活動停止

3. 懲罰の起算日

2020年3月11日

4. 懲罰の理由

指導者に関する規則 第20条(7)「暴力・暴言を用いての指導を行わないこと」及び懲罰規程第34条第1項(1)「本協会の各種規程・規則に違反したとき」に該当

5. 事案の概要

自チーム所属選手に対する繰り返しの暴言及び暴力行為

【事案2】

1. 当事者

第4種チームの監督

2. 懲罰の種類

6カ月間のサッカー関連活動停止

3. 懲罰の起算日

2020年3月11日

4. 懲罰の理由

指導者に関する規則 第20条(7)「暴力・暴言を用いての指導を行わないこと」及び懲罰規程第34条第1項(1)「本協会の各種規程・規則に違反したとき」に該当

5. 事案の概要

自チームの所属選手に対する暴力行為

【事案3】

1. 当事者

第4種チームの監督

2. 懲罰の種類

3カ月間のサッカー関連活動停止

3. 懲罰の起算日

2020年7月24日

4. 懲罰の理由

本協会指懲罰規程第34条(2)「本協会の指示命令に従わなかったとき」に該当

5. 事案の概要

サッカー関連活動停止期間中のチーム活動への関与

- ① U-19日本代表候補 トレーニングキャンプ(高円宮記念JFA夢フィールド) ③ フットサル日本代表候補 トレーニングキャンプ(茨城)
 ② U-16日本代表候補 トレーニングキャンプ(高円宮記念JFA夢フィールド) ※NCS: ナショナルコーチングスタッフ、NTC: ナショナルトレセンコーチ、VAR: ビデオアシスタントレフェリー、AVAR: アンスタントビデオアシスタントレフェリー

U-19日本代表候補 トレーニングキャンプ(高円宮記念JFA夢フィールド)

<スタッフ>

○団長: 内山篤(JFA技術委員) ○監督: 影山雅永(NCS) ○コーチ: 富樫剛一(NCS) ○GKコーチ: 高桑大二郎(NCS) ○コンディショニングコーチ: 中馬健太郎(NCS/ジュビロ磐田)

<選手>

Pos	名前	所属	Pos	名前	所属
GK	山田大樹	鹿島アントラーズ	MF	柴田壮介	湘南ベルマーレ
	鈴木彩艶	浦和レッズユース		松岡大起	サガン鳥栖
	野澤大志	FC東京		小田裕太郎	ヴィッセル神戸
DF	山崎大地	順天堂大学		松本風生	セレッソ大阪
	田平起也	セレッソ大阪		武田英寿	浦和レッズ
	西尾隆矢	セレッソ大阪		鮎川峻	サンフレッチェ広島
	三原秀真	愛媛FC		鈴木唯人	清水エスバルス
	加藤聖	V・ファーレン長崎		荒木達太郎	鹿島アントラーズ
	ハンター・ナガンデ佳史扶	FC東京		成岡輝瑠	清水エスバルスユース
	半田陸	モンテディオ山形		田中聡	湘南ベルマーレU-18
	畑大雅	湘南ベルマーレ	FW	大森真吾	順天堂大学
	鈴木海音	ジュビロ磐田U-18		晴山輝	FC町田ゼルビア
	佐古真礼	東京ヴェルディユース		宮藤光毅	横浜FC
	中野伸哉	サガン鳥栖U-18		染野唯月	鹿島アントラーズ
MF	本田風智	サガン鳥栖		唐山翔自※1	ガンバ大阪

※1: チーム事情により不参加

<スケジュール>

7月11日 集合、トレーニングキャンプ(高円宮記念JFA夢フィールド)
 12日~14日 トレーニングキャンプ(高円宮記念JFA夢フィールド)
 15日 トレーニングキャンプ(高円宮記念JFA夢フィールド)、解散

U-16日本代表候補 トレーニングキャンプ(高円宮記念JFA夢フィールド)

<スタッフ>

○団長: 池内豊(JFA技術委員) ○監督: 森山佳郎(NCS) ○コーチ: 廣山望(NCS/JFAアカデミー福島) ○アシスタントコーチ: 濱崎芳己(NTC) ○GKコーチ: 高橋純夫(NCS) ○アシスタントGKコーチ: 前田信弘(NTC) ○コンディショニングコーチ: 小粥智浩(NCS)

<選手>

Pos	名前	所属	Pos	名前	所属	Pos	名前	所属
GK	宮本流維	名古屋グランパスU-18	DF	石川晴大	清水エスバルスユース	MF	後藤啓介	ジュビロ磐田U-18
	松原快展	カマタマーレ讃岐U-18		手塚樹	ヴァンフォーレ甲府U-18	FW	南野遼海	ガンバ大阪ユース
	佐賀鉄生	JFAアカデミー福島U18	MF	梶浦勇輝	FC東京U-18		逢坂スィナ	柏レイソルU-18
	ヘンマムン・アミン	北海道コンサドーレ札幌U-18		植原慶輝	サガン鳥栖U-18		内藤大和	ヴァンフォーレ甲府U-18
	齋藤朝陽	FC東京U-15深川		坂井駿也	サガン鳥栖U-18		伊藤猛志	ジュビロ磐田U-18
DF	杉田雄	横浜FCユース		福井太智	サガン鳥栖U-18		前澤拓城	大宮アルディージャU18
	溝口修平	鹿島アントラーズユース		北野颯太	セレッソ大阪U-18		千葉大貴	セレッソ大阪U-15
	田代結	ヴィッセル神戸U-18		高橋耀	ベガルタ仙台ユース			
	東廉大※1	FC東京U-18		大迫颯	神村学園高校			
	池谷銀彦	横浜FCユース		高橋隆大	静岡学園高校			
	植田悠太	京都サンガF.C.U-18		小幡季生	ガンバ大阪ユース			
	竹内諒太郎	サガン鳥栖U-18		阿部来誠	大宮アルディージャU18			
	齋藤晴	JFAアカデミー福島U18		森原陸人	ガンバ大阪ユース			
	仲里勇真	東山高校		橋本陸斗	東京ヴェルディジュニアユース			
	土肥幹太※1	FC東京U-18		田中侍賢	清水エスバルスジュニアユース			

※1: ケガのため離脱

<スケジュール>

7月22日 集合、トレーニング(高円宮記念JFA夢フィールド)
 23日~25日 トレーニング(高円宮記念JFA夢フィールド)
 26日 トレーニング(高円宮記念JFA夢フィールド)、解散

フットサル日本代表候補 トレーニングキャンプ(茨城)

<スタッフ>

○監督: ブルーノ・ガルシア(NCS) ○コーチ: 木暮賢一郎(NCS)、鈴木隆二(NCS) ○GKコーチ: 内山慶太郎(NCS) ○フィジカルコーチ: 下地達朗(NCS)

<選手>

Pos	名前	所属	Pos	名前	所属
GK	篠田龍馬	名古屋オーシャンズ	FP	田村友貴※3	シュライカー大阪
	榎山昇吾	シュライカー大阪		室田祐希	ベスカドーラ町田
	関口優志	名古屋オーシャンズ		加藤未渚実※1	シュライカー大阪
FP	星翔太	名古屋オーシャンズ		八木聖人	名古屋オーシャンズ
	西谷良介	名古屋オーシャンズ		平田拓アトニオマサリ	名古屋オーシャンズ
	皆本晃	立川・府中アスレティックFC		清水和也	コルドバ・パトリモニオ(ESP)
	安藤良平	名古屋オーシャンズ		伊藤圭汰	ベスカドーラ町田
	吉川智貴	名古屋オーシャンズ		石田健太郎	バルドラール浦安
	田口元気	フウガドールすみだ		中田秀人	フウガドールすみだ
	森村季志	フウガドールすみだ		内田隼太※2	立川・府中アスレティックFC

<スケジュール>

7月19日 集合、PCR検査実施
 20日~24日 トレーニング(カシマスポーツセンター)
 25日 トレーニング(カシマスポーツセンター)、解散

ESP: スペイン

※1: ケガのため不参加

※2: 追加招集

※3: ケガのため離脱



JFA 関連発行物のご案内

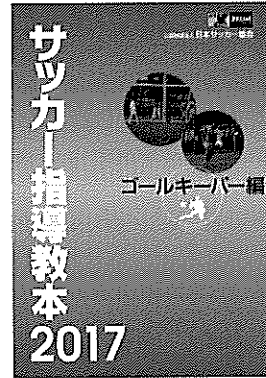
JFA公認指導者資格保有者限定

▼購入希望者は、申込書の①をご記入ください



JFAサッカー指導教本
2020
▶ ¥7,700

JFAサッカー指導教本
2020
D級コーチ
▶ ¥5,170



サッカー指導教本・
DVD2017
ゴールキーパー編
▶ ¥7,700

▼ KICKOFF サイトよりご購入ください (※ KICKOFF サイトのみでのご購入となります。下記 URL からご購入ください)



2018FIFAワールドカップロシア
JFAテクニカルレポート
▶ ¥2,970

【内容】

- ・動画
 - ・補助資料 (PDFデータ)
 - ・補助資料 (電子ブック)
- ※PDFデータと電子ブックは同一の内容です。
※映像と電子ブックは同時には開けません。

【購入方法】

- ① KICKOFFサイトにログイン
(URL: <https://jfaid.jfa.jp/uniid-server/login>)
- ② 講習会・研修会検索画面より下記の内容で検索
講習会・研修会区分: 「その他研修会」
主催協会: 日本サッカー協会
eラーニングに「✓」を入れてください
※講習会番号「000R10001891」でも検索ができます。

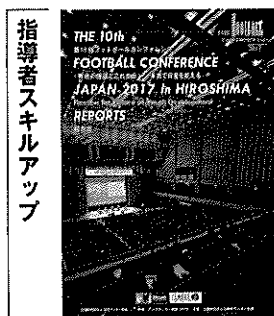
- ・本コンテンツはリフレッシュポイント付与対象ではありません。
- ・視聴可能期間は2022年10月31日までです。

どなたでも購入できます



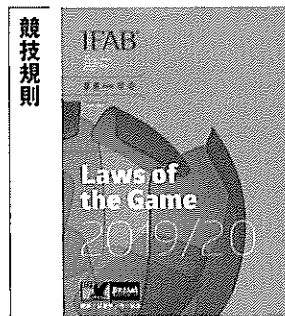
JFA指導指針
(U-10~18) 2017
▶ ¥2,200

JFA指導指針を改訂しました。今回の改訂では、U-10年代、またU-16年代の先、完成期に近づくU-18年代までカバーしました。そして、全体像、その中の各年代を意識していただくために、分冊とせず1冊にしました。



指導者スキルアップ
第10回フットボール
カンファレンス報告書
▶ ¥2,640

2017年1月7日~9日に広島県・広島国際会議場で開催した第10回フットボールカンファレンスの報告書です。



サッカー競技規則
2019/20

▶ 日本語 ¥1,100
▶ 英語 ¥1,320

国際サッカー評議会 (IFAB) が制定したサッカー競技規則です。

※審判員・審判インストラクター資格をお持ちの方は、KICKOFFよりお求めください。



年間購読
▶ ¥5,000 (送料込)

JFAが発行するオフィシャルマガジンです。1冊600円、年間購読は送料込で5,000円 (12冊) です。

※毎月1日~14日にWeb申込またはご入金確認が取れたご注文は同月の発行号から、毎月15日~末日にWeb申込またはご入金確認が取れたご注文は翌月の発行号から購読開始となります。

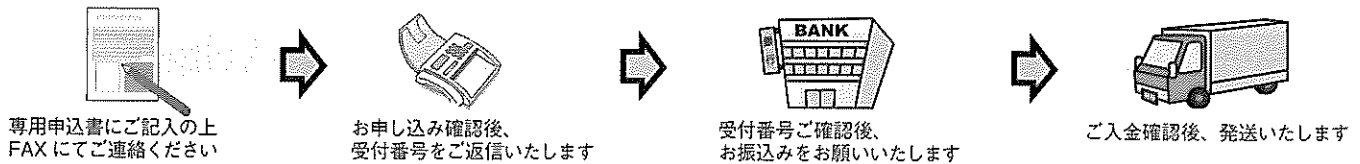
インターネットからも購入できます (クレジットカード決済のみ)

日本サッカー協会 Official Online Shop ▶ <https://webshop.jfa.jp/fs/jfagoods/c/top>

※上記サイトでは、JFAが発行するさまざまな刊行物が購入できます。以前とURL、申込方法が変更となっておりますのでご注意ください。
※JFA公認指導者資格保有者・JFA加盟登録チーム限定のものは購入できません。

申し込み方法

FAX送付先：03-6302-0538



JFA公認指導者資格保有者限定	<input type="checkbox"/> JFAサッカー指導教本2020	¥7,700	◎はJFA公認指導者資格保有者限定の販売となります。購入ご希望の際は下記①欄にご記入ください お一人様1セットのみの販売となります。	
	<input type="checkbox"/> JFAサッカー指導教本2020 D級コーチ	¥5,170		
	<input checked="" type="checkbox"/> サッカー指導教本・DVD2017 ゴールキーパー編	¥7,700		
JFA公認指導者資格保有者・JFA加盟登録チーム限定	<input type="checkbox"/> 2014 FIFAワールドカップブラジル JFAテクニカルレポート/DVD	¥4,400		
	<input type="checkbox"/> FIFA女子ワールドカップドイツ2011 JFAテクニカルレポート/DVD	¥1,670		
	<input type="checkbox"/> 2010 FIFAワールドカップ南アフリカ JFAテクニカルレポート/DVD	¥4,700		
①	保有資格	<input type="text"/> 級コーチ / <input type="checkbox"/> キッズリーダー		
	指導者登録番号	C <input type="text"/>		

どなたでも購入できます	JFAnews	<input type="checkbox"/> JFAnews 年間購読 ※年間購読のみご注文の場合は送料無料です	¥5,000 (送料込)	5,000円
	大会レポート	<input type="checkbox"/> JFAテクニカルレポート2013	¥1,310 × ()冊 =	円
		<input type="checkbox"/> UEFA EURO 2012 JFAテクニカルレポート	¥1,250 × ()冊 =	円
	指導指針 ガイドライン	<input type="checkbox"/> JFA指導指針 (U-10~18) 2017	¥2,200 × ()冊 =	円
		<input type="checkbox"/> JFAキッズ (U-10) 指導ガイドライン	¥1,100 × ()冊 =	円
		<input type="checkbox"/> JFAキッズ (U-8) 指導ガイドライン	¥1,100 × ()冊 =	円
		<input type="checkbox"/> JFAキッズ (U-6) 指導ガイドライン	¥1,100 × ()冊 =	円
	トレーニング教材	<input type="checkbox"/> コンディショニングプログラムDVD (育成年代)	¥2,750 × ()冊 =	円
		<input type="checkbox"/> 小中学生対象 サッカー選手のためのランニングドリルDVD	¥2,200 × ()冊 =	円
		<input type="checkbox"/> 育成年代のコアトレーニングDVD	¥2,200 × ()冊 =	円
<input type="checkbox"/> JFAキッズドリル		¥1,030 × ()冊 =	円	
指導者スキルアップ	<input type="checkbox"/> JFAキッズドリル②アイスブレイク集	¥1,250 × ()冊 =	円	
	<input type="checkbox"/> Technical news 対談集 ピッチからのことば～世界のトップ10を目指して～	¥1,100 × ()冊 =	円	
競技規則	<input type="checkbox"/> 第10回フットボールカンファレンス報告書	¥2,640 × ()冊 =	円	
	<input type="checkbox"/> サッカー-競技規則2019/20 (日本語)	¥1,100 × ()冊 =	円	
	<input type="checkbox"/> サッカー-競技規則2019/20 (英語)	¥1,320 × ()冊 =	円	
	<input type="checkbox"/> フットサル競技規則2019/20 (日本語)	¥1,100 × ()冊 =	円	
		<input type="checkbox"/> ビーチサッカー-競技規則2015/16 (日本語)	¥1,100 × ()冊 =	円

お振込み先				送料	+550円
三菱UFJ銀行	新宿新都心支店	普通預金	口座番号：1052178	合計	円
口座名義	マッシュコーポレーション(株)				
ご依頼人	○○○○○○○○ (8桁の受付番号) + お申込者氏名				

※ご依頼人様入力の際、申込者氏名の前に下記受付番号を入力してください。
 ※インターネットバンク等でのご入金の際、上記振込み先「口座名義」は、「マッシュコーポレーション(カ)」となります。

- ・領収書の発行はいたしません。払い込み取扱票の払込受領証が領収書となりますので大切に保管してください。
- ・商品の発送は、入金確認後3~5日前後にお届けいたします。
- ・お客様のご都合による返品はお断りしております。ただし、お届けした物品が万が一、配送中の事故などで破損キズおよび初期不良の場合には当方送料負担でお取り替えさせていただきます。
- ・海外からの注文も可能ですが、送料は実費となり購入者負担となります。
- ・入金の際、振込手数料は購入者負担となります。
- ・商品到着まで時間がかかる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・DVD商品については、国によって発送できないため、購入できない場合があります。

申込者情報 ※お申込者様ご本人以外への発送はできません	チーム登録番号	フリガナ	受付日	
	チーム名	氏名		
	住所	〒()-()		受付番号
	TEL	FAX		

※ FAX受信が不可の場合は、TELのみご記入ください。お電話にて受付番号をご案内いたします。

通信欄	※受付番号返信時、JFAnews 年間購読ご希望者様へ連絡事項を記入させていただきます	
-----	---	--

お問い合わせ先	マッシュコーポレーション(株)	TEL 03-6709-8717
---------	-----------------	------------------

ご連絡いただいた個人情報はマッシュコーポレーション(株)にて厳重に管理し、発送以外の目的では使用いたしません。

※コピーしてご使用ください。



なでしこリーグ便り

伊賀FCくノ一三重
<https://www.iga-fc.jp/>



反転攻勢への軌跡

伊賀FCくノ一三重 副代表 栗野 仁博

今年、クラブは「伊賀フットボールクラブくノ一」から「伊賀FCくノ一三重」にチーム名を改称しました。これは、1976年創部の女子最古参チームの決意の表れです。われわれは、第1回日本女子サッカーリーグから参戦し、途中、プリマハム株式会社の支援をいただきながら2000年より市民クラブとして活動を続けてきました。幾多の困難を乗り越え、今日まで歩み続けてきました。その歩みは険しく、地域の方々や行政、そして多くの企業などのさまざまな支えがあったからこそ続けられたものであり、クラブだけでは乗り越えられなかったことも事実です。そのような中、「伊賀FCくノ一三重」にチーム名を改称したのは、地域力の結集の輪を広げていこうという思いとともに、地域活性化の一助になるという思いがあったからです。というのも、ホームタウンである「伊賀市」を以前よりチーム名に使用してきましたが、その「伊賀」は忍者というイメージが強く、どこにあるのか分からないという声がありました。

現在、我が国は人や物が大都市圏に一極集中し、地方の疲弊は限界まで来ていると言われていています。しかしながら、地方に元気がないと都市のサプライチェーンは失われ、ひいては国の衰退にもつながりかねません。これを回避するためにも地域力の醸成は不可欠であり、「おらが町」のスポーツチームを心一つにして応援し、夢や希望、そして感動を与えることが、その力を醸成する一つの原動力であると考えています。「三重」の「伊賀」を鮮烈にアピールすることが重要であると決断し、チーム名を改称した次第です。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大により、仕事や学校など、人々の普通の生活が制限される状況となりました。無論、この状況を打破すべく、多方面からのアプローチを全世界で試みているところであります。とは言え、状況が収束に向かった際、人々はいきなり平常運転を始めることができるかと考えると疑問が残ります。そんなときでも、「おらが町」のチームが躍動することによって、地域に元気や勇気、明日への活力を与えられます。そのスポーツの力を多くの方々に実感してもらるように、地域を活性化させる大きなダイナモであるという自負を持って活動していきます。



ホームタウンである三重県伊賀市内で行われた生命駅伝にも参加(写真/2019年撮影)。今シーズンからチーム名を改称し、地域のアピールと活性化により力を入れていく

JFL便り

Honda FC
<http://www.honda-fc.gr.jp/>



新しい生活様式に合わせた取り組み

Honda FC 運営委員兼広報担当 渡邊 誠人

今シーズンは新型コロナウイルスの影響により、今までに経験したことがない状況下で、7月18日のJFL開幕に向けて選手・スタッフ共に準備を進めています。

また、今シーズンのJFLは全30試合を予定していた日程を15試合へと規模を縮小しての開催が決定しました。Honda FCでは、自粛期間中にSNSを通じて「おうちでできること」として、自宅での過ごし方やボールを使ったトレーニング、体幹を鍛えるトレーニングのメニューを選手が中心になって動画で配信しました。なかなか思うような活動ができない状況ですが、自分たちにできることとして、スポーツの素晴らしさやサッカーの素晴らしさを発信する良い機会とすることができました。この機会をチームとしてチャンスと捉え、今までにない取り組みに「チャレンジ」し、これからも新しい生活様式に合わせた活動を実施していきます。

トップチームは、今シーズンのチームスローガンに「concentration～最強の証明～」を掲げ、就任7年目となる井幡博康監督の下、新戦力4人を加えてスタートしました。

昨シーズンは天皇杯ベスト8進出、また、JFLでは4連覇を達成し、周囲からの期待値は高くなるものの、目の前の一戦一戦を集中して戦い、そして、Honda独自のサッカーでお客さまに喜び、感動、夢を与え、勝負に勝つことで、Hondaの強さを証明するために日々トレーニングに励んでいます。

スクールは、普及スクールと育成スクールの2部門を持つピラミッド型で構成され、経験豊かな指導者の下、サッカーの普及とクリエイティブな選手の育成をするとともに、サッカーを通じてフェアプレー精神やスポーツマンシップを学んでもらい、心身共に健全な青少年の育成を目指して活動しています。

最後に、新型コロナウイルスが1日も早く終息し、元通りの生活に戻れることを切に願います。



5連覇の懸かった2020シーズン、新型コロナウイルスの影響による活動自粛期間はあったもののHonda FCの強さを証明するための準備に余力はない

チャレンジリーグ便り

アンジュヴィオレ広島
<http://angeviolet.com/>



OVER THE TOP～限界をこえてゆけ!～

アンジュヴィオレ広島 香内 正明

アンジュヴィオレ広島 (ANGEVIOLET HIROSHIMA) ー。

ANGEL (天使)+VIOLET (紫)。フランス語で「紫の天使」を意味する私たちのチームは、特定の企業母体を持たない地域密着型の市民クラブとして2012年3月に産声を上げました。

2020年スローガンは「OVER THE TOP」～限界を超えてゆけ!～です。苦しいときこそもう一歩前へ踏み出し!自らの限界を決めずに、力いっぱいのパフォーマンスを發揮する、そんな思いを込めました。

また、「地域の皆様とのつながりを深めて、『明日もがんばろう!』と思える地域社会を実現する!」をチーム理念とし、サッカーを通じて、サポーター、スポンサー、ボランティアスタッフ、フロントスタッフ、チームスタッフ、選手、みんなでより良い地域社会をつくっていきたくて考えています。

今シーズン、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響により、サッカーはおろか、日常生活でさえも大きな不安を抱え、活動自粛も余儀なくされる日々が続きました。

そんな中で私たちはSTAY HOME期間中も、アンジュヴィオレ広島を応援してくれるサッカーファン・サポーターの皆さま、ご支援いただいている皆さまとのつながりを大切に、苦難を共に乗り越え、少しでも勇気づけたいとの思いから「アンジュとともにがんばろう!プロジェクト」と題して、Facebook、InstagramなどSNS等での発信やYouTubeでの動画配信などを続けてきました。

そして、いよいよ8月22日に2020プレナスチャレンジリーグは開幕します。

当初より大幅に遅れることになりましたが、幸いにも私たちは、仲間と共にサッカーができます。共に勝利を分かち合える大勢の仲間がいます。この喜びを噛みしめ、皆さまの声援に力いっぱいプレーを見せて応えます。

2021年度からは女子もプロ化し、「WEリーグ」がスタートすることとなりました。

チーム創設時のビジョンである広島の女子サッカーの育成・飛躍の基盤となれるように、チーム立ち上げ時の気持ちも新たにリーグ戦を戦います。

アンジュヴィオレ広島の活動を通じて、夢を描き、皆さまに勇気そして力を与えられるようチーム・クラブ一丸となって進んでいきたいと思えます。



活動自粛期間中はSNSを活用してメッセージや動画を配信。共に戦う仲間、応援してくれる仲間と力を合わせて2020シーズンに挑む

なでしこリーグ便り

ニッパツ横浜FCシーガルズ
<https://seagulls.yokohamafc-sc.com/>



活動休止期間中の取り組み

ニッパツ横浜FCシーガルズ ゼネラルマネージャー 佐野 哲教

女性の生涯スポーツとしてサッカーができる環境をつくることと、女子サッカーの普及・強化を目的に一般社団法人横浜FCスポーツクラブとNPO法人横須賀シーガルズスポーツクラブが提携し、2013年2月に「横浜FCシーガルズ」が発足しました。日本発条株式会社 (ニッパツ) とスポンサー契約を結び、チーム名を「ニッパツ横浜FCシーガルズ」と新たにしてから、今年で8年目のシーズンを迎えました。

昨シーズンはなでしこリーグ2部で5位と悔しい結果となってしまいましたが、今シーズンは就任4年目となる神野卓哉監督の下、新戦力として5人の選手を加え、最高成績の2位で終えた2018年度以上の成績を目指します。

今シーズンは、新型コロナウイルスの感染拡大によるリーグ戦の延期・カップ戦の中止やチーム活動の休止など、クラブやサッカー業界だけでなく、世界中の全ての人が経験したことのない未曾有の事態となりました。

そのような状況の中、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために最前線で戦う医療従事者や、感染拡大防止活動を行っていただいている全ての方々へ、クラブとして微力ながら支援したいという思いから「選手手作りマスク基金」を実施しました。

この基金は、クラブの思いを、ニッパツ横浜FCシーガルズのオフィシャルクラブパートナーである武松商事株式会社さまに賛同いただき、同社に勤務する高村ちさと選手、小須田璃菜選手、山本珠優選手を中心に、選手たちが未使用品のグッズTシャツを利用して一つ一つ手作業で世界に一つだけの手作りマスクを作成し、寄付していただいた方々にプレゼントするものです。

基金による寄付金は、手数料を除いた全額をチームの活動拠点である横浜市戸塚区の「一般社団法人戸塚区医師会」に寄付しました。

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために最前線で戦う医療従事者の方々には少しでも多くの支援が届くこと、そして一日も早く日常生活に戻ることをクラブ一同お祈り申し上げます。

7月18日、プレナスなでしこリーグは、開幕しました。

開幕に向けて尽力いただいた関係各位の皆さま、スポンサーの皆さま、サポーターの皆さま、すべての方々へ感謝申し上げます。

皆さまに安心して試合会場に足を運んでいただけるよう、われわれも最大限準備に努めていきます。



サッカー活動ができない中、選手たちがマスクを手作りして基金を募るなどクラブとしてできることを実施。なでしこリーグ2部で2位となった2018シーズン以上の順位を目指す



日本ビーチサッカー連盟便り

日本ビーチサッカー連盟
<http://jbsf.or.jp/>



森の中のビーチサッカー

マリシータ長野 山口 友美

私のビーチサッカーとの出会いは、2015年10月に長野県サッカー協会の主催で開催されたビーチサッカークリニックでした。海のない長野県ですが、中央アルプスの麓に位置する駒ヶ根高原の森の中に、自然を満喫できるサンドグラウンドがあります。

サッカーとフットサルを長く続けてきましたが、砂の上で、裸足でボールを蹴るのは初めての体験でした。コーチとして来てくださった東京レキオスBSの4人の選手からは、砂の上の走り方からスコップなどの基礎技術を教えていただきました。そして、コーチ陣が披露するオーバーヘッドキックやジャンピングボレーシュートなど迫力あるプレーに魅了され、ビーチサッカーにのめり込むようになりました。

長野県では、2011年からJFA主催のビーチサッカー大会県予選を駒ヶ根高原で開催しています。私も男女混合チームの一員として大会に出場するようになり、2017年には「ディレスタ長野BS」の一員として、「第12回全国ビーチサッカー大会」(兵庫県明石市)に参加することができました。

2019年3月には、日本ビーチサッカー連盟主催の「第1回Beach Soccer地域女子チャンピオンズカップ」が沖縄県で開催され、長野県からも女子チーム「マリシータ長野」を結成して出場しました。大会では全国から集まった強豪チームに苦戦しましたが、ワイルドカードながら決勝トーナメントに進出することができました。美しい海を望みながらのプレーは爽快で、離れた地域のチームとの交流はとても有意義でした。

今年開催予定だった第2回大会では福井県のフットサルチームと合同で参加する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大を受けて大会が中止となってしまったことは、とても残念です。

COVID-19の影響は続き、駒ヶ根高原のサンドグラウンドも使用禁止となり、10回目を迎えるはずだった「JFA全日本ビーチサッカー大会長野県大会」も中止になりました。7月になってサンドグラウンドの使用は解禁されましたが、今度は豪雨被害に見舞われました。

そうして、駒ヶ根高原にも待ちに待った「裸足の季節」がやって来ました。

COVID-19の脅威は依然と続いています。体調管理や感染対策を徹底、「森の中のビーチ」で再びプレーできることに感謝しながら、裸足でボールを蹴り続けていきたいと思えます。



海のない長野県で女子のビーチサッカーチーム「マリシータ長野」を結成。昨年の第1回 Beach Soccer地域女子チャンピオンズカップでは他地域のチームとの交流が刺激となった

日本フットサル連盟便り

東北フットサル連盟
<http://tohoku-fa.jp/tohoku-f/>

新型コロナと東北のフットサル

東北フットサル連盟 理事長 薄衣 淳

昨年暮れから「新型コロナウイルス」の話題を耳にするようになっていました。しかし、その頃は季節性の風邪の一種かなと思う程度で現在のような状況は予想もしていませんでした。

ところが、今年の2月頃にはパンデミック(世界的大流行)となり、我が国でも新型コロナウイルス感染拡大防止対策が取られるようになりました。「換気の悪い密閉空間」「多数が集まる密集場所」「間近で会話や発声をする密接場面」のいわゆる3密を避け、クラスター発生リスクを減らす行動が求められました。全国各地であらゆるイベントが中止または延期となり、フットサルの大会等も中止または延期となりました。4月7日に新型インフルエンザ等特別措置法に基づき緊急事態宣言が発令され、5月25日に解除されました。それでも、すぐにフットサル活動が再開とはなっていません。例年であれば、4月下旬に東北フットサルリーグの前哨戦としてカップ戦を行い、5月中旬からはリーグ戦が開幕予定でしたがカップ戦は中止となり、リーグ戦も7月29日現時点で未だに開幕に至っていません。

その後、徐々に行動の制限も緩和され、体育施設も利用が再開されるようになってきました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、例年より縮小とはなりますがリーグ戦の開幕を目指しております。

しかし、東北大学フットサルリーグについては行動の制限等もあり、未だ開幕の目処が立っていません。

また、秋田県で開催される予定だった全国選抜大会も中止となり、東北独自で行っている育成年代(U15、U18、U23)の選抜大会の開催も未定となっています。

まだまだ、新型コロナウイルス感染の終息は見えませんが、感染拡大防止対策を講じながらフットサルができることを祈っています。



東北フットサルリーグに先駆けて開幕した岩手県フットサルリーグ。ベンチは密を避けて設置し、消毒も呼び掛けている



JFAなでしこひろば便り

岩手県サッカー協会
<http://www.fa-iwate.com/>



なでしこひろばの魅力

(公社)岩手県サッカー協会 ユースダイレクター(技術専任担当)
兼女子サッカー普及コーディネーター 鳴尾 直軌

岩手県サッカー協会は、昨年からJFAなでしこひろば認定団体として活動し、県のフットボールセンターを中心に3会場で計12回開催しました。昨年度はグラウンドの空き状況をみながら不定期に行っていましたが、今年度は定期開催を目指し年間13回の計画を立てました。残念ながらコロナ禍の影響もあり4回の開催になっていますが、毎回新たな参加者を迎えながら平均16人程度で開催できています。昨年は最少で2人・平均8人程度だったので大きな変化です。

私は、昨年より岩手県FA専任のユースダイレクター兼女子サッカー普及コーディネーターとして活動していますが、女子サッカーの普及育成は本県の大きな課題です。できることから始めてみようと思い組んだのがなでしこひろばでした。

今年度は協会内に女子サッカー普及ワーキンググループを立ち上げ、地域の指導者の皆さんとディスカッションしながら、岩手の女子サッカーの未来について考える機会をつくりました。活発な意見交換を経てたどり着いたのが、なでしこひろばの開催頻度と開催地域の拡大でした。

県内の全地域をターゲットエリアとし、地元の指導者と連携しながら会場を確保して協会HPで告知をします。これまではガールズサッカーフェスティバルや女子地区トレセンなども行ってきましたが、会場確保や告知不足で思うように開催できなかった実情もあり、今年度は全てをなでしこひろばとして開催することにしました。

なでしこひろばの魅力は、未経験者大歓迎で誰でも気軽に参加できることです。サッカーフェスティバルやトレセンは、初心者でも大歓迎しても参加するのは抵抗が大きいようです。なでしこひろばを大切に育て、よいイメージを持ってもらい全県へ活動を広げていきたいと考えています。

最後に、なでしこひろばの最大の魅力は開催のしやすさです。JFAの認定を受けて開催することができれば、回数や開催場所を拡大することも簡単になります。地域の皆さんに極力負担をかけず、どんどん開催を増やしていきたいと考えています。私自身、始めるのに不安や戸惑いもありましたが、JFAのなでしこひろば事務局の対応はとて親切で、心強いサポートを感じることができました。ぜひ全国各地でなでしこひろばの輪が広がっていくことを願っています。



岩手県の課題だった女子サッカーの普及と育成を推進すべく始めたJFAなでしこひろば。県協会が主体して全県になでしこひろばの輪を広げていく

日本障がい者サッカー連盟便り

日本ろう者サッカー協会
<http://jdfa.jp/>



2020年度デフサッカー・デフフットサル活動

一般社団法人日本ろう者サッカー協会 広報部長 浜津 哲也

今年予定されていた国内外大会、日本代表合宿、イベントは軒並み、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。そうした中で、当協会に衝撃的な朗報が入りました。

今年6月、デフフットサル男子日本代表監督に藤井健太氏が就任しました。元フットサル選手の藤井氏はフットサル日本代表でキャプテンを務めるなど、日本のフットサル界を長くけん引してきた方です。フットサルの元日本代表キャプテンが監督を務めるのは、デフサッカー・デフフットサル男女共に初めてです。契約時はコロナ禍にあり、ウェブでの打ち合わせとなりましたが、画面越しにも伝わる強い熱意と人柄の良さを感じました。

また、デフフットサル女子日本代表は山本典城監督の続投も決定しました。昨年開催されたデフフットサルワールドカップ2019(スイス)で、女子日本代表は過去最高位となる5位となり、世界一が手に届くところまできていることを証明してくれました。そして、藤井監督と山本監督は選手時代に元チームメートという経歴を持っています。今後は男女日本代表の横のつながりが強化されることを期待しています。

デフサッカー男女日本代表は今年予定されていたデフサッカーワールドカップ(韓国)が中止となりましたが、来年12月に開催される夏季デフリンピック2021(ブラジル)に向けて日々トレーニングをしています。来年3月頃にデフリンピックアジア予選が行われる予定です。2019年に行われたデフサッカーワールドカップのアジア予選では、男子が準優勝、女子は優勝という結果でしたので、次は男女優勝を目指ししっかりと準備していきます。

U-23世代も順調に育っており、今後のデフサッカー・デフフットサル界を担う若手が増えてきています。

スポンサーの皆さまも厳しい状況ながら、契約を継続していただき心より感謝しています。

メディアでデフフットサルを取り上げていただく機会も増えました。今後もより多くの方にデフサッカー、デフフットサルの活動を知っていただけるよう発信していきたいと思っています。

デフサッカー、デフフットサル体験会や講演、イベント等、随時開催していますので、ぜひ会場にお越しください。



元フットサル日本代表でキャプテンも務めた藤井健太氏(写真)がデフフットサル男子日本代表監督に就任。山本典城監督が指揮する女子日本代表と共にアジアで男女優勝を目指す



JAPAN NATIONAL TEAM

Japan National Team would like to thank its partners for their support.

SAMURAI BLUE



©JFA/キリンチャレンジカップ2019 対ベネズエラ代表戦 先発メンバー (2019.11.19)

OFFICIAL PARTNER



OFFICIAL SUPPLIER



SUPPORTING COMPANIES





隔月連載

Vol.8

フットボールにできること

視覚障がい者ならどなたでも！おたすけ相談窓口 日本ブラインドサッカー協会の取り組み

何でも相談してほしい

NPO法人日本ブラインドサッカー協会（JBFA）は4月17日、「視覚障がい者ならどなたでも！おたすけ相談窓口」を開設した。きっかけは視覚障がいのある職員の声だった。

新型コロナウイルス感染が拡大する中、JBFAも4月から在宅勤務に切り替わった。そこで協会に勤務する視覚障がいのある選手たちから、これまでとは全く異なる日常を経験しているという声が上がった。

視覚障がいは、その程度によって全盲と弱視に大きく分けられる。「協会に在籍する選手たちは一人暮らしをしている者も多く、自活能力は高い。そうした選手たちでも（コロナ禍による）不便さを感じているのだから、困っている人が多くいるのではないかと思った」とJBFA職員の大坪英太さんは言う。例えば、新型コロナウイルス感染症の情報を入手しようにもできないケースがあった。というのは、ウェブ上に掲載されている情報がPDFやJPEGなどだった場合、文字を認識して読み上げるアプリやソフトの機能を使えないことがあり、そこに書いてある情報を拾うことができない。JBFAは「視覚障がい者の方が感染拡大によって日々変わりゆく状況の中でどのような生活を送っているのか、われわれにも見えない部分が多い。何か力になれることがないだろうか」と考え、「ブラインドサッカー」という統括団体の枠を超えて「視覚障がい者なら誰でも」相談できる窓口を設けた。

コールセンターのような窓口対応はJBFAにとって初めてだったため対応マニュアルを作成し、協会内で有志を募って体制を整えた。こうしてスタートした相談窓口には、それまで接点のなかった視覚障がい者から多くの相談が寄せられた。「音声ガイド付きの電子体温計を購入できない」「郵送物などの内容を確認できない」「自宅で体を動かしたいが全盲でも分かるように説明してくれるコンテンツはないか」など内容はさまざま。普段はガイドヘルパーにお願いできていたことも、3密を回避しなければならないため、ガイドヘルパーになかなか依頼しにくいという人もいた。

「われわれも専門家ではないのでその場で解決できるだけの知識を持っているわけではない」と大坪さん。それでも重視したことは「必ず相談者に回答する」ということ。協会では解決できないことは行政や関係団体に連絡して対応方法を仰ぎ、相談者に該当窓口を案内。買い物に困っている人がいればスーパーに相談し、それを相談者に伝えた。また、相談事例はホームページ上にQ&Aとしてまとめて掲載し、いつでも情報収集できる

ようにした。文字を認識して読み上げるアプリもプロジェクトに参画している視覚障がいのある職員が実際に使ってみて、使いやすいものを提案している。

どこまで相談して

いいか分からないという声もあるが、「まずは話を聞かせてほしい。困ったことがあれば何でも相談してほしい」と大坪さんは言う。

“知る”ことの大切さ

相談窓口は視覚障がい者の日常を知る機会になった。電話で聞く相談者の話に心を痛める職員もいたという。大坪さんは「ご高齢の方、一人暮らしの方、視覚障がいのある方が日々どういう生活を送り、何に困っているのか。今まで想像できていない部分が多かった。今回それに気づくことができた。そういった人たちの日常を知ることができたのはとても価値のあること」と意義に触れる。相談窓口は今後の状況を見ながら、必要があれば継続していく考えだ。

JBFAはコロナ禍に伴い、オンライン形式でのブラインドサッカー教室や体験会も実施している。学校教育やパラリンピックを通して、また、多様性を尊重する機運の高まりによって障がいなどについて知る機会や障がい者スポーツを見る機会も増えているが、「視覚障がい者の環境が劇的によくなっているというわけではないと感じている」と大坪さん。ブラインドサッカーを通して視覚障がいに対する理解を促すため、YouTubeチャンネルを設けてプレー映像や試合映像を配信する取り組みなども行っている。

障がいの有無にかかわらず、共に安心して暮らせる共生社会を目指して、JBFAは今できることに力を注いでいる。



「サッカーファミリーの皆さんの周りには視覚障がいの方にぜひ相談窓口を伝えてほしい」と大坪さん

■視覚障がい者ならどなたでも！おたすけ相談窓口

特設サイト <https://www.b-soccer.jp/news/14268-otasuke>

●電話：050-3627-5015（おたすけ電話相談窓口専用回線）
対応時間10:00～12:30 / 14:00～16:30（平日・土日 ※祝日は除く）

●Webフォーム：<https://bit.ly/2YUgjo1>
返答時間（メール）：9:00～18:00（平日・土日 ※祝日は除く）
返答時間（電話）：10:00～12:30 / 14:00～16:30（平日・土日 ※祝日は除く）

●LINE：JBFAのLINEアカウントを「友達追加」して問い合わせ
※詳細な方法は特設サイトご参照



隔月連載 ブルーノ・ガルシアの フットサル道場



**Bruno GARCIA
Formoso**

フットサル日本代表のブルーノ・ガルシア監督の連載は隔月の掲載となります。

駆け出しのときに訪れた 指導者としての分岐点

**職業・指導者は
自然なことだった**

なぜ指導者になり、今の仕事を選んだか聞かれることがまれにある。そんなとき、私は決まって「指導者が天職だと思っているから」と答える。

もともと人に何かを伝えるのが好きだったというのもあるけれど、決定的なのは柔道とフットサルで得た経験だろう。

連載第1回で触れた通り、私は大学時代までフットサルのほかに柔道に打ち込み、オリンピック出場を期待されるような柔道家だった。スペインには日本で見られるような先輩と後輩の概念はないが、柔道の世界にはレベルの高い柔道家が若手を教育する文化(上下関係)があった。

私も同じ道場に通う若手や後輩の面倒を見たり、技のかけ方を教えたりするうちに、自分は人に何かを伝えることが向いていると思うようになった。

フットサルの選手時代もリーグシップを發揮するタイプだった。ピッチではフィクソという司令塔の役割を全うした。常に全体を見渡しながらいかにチームを勝利に導くかを考えていた。ピッチでもベンチでも状況に応じて仲間にアドバイスしていたし、ピッチ内外で指導者のような視点で物事を見ていたように思う。

自分にとって、フットサルという競技と指導方法を探求することができる「監督」という職に就くのは自然なことだったのかもしれない。

とはいえ、プロの指導者になるということは相当の覚悟が必要で、これまでにいくつかの分岐点があったことも確かだ。

監督と認められたのは 選手と向き合ったから

自分にとって分岐点の一つは、プロの指導者になると決断したことだ。4年間、高校の体育教師とセミプロのフットサルチームの指導者を掛け持ちしていたが、26歳のときにプロの世界で生きていくと決めた。安定している教師の仕事

ではなく、先が見えないプロの世界に飛び込むこと自体、戦略性や分析力が要求され、指導者として腕を磨くことにつながったと思う。

もう一つの分岐点は、指導者のキャリアをスタートさせたときに訪れた。もともと、2部のクラブの選手としてプレーしていたのだが、「翌シーズンから監督をやってくれ」と幹部に言われ、オフアを引き受ける形で初めて監督のポストに就いた。

それまで共にプレーしていたチームメイトは同僚であり、友人でもあった。多くが同年代で、年上の選手もいたため、正直、急に「監督と選手」の関係になることに戸惑った。肩書が選手から監督に変わったからといって選手が私

の話聞いてくれるとは限らない。そこで、監督になってからはまず選手たちと個別ミーティングする機会を設け、一人一人と話し合った。このチームでどんな役割の選手になりたいかをじっくり聞いた上で、こちらが期待していることをできるだけ正確に伝えることにした。

結果的に私は「元」チームメイトに監督と

しての自分を受け入れてもらった。反発する者も誰一人として現れなかった。彼らとは20年たった今でも毎年クリスマスになるとパーティーを開き、旧交を温めている。

今思うと、相手の話を傾け、自分の要求を伝えるというごく当たり前のことに神経を注いだからこそ、指導者の分岐点をスムーズに通過することができたのだ。それでは、選手が指導者に転身したとき、必ずしも成功しないのはなぜだろう。

次回のコラムでは「名選手、名監督にあらず」の理由に迫っていくたい。



「選手に自分の考えを理解してもらおうと、完全に納得してもらおうとが優れた指導者の条件」とブルーノ監督。ベースにあるのは1対1での対話だ

「精力善用」「自他共存」

長梅雨の曇空の朝、水田の緑がいつもより濃く感じます。大学のラグビー場の天然芝は活動自粛が続く中で伸び伸びと育っています。私たちが使う人工芝のサッカー場も使用頻度が減り、いつもより芝が立っているように感じます。その隙間から30センチほどの草がたくましく伸びています。負けではいられません。

新型コロナウイルス感染拡大による自粛も緩和され、サッカー活動も徐々に再開しています。感染防止のためには一切の活動を止めることが最適な手段です。しかし、私たちがより良く生きるために、経済活動はもちろんスポーツや芸術などの文化的な活動も安易に止めてはいけないと思います。

講道館柔道の創始者であり、日本のスポーツや教育分野の発展に尽力した嘉納治五郎は「精力善用」「自他共存」という言葉を残しています。嘉納先生は私が勤める筑波大学の前身である東京高等師範学校の校長でもありました。筑波大学の体育・スポーツ指導者の倫理宣言のリーフレットに「精力善用」とは、自身の鍛えた心身の力を最も効果的に価値あるように用いることであり、「自他共存」とはその精力を用いることで、自身のみならず、他者や社会をも発展させるようにすることができるとのことと記されています。

います。

サッカー活動が新型コロナウイルスの感染防止に直接的な影響を与えることはできません。しかし、私たちが情熱を持って取り組んでいるサッカー活動を通して、制約を強いられる社会を少しでも明るくできたらと思います。独善的にならず、配慮を忘れず、サッカーを楽しめる時間を増やしていきたいでしょう。

私たちサッカー指導者は今の状況に対して、選手以上に健全に適應することが求められます。指導者は選手よりも経験があり、これまで当たり前にやっていたことができなくなることへの不安は選手よりも大きいかもしれませんが、だからこそ、サッカーに戻ってきた選手たち一人一人を、今一度、しっかりと観察する必要があります。

高強度の運動を継続的に行うことが難しい状況下では、選手たちの体力低下は仕方ありません。外出や友人との交流が制限される中でストレス、学生であればオンライン授業によるストレスなど、心の健康もダメージを受けているはずで

環境の変化による体調不良には個人差があります。私自身、大学で実技授業が再開したときに見た学生個々のコンディションの違いはこれまで経験がないほどでした。落ちたコンディションは焦らずゆっくりと以前のレベルに戻

隔月連載

サッカー心育論

Vol.63

～指導者は何を考えるべきか～



中山 雅雄 (JFA技術委員会普及部会部会長、JFAキッズプロジェクトメンバー、筑波大学体育系教授)

さなければなりません。一方、ある程度コンディションを維持できた学生には、思い切り体を動かす喜びを感じてもらえるような課題を与えていきます。夏は熱中症対策も必須です。遅れを一気に取り戻そうとするこの危険性を、私たち指導者は肝に銘じておく必要があります。

例年であれば夏休みのこの期間に、多くの試合や合宿、遠征といった経験をすることができました。しかし、いま大切なことは、できないことを嘆くのではなく、できることを見つけていくことです。例えば、今はトレーニングの幅を広げる良い機会です。密を避けるために人と距離を置くことが必要とされる中では、パスの基本練習の量を増やすことができます。相手がいらないシヤドロー

とと言われるトレーニングでは、戦術的な動きのイメージをもっと詳細に共有できるかもしれません。サッカー活動が制限されているこの期間の全てが、選手たちの成長を妨げる時間ではありません。活動が制限されたことで、工夫することの大切さに気づき、日常の当たり前に感謝する気持ちを持つことができればいいと思います。

育成年代の選手だけでなく、プロの選手たちもコロナ禍では大きな影響を受けています。先日、入場制限をしているJリーグを観戦しました。サポーターのチャントが聞こえないスタジア

ムは少し寂しいものではありませんが、席の間隔が広く、じっくり試合を見るには良い環境です。そんな中、選手はもう少し覚醒状態を上げて戦っても良いのでは、と感じました。これまでは、サポーターの応援が選手の気持ちを高ぶらせ、ミスや緩いプレーに対する容赦ないブーイングが選手たちの集中力を高めて良いプレーを引き出していたかもしれません。プロは厳しい環境で、生活面でも多くの制限を強いられる中でプレーしています。これを超えることもできずと強くなるはずで

私の家の小さな庭の芝生の手入れが大変な時期です。今年は梅雨が長引いたため、芝刈りのタイミングを逃し、すぐに葉が伸びてしまいました。緑は映えますが、根の広がりや不十分だったため芝の密度は高くなりません。サッカー選手も自分の力で成長することはできませんが、指導者が適時に刺激を与える(芝を刈ることによって、もう一度土台を固め(根を広げて)、より強い美しい選手(芝生)に成長してくるのではな

サッカーなら、どんな障害も超えられる。

日本の人口の7%は障がい者です。その障がいは多様で、ひとつとして同じ在り方はありません。障がいがあっても、いつでも、どこでも、サッカーを心から楽しめる環境を。彼ら彼女らが社会にある"障害"を超えていききっかけづくりやサポートも、サッカーならできる。私たちはそう信じて、日本障がい者サッカー連盟を推進していきます。

障がい者サッカー7団体は、日本サッカー協会と連携し、サッカー界の発展のために取り組みます。



切断障がい



脳性麻痺



精神障がい



知的障がい



電動車椅子



視覚障がい



聴覚障がい

日本アンブティサッカー協会

アンブティサッカーとは、足や腕に切断障がいのある人が行う7人制サッカーです。日常生活で使用する義足・義手を外してロフトスタンドクラッチで体を支えながらプレーします。

日本ソーシャルフットボール協会

ソーシャルフットボールとは、精神障がいのある人が行うフットサルやサッカーです。基本ルールは健常者と同じで、フットサルでは女子選手を含む場合に最大6人がコートでプレーするなど、一部特別ルールを採用しています。

日本知的障がい者サッカー連盟

知的障がい者サッカーとは、知的障がいのある人が行う11人制サッカーです。フットサルも行っています。ルールは健常者のサッカー・フットサルと同じで、プレーヤーの障がいの度合いにより試合時間が異なります。

日本電動車椅子サッカー協会

国際的にはパワーチェアフットボールと呼ばれ、自立歩行が困難な重度の障がいのある人が多く行う4人制サッカーです。手やアゴでジョイスティック型のコントローラーを操り、電動車椅子でプレーします。

日本CPサッカー協会

CPサッカーとは、脳の損傷によって運動障害がある人が行うサッカーです。Cerebral(脳からの)Palsy(麻痺)の頭文字をとり、そう呼ばれています。

日本ブラインドサッカー協会

ブラインドサッカーとは、視覚障がいのある人が行う5人制サッカーです。転がると音が出るボールを使用し、まわりの声を頼りにプレーします。2004年からパラリンピックの正式種目です。

日本ろう者サッカー協会

デフサッカーと呼ばれる、聴覚障がいのある人が行うサッカーです。サッカーとフットサルがあり、審判は笛だけではなくフラッグも使用するなど、視覚情報を頼りにプレーします。



一般社団法人 日本障がい者サッカー連盟

公式ユニフォームサプライヤー



パートナー



城南信用金庫

支援団体



住友ベークライト

General Partners

東京海上日動

Bewith

McDonald's

MSOL 三菱商事

日本女子サッカーリーグの変遷(1)

文・大住良之(サッカージャーナリスト)

女子サッカーの全国的な発展へ

日本サッカー協会(JFA)が女子サッカーを傘下に入れて10年目、1988年度には、女子の加盟チームが470(初年度の約9倍)、選手数も9647人(同約10倍)に増え、日本女子代表も力をつけ始めていた。

昭和から平成へと時代が変わった1989年、JFAは女子サッカーの最初の10年間を支えてきた「日本女子サッカー連盟」を発展的に解消させ、「第5種委員会」とし

隔月連載

日本サッカー
タイムスリップ

1921年に誕生した日本サッカー協会(JFA)は、2021年に創立100周年を迎える。本連載では、JFA各種事業や日本サッカーの歩みを振り返っていく。第11回は日本女子サッカーリーグをテーマにお届けする。

※本連載は隔月の連載になります



1989年9月9日、第1回日本女子サッカーリーグが開幕した

© BBM

で開催されたアジア競技大会で女子サッカーを正式種目に加えた。日本女子代表の強化のためにも、女子の全国リーグは不可欠だった。

設立の中心となったのは、当時、JFA理事で、少年や女子の推進役だった堀田哲爾。静岡県清水市(現、静岡市)を、浦和市、広島市と並ぶサッカーの「三大家」として立役者だった彼は、日本の女子サッカーの発展とともに、清水の女子サッカーが孤立していることも憂慮していた。

女子連盟設立の1979年度に始まった全日本女子サッカー選手権大会(現、皇后杯)では、清水第八スポーツクラブが第2回大会から7連覇の偉業を成し遂げた。しかし1987年度の第9回大会

で読売サッカークラブ女子ベレーザにストップをかけられた。

当時の日本の女子サッカーは、関東、東海、そして関西にチームが集り、全国的な普及にはほど遠かった。その中で、交通が便利だった東京の読売や日産、関西の高槻女子や神戸FCがそれぞれの地域で切磋琢磨していたが、東海地域では、静岡県の清水第八も三重県の伊賀上野くノ一FCも日常的に強豪と対戦する機会がなかった。強豪が通年で対戦することがレベルアップに不可欠と、堀田は考えたのだ。

初の全国リーグ開幕へ

「全国リーグは時期尚早」という意見も数多くある中、5月に参加したいとの意向を伝えてきた。それを力を得て、6月のJFA理事会でリーグ設立の承認を取りつけ、9月開幕に向けて急ピッチで準備を進めた。

そして1989年9月9日土曜日、東京の西が丘サッカー場で開幕を迎える。午後7時の開幕戦を前に全6チームが入場、開幕セレモニーに臨んだ。

男子の日本サッカーリーグ(JSL)チームの傘下だった読売サッカークラブ女子ベレーザと日産FCレディースはそれまでの運

営形態を維持したが、田崎真珠神戸フットボールクラブレディース、新光精工FCクレール、プリマムFCくノ一は新たに企業の援助を受けての参加。新光は「FC小平」から名称も完全に変更された。そして清水フットボールクラブは、清水第八からFW半田悦子、MF木岡二葉、山田千愛、DF山口小百合ら日本女子代表選手を加え、地元の総合企業・鈴与の支援を受けての参加だった。

開幕戦は優勝候補同士の読売対清水。前半27分に読売の高倉麻子(現、なでしこジャパン監督)が歴史的な第1号ゴールを決め、後半に早川明子が追加して読売が2-0で勝った。

前期は読売が4勝1分けで首位。だが、優勝争いは劇的な結末を迎えた。1990年の1月28日に西が丘で行われた最終節で清水が読売に2-1でリベンジ。共に8勝1分け1敗で並び、得失点差で上回った清水が「初代女王」となったのだ。リーグ開幕前に清水に加入したチャイニーズ・タイペイ代表MF周台英が得点王の12得点を記録したことが、得失点差でわずか「3差」の接戦を制する決め手となった。最優秀選手はアシスト王(6点)の清水の半田だったが、周台英の活躍はこの後の「外国籍選手ラッシュ」の先駆けとなる。

Jリーグの試合で、これまでになかったことが続けられています。試合前、入場した選手と審判員たちが並び、拍手をします。新型コロナウイルスに對して最前線で戦ってくれている医療従事者への感謝の気持ちを表すものです。再開初節だけの統一セレモニーでしたが、その後も続けているクラブが多いようです。

J1第3節の横浜F・マリノス対湘南ベルマーレの試合では、面白い光景が見られました。会場のニッパツニッ沢球技場のバックスタンド裏には、5月に完成したばかりの横浜市民病院の大きな建物があるのですが、選手や審判員たち全員がそちらに向けて拍手を送ったのです。その市民病院の最上階7階と6階の窓には、「おかえりなさいJリーグ。ニッ沢で心をひとつに」という手書きの紙が窓ガラスに並べて貼られていました。

今回の新型コロナウイルスによる「緊急事態宣言」の下で自由な暮らしを強いられながらも、多くの人の心にあらためてわいてきたのが「感謝」の気持ちではなかったでしょうか。交通機関やゴミの収集、宅配便の配達、そして何よりも消防や医療など、世の中には、自宅で自分自身の安全を保つことが許されず、いつ

いつも心に

連載 Vol.88

大住良之
(サッカージャーナリスト)

リスペクト

RESPECT
大切に思うこと

感謝の気持ちの表現

もと同様に、あるいはいつも以上に集中して仕事に当たらなければならぬ人々がいます。コロナ禍で何か一ついいことがあったとしたら、そうした人びとに對し感謝の念を持てるようになったことだとも思います。周囲の人々、自分を支えてくれている人には「ありがとう」として感謝の気持ちを持つことは、この社会でもとても大事なことです。

Jリーグが再開されて私が真っ先に感じたのは、ピッチの美しさでした。4カ月間も使わなかったからきれいで当たり前？ そうではありません。いつ使うか分からないスタジアムの芝生に、毎日水をやり、ローラーを引き、刈りそろえ、健康状態をチェックしてくれた人がいたからこそ、こうしていざ試合となったときに最高のコンディションで選手たちを迎えることができたのです。

そうした目で自分の周囲を見回せば、感謝すべきものがあるにわいてくるような人々がたくさんいます。

従来、Jリーグのスタジアムでは、試合ごとに特定のスポンサーが設けられ、プロモーションなどが行われてきました。ファン・サポーターにとっ

るクラブを助けてくれている頼もしい味方。そうしたイベントを通じて、感謝の気持ちを新たにするには、小さくない意味があります。

しかしそれだけでなく、これからは、社会で特定の仕事や役割を果たしている人々への感謝の日もつくつたらどうでしょうか。たとえば、グラウンドキーパー、ボランティアなど試合に直接関係する人びと、交通機関など観戦に不可欠な人々、そして医療従事者、保健所、学校、電気水道、通信など、社会的なインフラにたずさわっている人々……

大げさなセレモニーではなく、さりげなくそうした人々、仕事を具体的に取りあげ、試合前に選手とファン・サポーター全員で拍手を送るようなことを定期的にしていったら、日本という社会がもっともっと素敵になるのではないかと思うのです。

そうした感謝のセレモニーは、プロでなくてもできます。少年少女の試合、草サッカーの試合などでも、試合前の1分間を使うだけで、自分を支えてくれ、サッカーを楽しませてくれているいろいろな人々への感謝をもって試合ができるようになる

るかもしれません。

誰でも、苦しいとき、大変などに助けてくれた人に対しては感謝の念を抱きます。しかしそうした時期が去ったとき、真っ先に忘れてしまうのも、感謝の気持ちなのです。Jリーグが4カ月ぶりの再開のときに感じ、



表現した感謝の気持ち。それを忘れないためにも、今後も何らかの形で続けていってほしいと思います。Jリーグから少年少女、草サッカーまで感謝の念をもって試合ができれば、日本のサッカーはもっともっと豊かなものになるでしょう。

TOKYO 応援宣言



東京オリンピック・パラリンピックに向けて盛り上がるスポーツ界。
そこで起きた最新ニュースから東京2020で活躍が期待される新星、
あなたの知らないスポーツの話題を隔々まで
松木安太郎を中心に伝えます！

さらに松岡修造は2020に向け
情熱を捧げる人たちを全力応援!!



毎週

日曜あさ サンデーLIVE!内 放送

2020明治安田生命Jリーグ

2度の延期を乗り越え 125日ぶりにJリーグ再開!



6月27日、Jリーグが再開した。新型コロナウイルス感染拡大の影響による中断から125日、待ちに待った再開だ。しかし、コロナ禍の影響は大きく、大会方式をはじめさまざまな変更を余儀なくされた。ここではリーグ中断から再開までの動きや大会方式の変更点などをレポートする。

JリーグとNPBが連携し 対策連絡会議を設立

Jリーグは、早い段階から新型コロナウイルスの感染予防の対策を講じてきた。緊急事態宣言が発令される約2カ月前の2月8日、「FUJIZEROX SUPER CUP 2020」を開催した際には、すでに入場ゲート、トイレに消毒液を設置。スタジアムのスタッフもマスクを着用して試合運営に当たった。万全の態勢を整え、2月16日にJリーグYBCルヴァンカップを、その5日後の21日にはJリーグの開幕を迎えた。運営スタッフはファン・サポーターに感染予防を呼び掛け、スタンドはマスクを着けたファン・サポーターでぎっしり埋まった。

それから1週間も経たないときだった。ルヴァンカップ第2節の前日となる2月25日、全クラブの実行委員会による緊急オンライン会議が開かれ、そこで3月15日までの試合延期を決めた。この時点ではトンネルを抜けるまでに4カ月も時間を要するとは、誰もが予想だにしていなかった。

3月3日、Jリーグは一般社団法人日本野球機構(NPB)と共に新型コロナウイルス対策連絡会議を立ち上げた。この日からJリーグとNPBが協力し、感染予防対策を講じていくこととなる。3月初めの頃は、同18日のリーグ再開に向けて、各クラブはこれまで通りチーム全員がそろってトレーニングに打ち込んでいた。しかし、状況は悪化の一途をたどっていく。3月9日、NPBとの第2回連絡会議を開き、村井満チエマンは険しい顔で現状を説明した。

「(専門家チームから中断期間を)延長することが望ましいという助言をいただきました。私の思いとして、18日の再開は難しいという認識です」

村井チエマンはその日のうちにリーグ再開に向けての緊急オンライン会議を行い、会議後の会見で「4月3日の再開を目指し、取り得る手段を尽くす」と述べた。

Jリーグ内でも幾度も議論を重ねた。そして、3月19日に開催した臨時実行委員会で、2020シーズンはJ1、J2共に今シーズンの「降格なし」の特例を適用することを決めた。

村井チエマンの言葉には苦悩がにじんでいた。

「ホームスタジアムの利用頻度、試合日程の過密状況、アウェイゲーム、ホームゲームの連戦格差など、競技の不正が生じた場合でも、降格リスクを回避することでサッカーを継続していきます」

非常事態宣言延長下で 再開に向けて協議を重ねる

3月24日には東京オリンピック・パラリンピックの開催延期が発表され、ますますスポーツを取り巻く環境は厳しくなっていく。翌25日に実行委員会が開かれ、再開日を再び延期すること。J1は5月9日、J2は5月2日に再開、J3は4月25日を開幕日に設定した。当初はあくまで有観客を前提に話が進められていた。

関係者の思いとは裏腹に4月に入ると、雲行きは一層怪しくなる。4月1日に村井チエマンは無観客試合の可能性に言及し、3日には再開日程を白紙に戻す意向を示す。同7日に政府から7都道府県に緊急事態宣言が発令され、17日には対象地域を全国に拡大。当然、あらゆる活動が自粛となり、各クラブは長期のオフに突入した。まさに先が見

えられない状況だ。Jリーグは、早い段階から新型コロナウイルスの感染予防の対策を講じてきた。緊急事態宣言が発令される約2カ月前の2月8日、「FUJIZEROX SUPER CUP 2020」を開催した際には、すでに入場ゲート、トイレに消毒液を設置。スタジアムのスタッフもマスクを着用して試合運営に当たった。万全の態勢を整え、2月16日にJリーグYBCルヴァンカップを、その5日後の21日にはJリーグの開幕を迎えた。運営スタッフはファン・サポーターに感染予防を呼び掛け、スタンドはマスクを着けたファン・サポーターでぎっしり埋まった。

関係者の思いとは裏腹に4月に入ると、雲行きは一層怪しくなる。4月1日に村井チエマンは無観客試合の可能性に言及し、3日には再開日程を白紙に戻す意向を示す。同7日に政府から7都道府県に緊急事態宣言が発令され、17日には対象地域を全国に拡大。当然、あらゆる活動が自粛となり、各クラブは長期のオフに突入した。まさに先が見

えない時期だった。30日には6月7日までの試合開催延期が発表され、6月13日以降の日程も白紙とした。当面のチケット収入などが消えた各クラブの財政状況は逼迫(ひっばく)しつつあったが、Jリーグの動きは素早かった。窮地に陥るクラブが出た場合を想定し、救済する態勢を整える。4月15日にリーグ戦安定開催融資制度の特例措置を決め、J1は3.5億円、J2は1.5億円、J3は3000万円を無担保で借り入れできるようにした。返済期限もシーズン終了までだったものを3年までに延長。ライセンス制度の特例措置もつくり、債務超過になって

各大会の方式を変更して再開

から、新たに再開後に注意すべき点などを盛り込んだ。当初「流行時には無観客試合」と記されていた文言も「当面は無観客」に修正された。日本政府は各地の感染状況や医療体制、感染状況の監視・検査体制などを踏まえ、5月14日に39県で緊急事態宣言を解除することを発表。21日には京都府、大阪府、兵庫県が解除となり、25日には東京都をはじめとする5都道県でも宣言が解除された。

これを受けてJリーグは29日、臨時実行委員会を開催し、全クラブの代表が協議した上で、J1が7月4日、J2が6月27日に再開、J3は6月27日を開幕とすることを決めた。

長時間の話し合いを終えた村井チェアマンは、疲れも見せずに経緯を説明した。

「全クラブの実行委員から一言ずつ開幕に向けての思い、準備などさまざまなことを聞いていたので長い時間かかりました。感染防止対策を講じた上で再開させていただくことに決定しました」

5月4日に緊急事態宣言が5月末まで延期される決定が政府から発表されたが、ゴールデンウィーク中もJリーグはオンラインによる会議を重ねていた。14日にはリーグ再開に向けて「Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」を策定。3月12日に公表された提言

移動時の感染リスクを軽減するために序盤は本拠地の近いクラブ同士が対戦するようにカードも組み直し、当面は東西の2地域に分け、8月以降は地域の区切りなく試合を組む方針が示された。

ようやくトンネルの出口が見え始める。6月からはより具体的に再開への道のりが提示された。まず6月5日に開催期間の変更などが発表される。J1は12月19日、J2とJ3は同20日にそれぞれ閉幕。競技面では特別ルールが適用され、今シーズンに限って交代枠は3人から5人へと拡大されることになった。

ルヴァンカップの大会方式も変更された。プレオフステージは廃止とし、グループステージを1回戦総当たりのリーグ戦に。各グループ1位の4チームと2位のうち上位1チームおよびAFCチャンピオンズリーグ(ACL)出場3チームの計8チームで1試合制のトーナメント戦を行うことになった。21歳以下の日本国籍選手を1人以上先発に含めるルールもなくしている。

一方で、新型コロナウイルス対策の影響でFC東京U-23がホームゲーム開催スタジアムの確保が困難となり、J3リーグへの参加を辞退。再開の1カ月前に名古屋グランパスの選手に陽性判定が出たりもしたが、Jリーグは刻一刻と変わる状況に応じ、リーグを運営していくためのガイドラインをブラッシュアップ

させていく。6月12日、70ページにも及ぶ「新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」の最新版を公表。感染リスクを下げるために関係者が遵守すべき基準や、感染が生じた場合の適切な処置が明記された。7つのプロトコルに分類され、無観客での試合開催の指針、有観客に移行したときの当面の制限人数など詳らかな基準を設定。リーグ再開から無観客で開催するのは2試合のみで、7月10日以降は上限5000人または会場収容人数の50%の少ない方で実施すると定めた。

再びフットボールのある日常へ

感染拡大が予断を許さない状況ではあったが、6月に入ると再開開幕に向けてのムードは高まっていった。6月15日には再開後の対戦カードを発表。日本トップリーグ連携機構の呼び掛けにより、「無観客試合」に代わる名称が「リモートマッチ」に変更されたことから、村井チェアマンも同呼称をアピールした。

2度の延期を乗り越えて6月27日、125日ぶりにJ2、J3リーグがリモートマッチでそれぞれ再開開幕した。

感染予防のため、試合前の集合写真も選手おのおのが間隔を空けて撮影される。ゴール後のパフォーマンスも抱擁は避け、歓喜の輪をつく

らないように配慮。スタジアムに響くのはファン・サポーターの声援ではなく、選手たちのコーチングやベンチからの指示の声だったが、サッカーのある日常が戻ってきた。J2とJ3に続き、7月4日からはJ1も再始動した。慣れないリモートマッチながらトラブルも起こらず、制限付きでスタジアムに観客を入れる7月10日の公式戦へ向かう。先陣を切ったのは10日に行われたJ2のファジアーノ岡山とギラヴァンツ北九州との一戦。2294人がシテライトスタジアムに詰め掛けた。

村井チェアマンも無事に開催できた感想を「制限付きではありますが、雨の中、スタンドでファン・サポーターの皆さまが熱い拍手を送ってくださる様子は、やはり心に響くものがありました」と感慨深く語った。

7月10日以降の試合は制限付きながら有観客に。各スタジアムは感染予防を徹底している



【大会概要】

2020明治安田生命Jリーグ

大会方式：ホーム&アウェイによる2回戦総当たりリーグ戦

開催期間および試合数：J1リーグ 2月21日～12月19日(34節/合計306試合)

J2リーグ 2月23日～12月20日(42節/合計462試合)

J3リーグ 6月27日～12月20日(34節/合計306試合)

開幕時からの主な変更点：

- ① 開催期間
上記の通り
- ② 選手交代枠の増加
3人までの交代枠を5人に拡大。交代回数はハーフタイムを除き3回まで。
- ③ VAR導入の見送り
1試合当りに派遣できる審判員の人数を考慮。
- ④ 昇格あり・降格なし
1. J2からJ1への昇格はリーグ戦上位2クラブの自動昇格とし、J1参入プレーオフは開催しない。
2. J3からJ2への昇格はリーグ戦上位2クラブの自動昇格とする。
3. クラブライセンス交付判定を受けていないクラブがリーグ戦上位2クラブとなった場合、3位以下の繰り上がり昇格はしない。
4. 上記1、2は、各カテゴリーで「基準試合数」以上の試合を開催した場合のみ適用する。※「基準試合数」以上の開催：全試合数の75%、かつ、全クラブが50%（ホーム、アウェイ問わず）を開催。ただし、不測の事態が発生した場合は理事会にて決定する。
5. 「基準試合数」を満たさなかった場合は大会が成立しなかったものとみなし、当該カテゴリーにおける順位決定は行わず、昇格は行われない。したがって、2021シーズンのクラブ数は、J1：18～20、J2：20～24、J3：14～18となる。
- ⑤ 順位決定方法
リーグが終了した時点で、勝点の合計が多いクラブを上位とし、各リーグ戦それぞれ年間順位を決定する。ただし、勝点が同じ場合は、次の順序により決定する。
 1. 全試合の得失点差
 2. 該当するクラブ間の対戦成績（イ：勝点、ロ：得失点差、ハ：総得点数）
※ただし、ホーム&アウェイの2試合を実施済みの場合
 3. 全試合の勝利数
 4. 全試合の総得点数
 5. 全試合の反則ポイント
 6. 抽選
- ⑥ 各種表彰における賞金金額の変更
1. 各カテゴリーにおいて「基準試合数」に満たなかった場合は大会が成立しなかったものとみなし、賞金は支払わない。また、各種表彰も行わない。
2. 大会が成立しなかった場合の公式記録は参考データとする。選手個人の出場実績（試合数、得点等）は個人記録として算入する。
- ⑦ 出場資格登録期限の変更
1. 追加登録期限 2020年9月18日 → 2020年11月6日
2. 第2登録期間（ウインドー） 2020年7月17日～8月14日 → 2020年7月31日～8月28日
3. 第3登録期間（ウインドー） 2020年10月2日～30日（新設）

JリーグYBCルヴァンカップ

大会方式&日程：

ACLに出場する3チーム（横浜FM、神戸、FC東京）を除くJ1の15チームとJ2松本の16チームを4グループに分け、各グループ1回戦総当たりのリーグ戦を行う。各グループ1位の4チームと2位のうち上位1チームの5チームに、ACLに出場する3チームを加えた計8チームが1試合制のブレイクステージに進出する。

Aグループ 鹿島、川崎F、清水、名古屋

Bグループ 仙台、浦和、松本、C大阪

Cグループ 札幌、横浜FC、広島、鳥栖

Dグループ 柏、湘南、G大阪、大分

【グループステージ】

第1節 2月16日

第2節 8月5日

第3節 8月12日

【ブレイクステージ】

準々決勝 9月2日

準決勝 10月7日

決勝 11月7日

開幕時からの主な変更点：

- ① 現状のグループステージ、プレーオフステージ、ブレイクステージからなる大会方式からプレーオフステージを廃止とし、グループステージを1回戦総当たりのリーグ戦に変更して各グループ1位の4チームと2位のうち上位1チームおよびACL出場3チームの計8チームにて1試合制のトーナメント戦によるブレイクステージを行う大会方式に変更。
- ② Bグループの松本はグループステージ第2節以降の試合を実施しない
- ③ 選手の交代は5人以内（交代回数はハーフタイムを除き3回まで）とする。ただし、延長戦を行う場合は、その直前の90分間の交代人数と合わせて最大6人まで選手交代を行うことができる（延長戦の場合は交代回数も1回追加）。
- ④ U-21先発ルール（2020年12月31日において満年齢21歳以下の日本国籍選手を1人以上先発に含める）は適用しない。
- ⑤ 各種表彰における賞金金額の変更



ファン・サポーターは応援歌や声援ではなく、拍手やタオルマフラーを掲げるなどしてチームを応援する

翌11日からは各地でJ1からJ3までが有観客で開催。待ちわびたファン・サポーターたちは笑顔で次から次に入場ゲートをくぐっていく。しかし、スタンドの客席に腰を下ろしても、感染予防対策のため、以前のように歓声を上げたり、選手名をコールすることはできない。それでも好プレーには大きな拍手を送り、ホームならではの温かい雰囲気をつくり出している。

8月以降は観客数の制限を緩和し、スタジアムの収容人数の半数まで入れる予定だったが、7月20日時点で全国の感染者数が増加している状況に鑑み、見送ることが決まっている。しばらくは新型コロナウイルスの感染状況に注意を払いながらの試合運営が続くそう。

8月5日からはルヴァンカップが約6カ月ぶりに再開した。長らく中断していたACLも始まり、FC東京は10月22日、横浜F・マリノス、ヴィッセル神戸は23日に再開を迎える。大会レギュレーションは大きく変更されており、グループステージの残り全試合およびノックアウトステージの準決勝まではホーム&アウェイ方式ではなく、セントラル方式（ラウンド16まではマレーシアで開催予定）を採用して1試合で決着。決勝は西地区のホームで開催される。

長い梅雨が明け、真夏を迎えているが、今シーズンはまだ始まったばかりだ。コロナ禍でもフットボールの熱狂が消えることはない。

かりだ。コロナ禍でもフットボールの熱狂が消えることはない。



J1は2年ぶりの王座奪還を目指す川崎フロンターレが首位に立っている（8月9日時点）

J2は手倉森誠監督率いるV・ファーレン長崎が開幕以来好調を維持して首位に（8月9日時点）

大会方式を変更 安全確保を前提に運営を行う

日本フットボールリーグ（JFL）は今年、J3に参入したFC今治（愛媛県）と関東リーグに降格した流経大ドラゴンズ、龍ヶ崎茨城県に代わっていわきFCと高知ユナイテッドSCを新たに迎え、22回目のシーズンをスタートさせた。

しかし、3月15日に開幕予定だったJFLは、新型コロナウイルスの影響によりスケジュールの変更を余儀なくされる。一度は第3節からの開幕としていたが、政府による緊急事態宣言の発令などに伴い、それも再延期に。その後、幾度となく難しい決断を迫られた末に、7月18日と19日を今シーズンの幕開けとすることを決定した。

16チームによる2回戦総当たりリーグ方式（ホーム&アウェイ方式）で行われるリーグ戦は、第16節以降からの開催となった。変更に伴い、リーグ戦の成立条件も改定。リーグ全体として予定されている全120試合のうち75%にあたる90試合、各チームにおいては予定されている15試合のうち30%を超える5試合を消化できなければ、リーグ不成立となること定められた。日本サッカー協会（JFA）の競技開催の判断に則り、他のリーグ

開幕

第22回 日本フットボールリーグ

JFL
JAPAN FOOTBALL LEAGUE

JFL参加チーム（16チーム）

Honda FC（静岡）	ヴァアティン三重（三重）
ソニー仙台FC（宮城）	FCマルヤス岡崎（愛知）
東京武蔵野シティFC（東京）	鈴鹿ポイントゲッターズ（三重）
テゲバジャーロ宮崎（宮崎）	ラインメール青森（青森）
ホンダロックSC（宮崎）	奈良クラブ（奈良）
ヴェルスバ大分（大分）	松江シティFC（島根）
FC大阪（大阪）	いわきFC（福島）
MIOびわこ滋賀（滋賀）	高知ユナイテッドSC（高知）

や大会の実施状況などを参考にしながらリーグを運営していくこととなった。

また、下位2チームが地域リーグに降格となるルールも変更され、今シーズンは降格なしの方針に。全国地域チャンピオンズリーグで優勝/準優勝のクラブを地域リーグから迎え入れることで16チームで行われているJFLだが、来シーズンは最大18チームで戦う可能性があることも併せて発表された。

J3への参入は、リーグ戦で4位以内の戦績を収め、Jリーグ百年構想クラブの認定とJ3ライセンスを取得した上位2チームが認められる。しかしながら、開幕から9月までリモートマッチで開催されることが既に決まっている試合もあり、そ

の後も感染拡大防止の観点から十分な観客席を確保できないと見なし、例年設けられている「平均観客動員数2000人以上」という項目は免除されることとなった。

天皇杯で健闘したHonda FCは5連覇に挑む

昨シーズン、Honda FCはJFL史上初の4連覇を達成。主将を務める鈴木雄也が2年連



圧倒的な強さを誇るHonda FCは勝利でのスタート

続で最優秀選手賞に輝いたほか、鈴木を含めた5人の選手がベストイレブンに名を連ね、井幡博康監督も最優秀監督賞を受賞した。加えて、第99回天皇杯で12年ぶりにベスト8に躍進したことから、チームに特別賞が授与された。今シーズンもリーグ5連覇と天皇杯優勝を目標に掲げ、JFLに新たな金字塔を打ち立てるべく記録に挑む。

一方、百年構想クラブには、昨年まで認定されていたラインメール青森、東京武蔵野シティFC（※）、テゲバジャーロ宮崎に加え、ヴァアティン三重、FC大阪、今シーズンからJFLに新規参入するいわきも認定された。1月30日にJリーグから百年構想クラブ資格の解除条件付き失格処分を受けていた奈良クラブも、リーグ戦再開前の6月23日に再認定されている。上記7チームがJ3参入を見据えて上位を狙う今シーズンは、例年に増してし烈な順位争いとなるのが予想される。

待望のリーグ開幕戦で4ゴールを奪ったFC大阪は、得失点差から首位発進。Hondaは前半21分に退場で1人欠くも青森を封じ、1-0で勝利した。その他、ヴェルスバ大分、昨年は苦しい1年目

となった松江シティFCも勝点3を得た。いわきもまた、逆転勝利を収める幸先の良いJFLデビューを飾っている。

今シーズンよりチーム名称を変更した鈴鹿ポイントゲッターズ（旧：鈴鹿アンリミテッドFC）とMIOびわこ滋賀は激しい点の奪い合いの末、3-3のドロー。三重と宮崎も勝点を分け合い、県内初の全国リーグ開催となった高知は武蔵野に先制を許すも、終盤に追いつき勝点1を得た。

リーグ戦は、最終節の11月29日までを予定。4カ月あまりの熱い戦いに期待したい。

（※）東京武蔵野シティFCは8月3日、運営法人の変更と、それに伴い今後のJリーグ参入を断念することを発表した

【第22回日本フットボールリーグ 大会概要】

主催：公益財団法人 日本サッカー協会、
一般社団法人 日本フットボールリーグ
開催方式：16チームによる1回戦総当たりリーグ方式（ホーム&アウェイ方式）
※1チームあたり15試合を行う。15節 / 120試合
※1チームあたりホームとアウェイの割合を8:7または7:8で実施
開催期間：第16節 / 7月18日（土）～第30節 / 11月29日（日）

<JFL・地域サッカーリーグチームの入れ替え>

入会チームは、JFLへの入会を希望し、入会条件を満たすチームの中から、全国地域サッカーチャンピオンズリーグの1位、2位チームを自動昇格とする。今季のJFL 15位、16位チームの、地域リーグへの降格はなしとする。よって来季の2021年度 第23回JFLは最大18チームで実施する。

2020プレナスなでしこリーグ 2020プレナスチャレンジリーグ 開幕

3月21日に開幕を予定していた2020プレナスなでしこリーグ（1部、2部）は、新型コロナウイルスの影響で7月18日に開幕を迎えた。同チャレンジリーグも8月22日に開幕する。

ファン・サポーターとのつながりを大切に

日本女子サッカーリーグは、3月10日に開催延期を決定。また、政府から発出された緊急事態宣言を受け、4月9日に、なでしこリーグとチャレンジリーグの再延期を決め、所属する全32チームに対してトレーニングなどの活動の自粛を要請した。

自粛期間中は、各チームの選手らがSNSなどを使って自宅での過ごし方を紹介したり、コンディション維持や健康促進のための体づくりに取り組む様子を配信。ま

た、「ステイホーム」を呼び掛けながら、コロナ禍の最前線で働いている人々に感謝と応援のメッセージを配信した。中でも全国のサッカー

少女に向けた「#私がサッカー少女だったころ」の企画には各チームから多くの選手が参加し、幼い頃の夢やサッカーとの向き合い方、今できることなどを語り、全国のサッカー少女らにエールを送った。

ガイドラインを策定 新たな形で開幕を迎える

5月25日に全ての都道府県で緊急事態宣言が解除されたことを受け、リーグはその翌日に各チームに対して活動の自粛要請を解除した。6月2日には、なでしこリーグとなでしこチャレンジリーグの開幕に向けて「新型コロナウイルス感染症ガイドライン」を策定したことを公表したほか、7月3日、全選手とチームスタッフを対象にPCR検査を実施することを発表した。また、なでしこリーグは今シーズンに限り、規約と試合実施要項を変更。大会成立にはリーグ戦全試合の75%が開催され、かつ各チームが50%以上消化すること

を条件とし、大会が成立しない場合においても勝点に基づいて順位を決定することにした（※）。

7月9日、10日に行った検査検査総数726件）では全ての陰性が確認され、7月18日当初の予定から4カ月遅れてなでしこリーグが開幕した。

第1〜2節はリモートマッチ（無観客試合）で開催。従来の形での選手入場は行わず、選手は各チームのロッカールームから直接ピッチに入場し、試合前の写真撮影やコイントスは、選手や審判員間の距離を取った上で行われた。また、キックオフ前には、7月初旬に熊本県を中心とした九州・中部地方などで発生した豪雨の犠牲者に対し、黙祷がさげられた。

なお、2021年9月に日本女子プロサッカーリーグ（WEリーグ）が開幕するため、日本女子サッカーの最上位リーグとしてのなでしこリーグは今シーズンが最後。リーグの上位・下位による昇降格もなくなった。

※なでしこチャレンジリーグは、全試合が成立した節がEAST/WESTともに5節以上で大会成立。順位は勝点で決める。1度も対戦しない組み合わせが出た場合でも成立とする。

なでしこリーグ1部



なでしこリーグ1部で5連覇中の日テレ・東京ヴェルディベレーザは、昨シーズン終了後に田中美南がINAC神戸レオネッサに、初木結花がOレイン（アメリカ）に移籍したことから戦力低下が懸念されたが、開幕2連勝と好発進し、周囲の心配を払拭した。開幕戦では、カマタマーレ讃岐やFC岐阜を指揮した北野誠監督が率いるノジマステラ神奈川相模原に苦しめられたが、けがから復帰し約3年ぶりの公式戦出場となった村松智子らが活



5連覇中の日テレは開幕戦から2連勝。第2節は植木理子（写真中央）が2得点の活躍を見せた



昨シーズンMVPと得点王の田中は新天地でも変わらぬ輝きを見せ、チームを勝利に導いた（写真右）

躍。その村松とセンターバックを組んだ土光真代が試合終了間際にミドルシュートで決勝点を決めて勝利をもぎ取ると、第2節では植木理子が2得点を挙げ、2-0でマイナビガルタ仙台レディースを下した。日テレの新キャプテン清水梨紗は「難しいシーズンになると思うが、その中でも勝ちにつながっていくことが大事」と、2連勝の開幕スタートを評価した。

昨シーズンのリーグ戦で準優勝の浦和レッズレディースは、SCFライブルク（ドイツ）から約2年ぶりに復帰した猶本光が攻撃陣をけん引した。エースの菅澤優衣香は第

■プレナスなでしこリーグ1部

日程：7月18日(土)～11月21日(土)
10チームによる2回戦総当たり(18節)

チーム名
マイナビベガルタ仙台レディース
浦和レッズレディース
ジェフユナイテッド市原・千葉レディース
日テレ・東京ヴェルディベレーザ(※チーム名称変更)
ノジマステラ神奈川相模原
アルビレックス新潟レディース
伊賀FCくノノ三重(※チーム名称変更)
セレッソ大阪堺レディース(昇格)
INAC神戸レオネッサ
愛媛FCレディース(昇格)

※プレナスなでしこリーグ1部チームとプレナスなでしこリーグ2部チームとの自動昇降格および入替戦はともに実施しない。

■プレナスなでしこリーグ2部

日程：7月18日(土)～11月15日(日)
10チームによる2回戦総当たり(18節)

チーム名
ちふれASエルフェン埼玉
FC十文字VENTUS(昇格)
オルカ鴨川FC
スフィーダ世田谷FC
日体大FIELDS横浜(降格)
ニッパツ横浜FCシーガルズ
大和シルフィード
AC長野パルセイロ・レディース(降格)
パニーズ京都SC
ASハリマアルビオン

※プレナスなでしこリーグ2部チームとプレナスチャレンジリーグチームとの自動昇降格および入替戦はともに実施しない。

■チャレンジリーグ

日程：8月22日(土)～11月22日(日)

12チームを「EAST」「WEST」それぞれ6チームに分け、2回戦総当たりリーグ戦(全10節・60試合)を実施。各リーグ戦終了後、EASTおよびWESTの1位同士が、ホーム&アウェイで戦い、年間の1位を決定。(プレーオフは優勝決定戦のみの開催とし、他の順位決定戦は開催しない)

<EAST>

チーム名
ノルディーア北海道
つくばFCレディース
新潟医療福祉大学女子サッカー部
JFAアカデミー福島
静岡SSUアスレジーナ(降格/※チーム名称変更)
NGUラブリッジ名古屋

<WEST>

チーム名
スパンツァ大阪高槻
セレッソ大阪堺ガールズ
岡山湯郷Belle
吉備国際大学Charme岡山高梁
アンジュヴィオレ広島
福岡J・アンクラス(昇格)



昇格組のC大阪堺は若い力が躍動して2連勝とスタートダッシュを決めた

1節、2節で2得点ずつを決めて、昨シーズンからの好調を維持。浦和のアカデミー出身で、昨シーズンまでジェフユナイテッド市原・千葉レディースのキャプテンだった上野紗稀も、浦和移籍後すぐに存在感を発揮し、共にジェフル在籍経験を持つ菅澤と抜群のコンビネーションを見せた。森栄次監督は2連勝ながら4失点していることについて「失点

が多いところをもう少し修正をしていかなければ」と、課題の修正に取り組む姿勢を見せた。

2年連続リーグMVPと4年連続得点王の田中を獲得した1神戸も、開幕2連勝。その2試合で勝利をもたらしたのは、やはり田中だった。特に開幕戦では、なでしこジャパン(日本女子代表)と共にプレーする岩淵真奈のパスから決勝点を決めた。新天地での活躍に田中は「全員が最後まで頑張った証とチームメイトに感謝。女子チーム初采配ながら、Jリーグでの指導経験が豊富なゲルト・エンゲルス監督は「練習で取り組んできたことが出せた」と評価するも、「優勝するためには、もっともつとレベルアップしないといけない」と気を引き締めた。

2年ぶりの1部に復帰したセレッソ大阪堺レディースは、開幕戦で同じ昇格組の愛媛FCレディースに逆転勝ちすると、続く伊賀FCくノ一三連戦でも競り勝って2連勝。若い力で上位進出に弾みをつけた。

なでしこリーグ2部



なでしこリーグ2部も1部同様、7月18日に開幕。スフィーダ世田谷FCは、櫻本芹菜、奈良美沙季、瀬野有希といった1部でのプレー経験がある新加入選手が活躍した。チャレンジリーグから昇格したFC十文字VENTUSとの開幕戦を制し、第2節でも無失点勝利を収めてリーグ加入10年目のシーズンを好スタートさせた。昨シーズンは3位で1部昇格を逃したちふれASエルフェン埼玉も好調で、2部に降格したAC長野パルセイロ・レディースとの開幕戦で勝利すると、続く日体大FIELDS横浜戦も白星。昨シーズン3得点の田嶋みのりが2試合で2得点を決めてちふれの2連



第2節までで8得点と、持ち前の攻撃力を発揮して2連勝のスフィーダ世田谷FC

勝に貢献した。ASハリマアルビオンは、エースの千葉園子がハットトリックをマークして開幕戦を勝利すると、第2節では途中出場須永愛海が決勝点を決めて2連勝とした。新たに佐野佑樹監督を迎えたAC長野はなかなか得点を奪えず苦しい船出に。昨季、1部昇格に近づいたオルカ鴨川FCも、開幕から2戦引き分けて、スタートダッシュ

することはできなかった。なでしこリーグは第3節以降、観客を入れて試合を開催するが入場者数は最大でも開放する観客席の50%までとするなど、新型コロナウイルス感染症ガイドラインに基づく制限付きの試合開催となる(大和シルフィードの8月ホームゲームを除く)。

チャレンジリーグ



チャレンジリーグEAST/WESTも、新型コロナウイルスの影響で大会形式を変更。3回戦総当たりのリーグ戦から、2回戦総当たりのリーグ戦となった。また、当初予定されていた第1節から第5節の試合は中止。新たに開幕日を8月22日に決めて、第1〜2節をリモートマッチ、第3節以降を有観客試合での開催を予定している。



岡島喜久子(おかじま きくこ)

1958年5月5日生まれ、東京都出身。1972年の中学2年生のときに男子サッカー部に入部し、その後はFCジナンでプレー。1978年に国際大会「第2回AFC女子選手権」にFCジナンが単独チームで参加。1979年の日本女子サッカー連盟の設立時は初代理事メンバーに就任し、1984年には同連盟の事務局長に就任した。1983年には日本女子代表のメンバーにも選出。1989年、海外転勤を機に現役引退し、1991年からアメリカのメリーランド州に在住。1996年アトランタオリンピックでは日本女子代表チームのスカウティング業務をサポートした。1983年に早稲田大学商学部を卒業後、外資系金融機関に勤める。
※詳細は31ページ参照

一人一人が輝ける 社会の実現へ、 世界一のリーグを目指して

2021年秋、日本女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」が開幕する。

WEリーグでは、代表理事の呼称を「チェア」にすることを決定。今号では初代チェアに就任した岡島喜久子さんにWEリーグ創設への思いやチェアとしての抱負などを聞いた。

○オンライン取材日：2020年7月13日、17日

私たち(WE)のリーグになるよう多くの人に参加し楽しんでもらう

—2021年、日本女子サッカープロリーグが誕生します。今の思いをお聞かせください。

岡島 日本女子サッカー関係者にとつてWEリーグの立ち上げは非常に良いニュースだと思います。日本全国の関係者、選手たちにおめでとくと伝えたいです。

私がサッカーを始めた1972年当初は、日本に女子チームがほとんどなく、コーチを探すのも練習場を探すのも、対戦相手を見つけるのも大変でした。そのときは中学生でしたが、当時の夢は国際試合をすること。最初は中学の男子チームでプレーしていましたが、その後、FCジナン(日本初の女子サッカークラブ)に入りました。チームは1978年に単独チームで台湾の大会に参加し、国際大会出場のをかなえることができました。1981年に日本女子代表が立ち上がり、代表選手にも選ばれることができ、選手としてはある程度の達成感を味わうことができました。

思い出するのは中国の西南で行われた大会ですね。会場が観客で満員だったんです。満員の観客の前で試合をすることがいかに選手に力を与えるかを実感することができました。WEリーグでは、選手たちに満員

の観客の前で試合をさせてあげたいと思っています。

—初代チェア(代表理事)の任期は2年です。その責務をどう受け止められていますか。

岡島 まずはWEリーグをしっかり運営して、2年目は収益が出るように、リーグが継続していける形をつくるのが私の役割だと思っています。そのためには、リーグの理念やビジョンに多くの方に共感いただき、サポートを集めることが大切ですのでそこに注力していきます。選手もアマチュアからプロへと意識を変えなければなりません。研修会などを通じて伝えていきたいと考えています。

—岡島チェアはアメリカに在住され、金融機関で長くお仕事をされました。ご自身の経験をどのように生かしていきたいとお考えですか。

岡島 私は大学を卒業してからずっと金融機関に勤務してきました。結婚してアメリカで生活を始めてから銀行や証券会社に勤め、子育てしながら仕事を続けてきました。それができたのはアメリカの環境があったからだと思っています。WEリーグの名前にもなっている「Women Empower(女性に力を)」に関して、アメリカではおそらく日本の20、30年ほど先を行っているでしょう。アメリカの視点で、日本でも受け入れられそうなことを提案できたらと

思っています。

女子サッカーのプロ化にあたって、最初は陰ながらお手伝いできることがあればと思います。アドバイザリーコミッティーの一員に加わりました。WEリーグの理念、ビジョンの実現において、私が一番大切だと思っていることは、サッカー少女に会場で試合を見てもらうことです。「WEリーグ」という名前も流行らせたいですね。女子プロサッカー選手が、少女たちの夢の職業になるためには、会場で選手のプレーを見てもらい、会場でワクワクする体験してもらわうこと。女子プロサッカー選手が、憧れの存在になることです。ピッチ外で選手と交流する機会もつくっていき



WEリーグの成功は日本女子サッカー全体の底上げにつながり、なでしこジャパンの強化にもつながっていく

と思います。

「WE」には「私たち」という意味があります。選手だけでなく、サッカーファンの皆さんの意見をSNS等を活用して吸い上げ、リーグ運営に積極的に反映していきたいと思っています。チームや選手からアイデアがあればぜひ寄せていただきたいですね。

女子新リーグ設立準備室のメンバーからもいろんなアイデアが出ています。皆さん楽しんで参加していただけるリーグにしたいと思っています。

また、世界一のリーグにするため、世界の一流の選手、監督、コーチらにも日本に来てもらいたい。日本にいながらにして、日本の選手が世界の一流選手とプレーできる環境をつくり、世界の一流選手のプレーを見てもらえる環境をWEリーグで実現していきたいと思っています。そうやって日本の女子サッカーの底辺を広げながら、なでしこジャパン(日本女子代表)がもう一度、世界一になれるようにサポートしていきたいと考えています。

Jリーグの村井満チエアマン(JFA副会長)には「失敗を恐れずに新しいことをやればいい」と言っていたいただきました。女性だけの力では、女性活躍社会の実現はできませんから、男性も巻き込みながら新しい施策を推し進め、日本女子サッカーの大きな発展、そして、一人一人が輝ける社会の実現に尽力していきたいと思っています。

魅力あるリーグづくり 新たな施策で変化を

——女子サッカー人気のあるアメリカでも女子プロリーグは財政面の理由で2度休止しています。このプロジェクトを遂行するために必要なことは？

岡島 二つあります。選手がピッチ上で素晴らしいプレーをしてくださることはもちろん、大切なことは観客と資金的なサポートです。

観客については、今と同じことをしているのは昨シーズンの平均観客動員数1300人から、WEリーグが当面の目標としている5000人に増や

すのは難しいでしょう。既に観戦いただいている方には継続して来ていただき、それ以外の新しい層、例えばサッカーをあまり見たことがない人たちにもアピールしていかなければなりません。そのための施策を今、検討しています。

そして、パートナー企業です。今までと同様に会場に看板を掲出したリ、ユニフォームにロゴを入れたりするだけではなく、WEリーグの理念やビジョンに賛同してくださる企業の方たちと共に、互いの理念を具現化するための努力をしていけるようなパートナー契約ができたらと思っています。WEリーグの「パートナー」

ながら成立させていけたらと思っています。

——企業にはWEリーグを活用してもらおうということですね。

岡島 例えばですが、オーブンラボを設立し、女子選手のデータを使って新製品を開発してもらおう、ということも一つの案ですね。

——観客動員数の拡大について、新しいことに取り組んでいきたいとおっしゃっていました。

岡島 新しいことをしなければ、リーグの成功には結びつかないと思っています。先ほども挙げたサッカー少女、その家族、チーム全員で会場に来ていただきたい。WEリーグの前身で地元チームの試合をしたり、ハーフタイムにその地ならではの催し物をしたり、都道府県サッカー協会と連携しながら新しいことにチャレンジしていきたいと考えています。

ほかに、パートナー企業の女性社員の方に来ていただいて、会場に女性のコミュニケーションをつくり、異業種交流ができるような場も設けられたらと考えています。今までと同じことをしていても観客は増えませんので、どうやって新しいことをしていくか、どんな新しいことが観客増員につながるかを考えながらですね。会場に行けば楽しいことがあるんだ、という魅力をつくっていききたいです。

——多くのサッカーファミリーの皆さんも期待を持ってらっしゃると思います。メッセージをお願いします。

岡島 「女子サッカーはおもしろい！」と、皆さんに知っていただけるリーグにします。ぜひ応援のほどよろしくお願いたします。

いている企業であるということですから、それがすぐ分かるような形を考えていきます。アメリカで女子プロリーグのチームが財政的にうまくいかなかったのは、男子のチームとまったく連携していなかったことが一つの理由です。日本は女子チームを持っているJクラブもあり、Jリーグのチームの力も借り



会場が満員になるように選手はピッチ上で魅力あるプレーを見せ、リーグは楽しんでもらうための環境をつくる(写真は2019シーズンのもの)

——「成功」という言葉が出ました。岡島チエアは何をもってWEリーグの成功と言えるとお考えですか。

岡島 興行として女子サッカーリーグが成功する、ということは、各チームに入場料収入やグッズ販売などで収益が出る。それにプラスして各チームのパートナー企業の収益でリーグが黒字になることが成功だと思っています。チームが成功していけばリーグは成功であるだろうと。ですから、チームが成功するためのお手伝いをリーグは考えていかなければなりません。

——多くのサッカーファミリーの皆さんも期待を持ってらっしゃると思います。メッセージをお願いします。

岡島 「女子サッカーはおもしろい！」と、皆さんに知っていただけるリーグにします。ぜひ応援のほどよろしくお願いたします。



サッカー×キャリア×未来 発行

Your Life with Football

日本サッカー協会（JFA）の女子委員会は7月8日、『サッカー×キャリア×未来～Your Life with Football～』を発行した。これは女子サッカー選手に競技を引退した後も、長くスポーツやサッカーに関わり続けてほしいという思いから制作されたもの。現在は、JFAの特設サイトからPDFを閲覧できる。

今井純子 JFA 女子委員長は「現役選手たちに早期からセカンドキャリアに備えてほしい、という意図があるものではない」としつつ、「（現役引退後も）サッカーやスポーツに関わり続ける選択肢はたくさんある。サッカー選手の経験があり、女子サッカーの発展を願う皆さんに、その思いや経験を生かして女子サッカーやスポーツに関わってもらいたい。この冊子が今の選手たちやOGが未来を選択する際のヒントになってくれたら」と、制作の目的を説明する。同冊子には、サッカー選手を経てキャリアを築いている

20人の先輩たちが登場する。指導者、審判員、チームスタッフ、サッカー協会職員などのほか、スポーツ関連企業や団体などに活躍の場を移す者もいる。

では、20人の先輩たちは人生の岐路に立ったときに何を考え、何を重視してその道を選択したのだろうか——。冊子ではそれぞれのキャリア形成に迫っている。

未来へのヒントが多くちりばめられており、現役選手のみならず、指導者や保護者、そして、サッカーから離れてしまった元選手の皆さんにぜひ見てもらいたい一冊となっている。



公益財団法人 日本サッカー協会

サッカー×キャリア×未来 ～ Your Life with Football ～

下記サイトよりPDFをダウンロード

URL : <http://www.jfa.jp/women/secondcareer/>



【概要】

■掲載内容

- ・イントロダクション
- ・あいさつ
(今井純子 JFA 女子委員長、手塚貴子 JFA 女子副委員長)
- ・Profiles ～20人の先輩たち～
- ・私のキャリア
- ・未来へのエール
- ・座談会～編集後記に代えて～

■ 20人の先輩：高倉麻子、轟奈都子、宮本ともみ、河本菜穂子、佐伯夕利子、藤田安澄、池野伶奈、吉澤久恵、大滝麻未、鈴木朱美、山本りさ、江川純子、風間理佐、北本綾子、竹村美咲、中山千恵美、鷲津裕美、八鍬美由紀、野口亜弥、中倉あかね ※掲載順（敬称略）





日本サッカーの発展のため、
さらなる普及や次世代選手育成の促進を。

JFA Youth & Development Programme

日本サッカーの発展を促進する
次世代選手育成の促進を。

サッカーの普及を促進する
次世代選手育成の促進を。

サッカーの普及を促進する
次世代選手育成の促進を。

サッカーの普及を促進する
次世代選手育成の促進を。

サッカーの普及を促進する
次世代選手育成の促進を。

サッカーの普及を促進する
次世代選手育成の促進を。



OFFICIAL PARTNER



GREENPROJECT PARTNER



JYD SUPPORTER



JYD



SAMURAI KITCHEN

2004年からSAMURAI BLUE(日本代表)の専属シェフを務める西芳照シェフの新連載企画。
本連載では、西シェフが日本代表選手にも好評のレシピを紹介するとともに、
日本代表での“食”にまつわるエピソードを語ってくれます。



バランスの取れたラインアップと 飽きさせない工夫を



メインを決めて献立を組み立てる

日本代表の活動では選手、監督、スタッフを含め、約50人前の料理を提供します。一言で50人前と言っても、ピュッフエスタイルで選手がそれぞれに食べたものを皿に取るため、ある程度、どの料理がどれだけ必要かという予測が必須です。

私は日本代表の専属シェフになる前からJヴィレッジ(福島県)のレストランで働いていましたので、そこで管理栄養士さんに教わるなどして、スポーツ選手が何をどのくらい食べるのかはだいたいの予想がついていました。しかし、日本代表になる選手は私が思っていたよりも自分に厳しく、食事にもシビアでした。

提供するメニューは、グリコーゲンロ

ーディング(糖質を体内に備蓄する食事方法)に基づき、試合前後や練習の負荷によって変えています。最初は食べ物が余ってしまうなど苦労しました。それでも、2004年のAFCアジアカップ(中国)で約1カ月間、チームの活動に同行して感覚をつかむことができました。せっかく料理した食事ですから余らせることなく食べてほしいですからね。

一度、ハンバーグとうなぎを同じタイミングで提供したことがありましたが、結果的にそれは失敗でした。ともに人気メニューなのですが、選手はカロリーを取り過ぎないように自制しているため、“完売”になると思っていた2品がどちらも余ってしまったのです。それ以降、「これが今日のメイン」というものを決めて、ラインアップを組み立てるようにしています。

一番人気はハンバーグ

これまで多種多様なメニューを提供してきましたが、その中で最も人気の高いメニューはハンバーグです。代表歴の長い選手は活動のスケジュールを見て、「今日はあのメニューだな」と経験則から予測できるように、練習前からその日の献立の話題で盛り上がり、うれしそうに食事会場に足を運んでくれます。長期にわたる遠征では食事が楽しみの一つだと思えますので、その期待に添えるように準備しています。



試合やトレーニングの環境によって代表専属シェフも出すメニューを変えている(写真は2010年のFIFAワールドカップ直前のトレーニングより)

今回、皆さんに紹介するのはそのハンバーグです。ハンバーグの良いところは基本さえ憶えておけば、さまざまアレンジができるというところ。例えば、2010年のFIFAワールドカップ南アフリカ大会では高地対策として鉄分を多く含むひじきをハンバーグの中に入れたことがあります。

今回ご紹介するハンバーグには、お肉に合うシャリアピンスソースを使い、付け合せはズッキーニ、かぼちゃ、なすを使用しました。ハンバーグは、大根おろしを使って和風にしたたり、トマトソースで洋風にするなど味のバリエーションも多く、選手も飽きずに食べてくれます。季節の野菜のソテーを添えて、見た目にも美味しい、バランスのよい一皿にするのを心がけていただければと思います。

今月のSAMURAIレシピ

シャリアピンソースのハンバーグ



■ 材料(2人分)



合い挽き肉	200g
玉ねぎ	1/4個(50g)
溶き卵	1/2個
A パン粉	大さじ3(10g)
牛乳	大さじ1
サラダ油	適量
塩・こしょう	各少々
ソース	
玉ねぎ	40g
赤ワインまたは日本酒	20cc
醤油	20cc
みりん	20cc

〈付け合わせ〉

なす	4切れ
ズッキーニ	4切れ
かぼちゃ	4切れ

■ 作り方

- ① 付け合わせのなす、ズッキーニ、かぼちゃをサラダ油を引いたフライパンで焼き、火が通ったら皿にとる。
- ② 玉ねぎをみじん切りにし、フライパンにサラダ油を小さじ2/3を熱して中火で炒める。しんなりしたらバットに移して冷ます。
- ③ Aを合わせてなじませる。
- ④ ボウルにひき肉、卵、②、③を入れ、粘りが出るまでよく練り混ぜ、塩こしょうを振ってさらに混ぜる。2等分にして平たい楕円形に成形する。

POINT



両手でキャッチボールをするようにしっかりとタネの空気を抜きましょう。ひび割れも防げる上に、肉汁が内部に閉じ込められ、ふっくらとした仕上がり(写真)になります。

- ⑤ フライパンにサラダ油小さじ2を熱し、④を並べて中火で焼く。焼き色がついたら裏返し、ふたをして弱めの中火にして蒸し焼きにして火を通す。
- ⑥ ソースを作る。みじん切りにした玉ねぎをフライパンで炒め、しんなりしてきたら赤ワインまたは日本酒、醤油、みりんを加える。アルコールが飛んだら火を止め、器に盛った⑤にかけ、①を添える。

「教えて西シェフ!」質問を募集

連載内で西シェフへの質問を募集します。料理のことや日本代表専属シェフに関することなど何でも構いません。奮ってご応募ください。

URL <https://forms.gle/cgJQU314hyKAh7zJ6>



西 芳照(にし・よしてる)

1962年生まれ、福島県南相馬市出身。高校卒業後に料理店で和食を学び、1997年からJヴィレッジのレストランに勤務。1999年に総料理長に就任。2004年3月に日本代表専属シェフとしてFIFAワールドカップドイツのアジア地区予選に同行。以降、日本代表の海外遠征に同行し、食でチームを支える。専属シェフの他にもいわきFCパーク内の「NISHI'S KITCHEN」、イオン広野店内に出店している「くっちいーな」のオーナーシェフを務める。

日本サッカーミュージアム **17+**

〒113-8311 東京都文京区サッカー通り(本郷3-10-15)
Tel: 050-2018-1990

- 営業時間 火～金曜日 13:00～18:00(最終入場17:30)
土・日・祝日 10:00～18:00(最終入場17:30)
特別営業期間 10:00～18:00(最終入場17:30)
- 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌火曜日)
年2回のメンテナンス期間
- 入場料 一般大人:550円、小中学生:300円、幼児:無料
団体(20名様以上)・障害者の方:
大人450円、小中学生200円
※割引については、入場ゲートスタッフまでお問い合わせください。
- URL https://www.jfa.jp/football_museum/



現在は地下1階が入館口となっています

夏季特別企画を実施 今年はミュージアムオリジナルグッズをプレゼント

日本サッカーミュージアムは7月23日から8月23日を夏季特別開館期間として無休で開館しました。昨年まではJFAハウスのヴァーチャルスタジアムで夏休み自由研究イベントを行っていましたが、今年は新型コロナウイルス感染予防のため実施せず、それに代わるものとして来場者全員に自宅で楽しんでいただける日本サッカーミュージアムオリジナルグッズをプレゼントしました。

オリジナルグッズは、常設展示をイメージしたぬり絵(2種類)とミュージアムオリジナルのサッカー練習記録シートの2点。ぬり絵は子どもから大人までどなたでも楽しんでいただける仕様で、見本写真をもとに、あるいは自由に色付けしてオリジナルの作品が完成しました。サッカー練習記録シートは手引きの通りに切って折ることで8ページのノートになり、1週間分の練習記録を付けられるもので、サッカー上達のための振り返りや自由研究の素材として活用いただきました。

なお、特別開館に先駆け、7月21日より日本サッカーミュージアムの公式サイト上でダウンロード版ぬり絵「受け継がれる青の魂 The History of Japan Jerseys」を無料で提供。完成したぬり絵をミュージアム公式Twitterアカウントに投稿いただき、その作品の一部をご紹介します。

従来とは異なる形での開催となりましたが、今夏も日本サッカーミュージアムの企画に参加いただきありがとうございました。

<来場者全員プレゼント オリジナルグッズ>

開催期間: 7月23日(木祝)～8月23日(日)

日本サッカーミュージアムぬり絵(2種類)

- ① 1936年ベルリンオリンピック 手ぬぐい
- ② 2002 FIFAワールドカップ日本/韓国 円陣



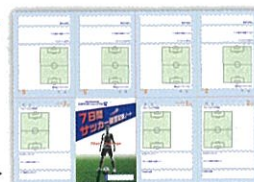
◀日本サッカーミュージアムぬり絵①「手ぬぐい」



◀日本サッカーミュージアムぬり絵②「円陣」



日本サッカーミュージアムオリジナル サッカー練習記録シート



サッカー練習記録シート▶

<ダウンロード版 ぬり絵>

配布期間: 2020年7月21日(火)～8月23日(日) 23:59

「受け継がれる青の魂 The History of Japan Jerseys」として歴代の日本代表ユニフォームを一覧にしたもの。また、ハッシュタグ「#日本サッカーミュージアムぬり絵」をつけ、Twitter投稿いただいた作品中から一部を、日本サッカーミュージアム公式Twitterアカウント(@jfa_museum)で紹介しました。



◀ダウンロード版
ぬり絵



日本サッカーミュージアムを支援いただいている企業(五十音順) ※2020年8月1日現在

株式会社ADKマーケティング・ソリューションズ
アスカ美装株式会社
キリンビール株式会社
キリンビバレッジ株式会社
KDDI株式会社
J-GREEN 堺・DREAM CAMP
株式会社JTBグローバルマーケティング&トラベル

株式会社Jリーグ
株式会社ジエブ
株式会社シミズアウト
株式会社スケール
ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社
株式会社テレビ朝日
株式会社テレビ東京

株式会社電通
株式会社電通ライブ
西鉄旅行株式会社
日本テレビ放送網株式会社
株式会社野村総合研究所
びあ株式会社
株式会社ビッグ・バーン

ホテル東京ガーデンパレス
マッシュコーポレーション株式会社
株式会社マッス
株式会社ムラヤマ
株式会社モルテン
ヤマザキビスケット株式会社
株式会社ユース・プランニングセンター

サッカーファミリー広場



動画配信ツール

「JFA サッカーキッズ動画」の提供を開始

日本サッカー協会（JFA）はKDDI株式会社の協力を得て、8月4日から「JFA サッカーキッズ動画」を配信しています。

これは、日本代表選手のスーパープレーやトレーニング、あるいは「JFA チャレンジゲーム」やプロサッカー選手からのレッスン動画など、サッカーの魅力や上達方法などを紹介する映像コンテンツです。

子どもたちにとってはサッカーの面白さやうまくなるコツなどを学ぶことができ、大人にとっては、子どもたちを指導する上での効果的な声かけやトレーニング方法などの情報を得ることができます。

「JFA サッカーキッズ動画」を見て親子でサッカーを楽しんでいただくほか、小学生年代を教えている指導者や学校の先生にも指導する際のヒントにしていただきたいと思います。

これからも随時、新たなコンテンツを配信していきます。お楽しみに！

<反町康治 JFA 技術委員長>

JFA 技術委員会はキッズ年代からプロ選手まで、幅広く日本サッカーの向上、発展に向けて努力をしていくことが仕事であり、代表強化、ユース育成、指導者養成と普及の四位一体で取り組むことが重要です。

特に「普及」は、今まで諸先輩方が培ってこられたベースをさらに広げていくべく、新しい施策を打ち出していきたいと考えています。今回のキッズ向け動画配信ツールも新しい普及施策の一つです。新型コロナウイルスの影響でサッカー活動が制限されている中でも公園でサッカーボールを蹴る親子の姿や、工夫をして子どもたちを指導するコーチの方々の努力を目の当たりにしました。こうした子どもたちや指導をする大人にも役立つようなプラットフォームを開発しました。子どもたちは数年後に日本代表のユニフォームを着て大観衆の中でプレーする可能性を秘めています。また、そ

れを見守る指導者たちもぜひそうした子どもたちにロジック（論理）とパッション（情熱）をもって指導を続けてほしいと強く願っています。

子どもも大人も「可能性は無限大」です。その手助けになれるようにこの動画配信ツールの充実を図っていきたくと考えています。

<馬場剛史 KDDI 株式会社 宣伝部長>

サッカー日本代表のサポーティングカンパニーとして、日本代表だけではなく日本のサッカー界が抱える課題に対し、通信やIoTといった当社のアセットを活用し、支援をしていきたいと考えている中で、まずは「普及」という課題をお聞きし、本サービスの構築に至りました。まずはお子様向けの動画となりますが、今後は指導者向けの動画などの拡充と一緒に進めていきたいと思います。これからの5G時代に向けて、引き続きさまざまな形で日本サッカー協会と共にサッカーの普及に取り組んでいきます。

■概要

サイト URL: <https://kids-movie.jfa.jp/>

●掲載コンテンツ（予定）

1. JFA チャレンジゲーム（めざせクラッキ・めざせファンタジスタ）
2. 日本代表スーパープレー集（プレー密着映像・トレーニング風景・ドキュメンタリー）
3. プロサッカー選手からの宿題（リフティングボールコントロール身体づくりゴールキーパー）
4. 日本代表のトレーニング（個人トレーニング・身体づくり）
5. 女子サッカー（メッセージ・女子プロリーグ）

※随時掲載コンテンツを追加予定



大人も子どももサッカーの楽しさが分り、日々のトレーニングで使える、

動画配信ツール
「JFAサッカーキッズ動画」
を提供開始



読者プレゼント

応募締切：2020年9月15日（火）当日消印有効

アディダス ジャパン（株）提供

日本代表のオフィシャルサプライヤーであるアディダス ジャパン（株）より、「ONDIVO 20 トレーニング ジャージ（Lサイズ）」を1名様にプレゼント。



JFA STORE 提供

「JFA STORE」は日本代表のグッズなどがそろったJFAのオフィシャルEコマースサイトです。

さまざまなシーン、目的に合わせてグッズを確認できるページに加え、特集ページも用意しました。

今号では「Tシャツ（サムライブルー／Mサイズ）」を1名様にプレゼント。



<https://official-store.jfa.jp/>

JFA STORE



プレゼント応募方法

■Web

URL: <https://forms.gle/sLehKGGw86AfwBTK6>

上記URLもしくはQRコードよりアクセスしてご応募ください。



■はがき

〒113-8311

東京都文京区サッカー通り（本郷3丁目10番15号）JFAハウス
公益財団法人 日本サッカー協会・広報部
「JFAnews プレゼント応募」係

①名前、②郵便番号・住所、③電話番号、④希望プレゼント名、⑤JFAnewsのご感想・ご意見などを明記の上、郵送でお送りください。

当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。発送は2020年9月下旬の予定ですが新型コロナウイルスの感染拡大対策の影響により、お届けに大幅な遅れが生じる場合があります。予めご了承ください。

※収集した個人情報は厳重に管理し、他の目的には使用いたしません。また、お送りいただいた葉書は返却いたしません。

公益財団法人 日本サッカー協会 機関誌

JFA news

発行人：須原清貴

発行所：公益財団法人 日本サッカー協会
〒113-8311

東京都文京区サッカー通り(本郷3-10-15) JFAハウス
TEL.050-2018-1990(代) / FAX.03-3830-2005
URL <https://www.jfa.jp>

監修：公益財団法人 日本サッカー協会 広報部

編集：編集長 加藤秀樹
JFAnews編集部 / (株)ウォールニクス

印刷：サンメッセ(株)

定価：600円/本体545円

日本サッカー協会(JFA)は現在、ウェブ会議システム等を用いて会議や会見、取材等を実施しています。本誌の取材につきましてもウェブ会議システムや電話、書面による取材で皆さまに変わらぬ情報を届けてまいります。

JFAはこうした取り組みが新型コロナウイルス感染拡大を抑止し、一日も早い終息に寄与するとともに、働き方改革の推進などより良い社会の実現に向けた仕組みづくりの一助になればと考えております。

次号2020年9月情報号は、2020年9月17日発売予定

[特集テーマ]

実力を発揮するためのメンタル

※特集テーマ・内容は変更となる場合があります

ご購入のお知らせ

・インターネットからのご購入

日本サッカー協会 Official Online Shop

<https://webshop.jfa.jp/fs/jfagoods/c/top>

※クレジットカード決済のみ。

上記サイトでは本誌のほかJFA関連発行物の購入が可能です(36~37ページ参照)



・年間購読

JFAnewsの年間購読料は、送料・税込みで1年間(12冊)5,000円で、年間2,200円お得です。

ご希望の方は上記インターネットまたは37ページの専用申込書にご記入の上お申し込みください。

・チーム登録をされているご購読者さまへ

JFAnews発送における住所変更、名義変更を希望される場合は、JFA公式ウェブサイトの「JFAへの登録」よりJFA IDシステムにログインしていただき、変更をお願いします。

万一の
事故やケガに
備えて、
損害保険に
加入しませんか？

損害保険取扱代理店



株式
会社

ジェイ・セイフティ

〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス9階

TEL:03(3830)1925 FAX:03(3830)1929

© J.LEAGUE adidas, the 3-Bars logo and brazuca are trade marks of the adidas Group, used with permission.

引 受 保 険 会 社

●三井住友海上火災保険株式会社(代申社)

●東京海上日動火災保険株式会社

●損害保険ジャパン日本興亜株式会社

●明治安田損害保険株式会社

よろこびがつなく世界へ

KIRIN



新しい応援、ひろがる。



KIRIN

2019年6月~9月A代表戦出場時間トップ11 © JFA

#届けてキリン



SAMURAI BLUE

